

# 岡埜谷家古文書目録

その7 (近世G4～Z)

平成30年1月 整理

島田市博物館

(島田市史編さん委員会)

## 綴込み資料

### 岡埜谷家古文書目録 その7 (近世)

- 1 岡埜谷家文書から見た笹間村 (その7) -江戸時代を中心として- . . . . . (前1)
- 2 年 表 . . . . . (前3)
- 3 近世文書分類表 (文書目録の目次に替えて) . . . . . (前4)
- 4 岡埜谷家古文書目録の利用に当たって . . . . . (前5)
- 5 古文書目録 (分類「G-4」～「Z」) . . . . . (No.229)

## 岡埜谷家文書から見た笹間村（その7）

—江戸時代を中心として—

## 1 はじめに

本誌に掲載する分類項目は、H（水利・土木）・I（災害・救恤）・J（教育・文化）・K（宗教・習俗・身分）・L（軍事）・M（地図）・X（家）・Z（雑）で、以上を以て当家に伝わる江戸時代の古文書は全てとなります。

本目録（その7）に属する分類の中で、H・Mは文書数が少なく、Jは、寺子屋の手習い本・読み本、それから和歌・俳諧に当時の暦や薬の紹介本、それに旅行記・見聞録など版本の諸本等、いわゆる教養書的なものが多く、Lは外国との交際を断って平和な当時としては珍しく、黒船（アメリカ船）来航に関して農兵隊の招集などが話題となっているけれども文書数は3点と少なく、Mは村絵図、Xは当家のこと、個人的な手紙等が多く公表は遠慮すべきものも含まれており、Zは断簡で切れぎれになっている文書が目立ち正確な内容が把握できません。以上の事情からこれらの紹介を省くことにします。

それから分類Kは地元の宗教（寺の縁起・寺への寄付・立願・勧化等）、他国への旅、それから冠婚葬祭のことなど当時の習俗が分かり、見るべきものも多いのですが、目立つものは帳面類に記載されていて、これらをじっくり紐解いて見る必要があるので内容紹介は省略しました。

したがって本誌ではIに焦点を当て、以下ここに書かれている内容を紹介することにします。

## 2 自然災害（分類Iに関連して）

当家文書によると天明・文化・天保年間に農作物の被害に遭った凶荒のことが分かります。この内、天明年間と天保年間ものは日本の歴史に伝わる大飢饉として現在に名を残しています。文化年間ものはその間に生じたこの地方の凶荒と思われます。

## (1) 天明の大飢饉

まず天明大飢饉とは天明元～天明9（1781～1789）に連続して起こった飢饉で、天候不順、

浅間山の噴火、大雨洪水が原因とみられ、飢饉の中心は奥州地方とされていますが、被害は全国に及びました。

笹間村の場合、潮風・大風雨による山崩れや川欠けなどで田畑共に不作・米価高騰などが重なり、飢えに及ぶ者も出る始末、村役人のみでは手に負えず、夫食や金子借用による救済を公儀に歎願しています。

文化年間では特に文化13・14（1816～1817）年の凶作が目立ちます。文化13年では閏8月3日～4日の大風雨による笹間川・大井川が同時に満水、田畑に砂入り、秋の実りは皆無となり難儀し、文化14年の場合は早魃で凶作、諸作は種物に至るまで皆無同様となり、百姓の救済を公儀に願い出しています。

## (2) 天保の大飢饉

次に天保の飢饉ですが、これは天保4～天保7年（1833～1836）に連続して生じた全国的な大飢饉でした。

天保4年は天候不順で冷害・洪水・大風雨が連続し、引き続き天保5・6年も不作、そして天保7年には全国的な凶作となりました。とりわけ東北地方では餓死者が続発、他の地方でも百姓の行倒れや江戸流出が続出し、またその江戸では物価が騰貴するなどして民衆の不満が爆発しました。これらの施策に対する公儀の不手際もあって翌天保8年には、これを不満として天下の台所 大坂で大塩平八郎の乱が起こりました。百姓一揆や打ちこわし等の騒乱も各地で発生しました。

この時期の笹間村下の様子を見ると次の通りです。

天保4年は近年稀に見る凶作だったが、この年以來山畑違作が続き、天保7年春より大雨続き、その上この8月にはめったに見ない程の大風雨で諸作は皆無となる。

天保7年は世間一連の凶作、翌8年には米穀雑穀が格別の高値となり、更に天保9年には

## 前2

夏中長雨・冷気で夏作は皆無、その上彼岸過ぎから雨天続き、加えて鹿・猪の田畑荒らして収穫なく、夫食拝借以外に命をつなぐ道はないと公儀に出訴する。

このように天保年間は一連の連作で、笹間村一地域に限らず全国的な大飢饉となって大きな被害を蒙ったのです。

以上みての通りの天保期の凶作続きの中で、その解決策としてどのような手が施されたかと言えば、年貢米を保管し凶作に備えるために、かつて寛政改革期に公儀の指導によって設立された村の郷蔵に、更に意識的に穀物の蓄えを強化するという平凡な策以外に妙案は浮かばなかったようです。

天保の大飢饉以後、幕府の改革（天保改革）も功を奏さず、百姓一揆・打ちこわしも続発し、これが江戸幕府崩壊の遠因ともなりました。

### (3) 安政の大地震

自然災害には、以上天候不順の結果からもたらされた災害の外に地震災害があります。地震については、この地方にも大きな被害を及ぼした安政の大地震が知られるところですが、これについて当家文書では表題：「大旱魃・大地震・大風・大水」（通し番号 3314）に地震の見舞われたことが紹介されていますが、委しい内容については本文書を紐解いて見なければなりません。当家文書の中で地震情報の文書はこの一点の外にあと一点「通し番号 3344」があるけれどもその内容には触れていません。

ただ、「安政の大地震」として周知のこの地震は、実際のところまだ「安政」と称する年号になっていない日に生じています。安政元（1854）年と改元したのは11月27日のこと、地震はその27日以前に起こっていて、嘉永7年と言うべきです。だから当時の人々は誰も「安政」なんていう年号は知る由もありません。（先に触れた通し番号 3314 は年号不明、また3344号でも安政2年となっている）西暦1854年という年は安政元年より嘉永7年の方がはるかに長いのです。この大地震はその年11月4日に東海地方を襲い、引き続き翌5日には中部・近畿・四国・九州を襲ったいわゆる南海地震がありました。さらに翌安政2年10月

2日には江戸を大地震が襲っています。これら3大地震を一括して後世 安政の大地震と称されるようになったのでしょうか。この何れの地震に於いても史上に残る大被害を蒙っていたのです。

これら地震が笹間・身成地方に及ぼした実情については、この地方に伝存する古文書を総合的に検討する必要があるでしょう。

以上をもちまして、岡屋谷家文書目録に伝わる江戸時代までの内容紹介を終了とします。

文責 市史編さん委員 中野敬一

年表 応仁元年(1467)~平成9年(1997)まで

改元年の月と閏月をのせる。但し閏月は○入り

Table with columns for year, month, day, and zodiac sign, organized by year and month. Includes entries for 応仁元年 (1467) through 平成9年 (1997).

## A 支配

- 1 領知 ①領主関係 ②領地関係 ③家臣関係 ④役所関係 ⑤建白書 ⑥王政復古
- 2 法令 ①法度 ②条目 ③定書 ④高札 ⑤掟 ⑥触書 ⑦達 ⑧五人組前書
- 3 治安 ①犯罪 ②取締 ③刑罰 ④喧嘩 ⑤騷擾・一揆 ⑥各種詫状  
⑦博奕 ⑧心中 ⑨防犯 ⑩検約 ⑪奢侈取締 ⑫風俗取締 ⑬鉄砲改

## B 土地

- 1 検地 ①検地条目 ②検地 (a 検地帳 b 水帳 c 清野帳 d 地押改帳 e 高反別改帳  
f 田畑高名寄帳 g 田畑買高帳 等)  
③新田検地 (a 新田検地帳 b 切開帳 c 切添帳 d 起返帳 等)
- 2 免租地 ①朱印地 ②除地 ③引地
- 3 新田開発 ①山林原野 ②隠田畑 ③河原 ④鷹場
- 4 所有地 ①所有者 ②登記 ③境界紛争

## C 貢租

- 1 年貢 ①物成 ②本途 ③取箇 ④成箇 ⑤地子 ⑥年貢割付状 ⑦免状  
⑧年貢皆済目録 ⑨口米 ⑩込米 ⑪欠米 ⑫小物成 ⑬先納 ⑭廻米 ⑮未進  
⑯延納
- 2 課役 ①国役 ②高掛物 ③村役 ④人足役 ⑤浮役 (a 運上 b 貢加)
- 3 地租 ①税金 ②改正関係

## D 村制・戸口

- 1 村概況 ①村差出明細帳 ②村鑑 ③他村高帳等
- 2 村政 ①村役人 (a 勤役 b 給与 c 交替) ②規約 (a 村法・村定 b 誓詞)  
③村方帳簿 (a 御用留 b 御用触書 c 覚書 d 願書 e 役向日記 f 諸書上帳 等)
- 3 村入用 ①村入用帳 ②村賄帳 ③巡見使諸入用帳 ④郷借証文
- 4 戸口 ①戸口改 ②宗門改 (a 人別改帳 b 宗門改帳 c 五人組改帳 d 人数増減改帳)  
③宗門一札 ④宗門送状 ⑤宗門諸状 ⑥欠落 ⑦戸籍

## E 諸産業

- 1 農業 ①耕作 ②農作物 ③農具 ④肥料 ⑤技術 ⑥農産物 ⑦養蚕  
⑧出作 ⑨入作 ⑩農業帳簿 (a 農業耕作覚書 b 大福帳 c 田畑小作人元帳 等)
- 2 小作 ①小作人 ②小作慣行 ③小作料 ④小作紛争
- 3 入会 ①入会地 ②入会慣行 ③入会形態 ④入会紛争
- 4 林業 ①造林 ②伐木 ③造材 ④運材 ⑤材種 ⑥木炭・椎茸等 ⑦御林守  
⑧その他特産物
- 5 水産業 ①漁業 ②漁船 ③入会 ④水産物 ⑤水産加工品 ⑥製塩  
⑦漁携組織 (a 網元 b 網子)
- 6 畜産 ①牧畜 ②家畜 ③牛馬 ④牛馬役 (牛馬改帳) ⑤飼料
- 7 鉱業
- 8 工業 ①紙漉 ②織布・機械 ③製糖 ④大工 (a 家大工 b 船大工 c 細工物 等)  
⑤その他

## F 商業

- 1 一般 ①市場 ②商店 ③商品 ④商人 ⑤問屋 ⑥卸 ⑦小売 ⑧仲買 ⑨行商  
⑩組合 ⑪株仲間 ⑫商取引 ⑬売買 ⑭譲渡 ⑮手数料  
⑯商業帳簿 (a 金銭出入帳 b 大福帳 c 仕入帳) ⑰広告

## F 商業

- 2 金融 ①為替 ②両替 ③手形 ④無尽 ⑤講掛金 ⑥貨幣 ⑦借金証文 ⑧田地証文  
⑨質地証文 ⑩借入金明細書 ⑪貯蓄

## G 交通・通信

- 1 宿駅 ①街道 ②宿帳・問屋 ③宿役人 ④問屋・問屋場 ⑤繼立人馬 ⑥帳簿 ⑦拝借金  
⑧本陣 ⑨旅籠 ⑩加宿・地方
- 2 助郷 ①定助郷 ②加助郷 ③代助郷 ④帳簿類 ⑤助郷訴訟
- 3 通行 ①陸上・海上・河川・湊 ②渡し ③驚籠 ④馬背 ⑤賃銭 ⑥関所 ⑦通行手形  
⑧交通機関 (a 荷車 b 人力車 c 馬車 d 船 等)
- 4 通信 ①飛脚 ②宿籠 ③廻状 ④業者

## H 水利・土木

- 1 水利 ①治水 ②河川・湖・池・溜池 ③灌漑 ④排水 ⑤樋 ⑥堰 ⑦組合 ⑧紛争
- 2 土木 ①普請 (a 道路 b 堤防 c 橋梁) ②家作 ③資材 ④労力 ⑤費用
- 3 河川 ①海兵 ②流木 ③難破船

## i 災害・救恤

- 1 災害 ①凶荒 ②飢饉 ③地震 ④火災 ⑤風水害 ⑥流行病
- 2 救恤 ①救米金 ②負担軽減 ③復旧助成 ④備荒貯蓄

## J 教育・文化

- 1 教育 ①学校・寺子屋 ②私塾 ③教師 ④生徒 ⑤教科書
- 2 学芸 ①諸学問 (a 儒 b 国 c 洋 d 心 e 医 f 兵 g 易 h 天文) ②俳諧・和歌  
③曆学 ④本草学
- 3 文化 ①隨筆 ②見聞録 ③旅行記 ④絵画・書 ⑤工芸 ⑥地方書 ⑦農書 ⑧音楽

## K 宗教・習俗・身分

- 1 宗教 ①仏教 ②寺院 ③神道 ④神社 ⑤切支丹 ⑥教会 ⑦僧侶 ⑧神宮 ⑨宣教師  
⑩山伏 ⑪檀家 ⑫氏子 ⑬祭礼 ⑭祈祷 ⑮勧進 ⑯寺社造営修復 ⑰由來
- 2 習俗 ①年中行事 ②冠婚葬祭 ③贈答 ④娯楽 ⑤言語 (a 方言 b 俗言 c 流言 d 落首)  
⑥風俗 ⑦口碑 ⑧伝説 ⑨民謡 ⑩迷信 ⑪講 ⑫宮座 ⑬若者組 ⑭遊山  
⑮参詣 ⑯巡礼
- 3 身分 ①士農工商 ②郷士 ③浪人 ④無籍者 ⑤非人 ⑥一本証文 ⑦一般雇用人  
⑧年季奉公人 (a 証文 b 請人 c 給与)

## L 軍事

- ①海防 ②農兵 ③戦争

## M 地図

- ①村絵図 ②寺社絵図 ③河川・沼・港絵図 ④山絵図

## X 家

- ①家憲・遺訓 ②家譜 ③由緒 ④過去帳 ⑤家格 ⑥苗字帯刀御免 ⑦本家  
⑧分家 ⑨相続 ⑩養子縁組 ⑪家業 ⑫家産 ⑬日記 ⑭書簡 (私信) ⑮姓  
⑯結婚 ⑰生死 ⑱衣食住

## Y 典籍

- ①和 ②漢 ③外

## Z 雑

- ①断簡 ②その他

# 岡埜谷家古文書目録の利用に当たって

## I 文書目録の見方について

### 1 文書の分類

本古文書の内容はほぼ江戸時代から明治・大正・昭和の時代にわたっています。江戸時代の文書（中世文書も含む）は「近世文書分類表」（明治5年迄）により、また明治・大正・昭和時代の文書は「近現代文書分類表」によって分類しています。例えば江戸時代の文書（含、中世）ならば、「近世文書分類表」のA項目から「A-1」・「A-2」・「A-3」、次のB項目は「B-1」・「B-2」……、また明治・大正・昭和時代のものは「I-1」・「I-2」……「II-1」・「II-2」……というふうに各項目ごと、年月日の早い物から順に配列する方式をとっています。年代の特定出来ない文書はそれぞれの分類項目の最後尾にまとめて配列しました。

特に分類F-1については、商業一般のものとお茶の販売のもので目録の掲載を分けました。一般の部分を先に、その後にお茶の販売の部分を載せました。

### 2 「通し番号」と「整理番号」について

- (1) 「通し番号」とは本文書目録の最左端上部から順に付した一連の番号数字で、分類別かつ年代順に古い事項から一連番号を付したものです。
- (2) 「整理番号」とは、「通し番号」の下に付した番号数字のことで、これは調査の際に文書挿入の封筒に付した番号です。この番号については、『川根町近世史料所在目録』（第6集）の「岡埜谷家文書」に掲載されてある分類符号にそのまま番号数字を記して『川根町近世史料所在目録』からでも原文書を特定できるようにしました。それから今回は未調査の文書があり、それも調査を行ない、追加分としました。追加分の文書は外1、外2・・・と「外」の字を付して一連番号としました。いずれにせよあとで説明してありますが、この「整理番号」が原文書を取り出す時の鍵数字となります。

### 3 「年号」欄、「標題」欄、「差出人・受取人」欄について

- (1) 時折り、「欠」とか「記載なし」とかの表示がありますが、「欠」とは、もと原文書に記入してあった筈の文字が、虫喰いとか破損等で欠落していることを意味しています。また「記載なし」とは、原文書にもともと記入しなかったことを表しています。
- (2) 年号欄・標題欄等で、語句を（ ）で表記しているところがあります。これは原文書には何も記していない箇所ですが、内容から推測してその意味がくみ取れ

るよう仮の言葉で調査の際に新たに記載したものです。但し、西暦は常に（ ）内に示し例外です。

### 4 「摘要」欄・「備考」欄について

- (1) 摘要欄には原文書内容の要旨や特徴を記載し、いちいち原本に当たらなくてもおよその文章内容が把握出来るようになっていました。この「摘要」欄を「年号」・「差出・受取人」欄とを併合して見ることで「分野別年表」として活用できるようにしました。
- (2) 備考欄には本文内容以外の補足事項を必要に応じて記入しました。

### 5 「形態」欄と「数量」欄について

- (1) 形態欄に「状」・「縦」・「横」・「綴り」等の表示がありますが、「状」とは「一紙文書」のこと、「縦」とは縦帳面のこと、「横」とは横帳面のこと、「綴り」とは複数の文書又は帳面を一括して一綴りにしているものを意味します。
- (2) 数量欄の数字は、一つの封筒の中に入れた文書の枚数のこと、帳面ならば冊数になります。

### 6 「撮影」欄と「箱番号」欄について

- (1) 撮影欄には、岡埜谷家古文書調査の際にコピーして、そのコピー文書を当市史編さん室（博物館）が所持していることを意味しています。
- (2) 箱番号とは、当市史編さん室（博物館）にある「コピー文書」の保管箱の番号のことです。

## II 古文書原本の取り出し方

- 1 古文書収納箱の中には、封筒に入った古文書が分類「A-1」・「A-2」…「B-1」…「D-1」…「E-1」…の項目ごとにそれぞれ分割されて大きな袋（「同一分類による文書群の挿入袋」）に入っています。この分類袋と文書目録の「整理番号」から該当文書を取り出すことができます。
- 2 古文書の取り出し方について、一例をあげると次の通りです。例えば文書目録の「通し番号」9の文書を取り出すとします。この通し番号9の文書の「整理番号」は「A24」で、分類は「A-1」です。そこで、まず分類（A-1）の挿入袋（同一分類による文書群の挿入袋）を出します。そしてこの大きな封筒の中から整理番号「A24」の封筒を選び出せば該当

文書が得られます。以下、取り出す要領はすべて同じです。

- 3 分類 F - 1 は商業一般と、お茶の販売で保管する箱が分かれています。お茶の販売の文書が入っている封筒の整理番号の頭に L の符号がついており、保管箱の表紙には「分類 F - 1 ㊤付き」と表示されています。分類 F - 1 の文書を取り出す際には商業一般に関するものか、お茶の販売に関するものか気をつけて取り出してください。

また、『川根町近世史料所在目録』掲載分と追加分で保管する箱を変えてあります。追加分には保管箱に「第2次調査分」と記載してありますので、こちらも文書を取り出す際には気をつけてください。

### Ⅲ 文書の取扱いに付いてお願い

- 1 文書を取り出したならば、しまう時には必ず元の挿入箱に納めてください。  
これを取り違えると、次会引き出すとき行方不明となり、場合によってはすべての古文書に当たらなければなりません。
- 2 古文書がいつまでも傷まないように、時々乾燥剤や防虫剤を収納袋の中に入れ替えてください。
- 3 当古文書は戦国・江戸時代の上河内地区の動向を知る上で貴重な資料となるものです。それは岡莖谷家の宝物であると同時に当地域の貴重な財産でもあります。いつまでも大切に保存してください。



通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 厚区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3274 G449	G 4	4月18日 ・寅	覚	○(藤枝)三度屋十兵衛 ●平口五郎右衛門	早状1通200文。江戸伊勢町1丁目:中条瀬兵衛行き。儘に請取る。	(旧目録P183)	原 本	状	1		
3275 G454	G 4	5月11日 ・寅	覚	○三度屋重兵衛 ●岡野谷松兵衛	早状1通。江戸伊勢町1丁目:中条瀬兵衛行き。儘に請取る。	(旧目録P183)	原 本	状	1		
3276 F812	G 4	7月13日 ・卯	覚	○(藤枝下伝馬):鍵屋久助 ●岡野谷松兵衛	早状1通200文。江戸大伝馬富田屋利兵衛行き。儘に請取る。	(旧目録P183)	原 本	状	1	○	94
3277 F574	G 4	12月 ・未	覚	○三度屋十兵衛 ●上河内村:松兵衛	早状1通200文。未5月28日、早状1通づつ三度利用。計600文、儘に請取る。	(旧目録P183)	原 本	状	1	○	94
3278 F573	G 4	12月 ・未	覚	○三度屋十兵衛 ●上河内村:松兵衛	早状1通200文、中早状1通100文。4月28日より10月15日迄、計6通。計800文、金2朱の請取。	(旧目録P183)	原 本	状	1	○	94
3279 G468	G 4	2月26日 ・酉	覚	○三度屋十兵衛 ●川内:岡野谷松兵衛	早状1通、江戸本町4丁目大橋太郎次郎行き、儘に請取る。	(旧目録P183)	原 本	状	1		
3280 F588	G 4	2月9日 ・戌	覚	○(藤枝)上伝馬:三度屋十兵衛 ●上川内:岡野谷松兵衛	早状1通、江戸本町4丁目大橋太郎次郎行き、儘に請取る。	(旧目録P不明)	原 本	状	1		
3281 F400	G 4	12月20日 ・戌	覚	○藤枝宿:鍵屋又助 ●岡野屋松兵衛	早状1通200文、大橋行き。11月10日、同人行き。400文、儘に請取る。	(旧目録P184)	原 本	状	1		
3282 F595	G 4	12月24日 ・戌	覚	○三度屋十兵衛 ●上川内村:岡野谷松兵衛	早状1通、江戸南新坂:住吉屋利三郎行き。儘に請取る。	(旧目録P184)	原 本	状	1	○	94
3283 F597	G 4	12月 ・戌	覚	○三度屋十兵衛 ●上川内村:岡野谷松兵衛	戌1月12日、早状3通。以下、年末の12月24日、早状1通。計1貫632文、請取る。	(旧目録P不明)	原 本	状	1	○	94
3284 D282	G 4	3月21日	書状	○小川:甚左衛門 ●岡野谷松兵衛	橋田御役所よりの急御廻状、継送りを願う。請印は、笹間村に私の印を捺すので、伊久美村の所へ捺していただきたい。上組には、写させ、身成村に送付願いたい。	(旧目録P90)	原 本	状	1	○	94
3285 G446	G 4	4月2日	書状	○木町:多吉 ●岡野谷松兵衛	駄賃1両、使い平左衛門。儘に請取る。	(旧目録P185)	原 本	状	1		
3286 G448	G 4	4月17日	覚	○中山:下田惣吉 ●上河内:岡の谷松兵衛	駄賃1両、使い平左衛門。請取る。	(旧目録P186)	原 本	状	1		
3287 G451	G 4	4月22日	覚	○三度や重兵衛 ●岡野屋松兵衛	廻状1通、江戸本町4丁目大橋太郎次郎行き。金子、儘に請取る。	(旧目録P184)	原 本	状	1		
3288 G452	G 4	4月27日	覚	○三度屋十兵衛 ●岡野谷松兵衛	早状1通。江戸伊勢町中条瀬兵衛行き、儘に請取る。	(旧目録P184)	原 本	状	1		
3289 G453	G 4	5月10日	書状	○木町:多吉(石神) ●岡の谷松兵衛	5月2日2分、4日2分、駄賃金儘に請取る。使い平左衛門	(旧目録P186)	原 本	状	1		
3290 G455	G 4	5月	覚	○木町:多吉(石神) ●岡の谷松兵衛	使い平左衛門、駄賃金2両、これ請取る。	(旧目録P186)	原 本	状	1		
3291 G456	G 4	6月25日	書状	○木町:多吉 ●岡野谷松兵衛	駄賃金、儘に請取る。	(旧目録P187)	原 本	状	1		
3292 G457	G 4	6月28日	書状	○木町:多吉 ●岡野谷松兵衛	駄賃金2両、請取る。使い八蔵。	紙変色 (旧目録P187)	原 本	状	1		
3293 G458	G 4	7月29日	覚	○木町:瀬八 ●岡の谷松兵衛	駄賃金2両、儘に請取る。	紙変色 (旧目録P3293)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
3294 F1063	G 4	12月25日	覚	○鍵屋又助 ●岡野屋松兵衛	早状並状、共に代金564文、相済。	(旧目録P171)	原 本	状	1		
3295 G471	G 4	欠	口演	○三度屋重兵衛 ●岡野屋委兵衛	江戸より当店に報せあり、早速、持参すべき所、少々足を痛めたので、使いを出した。返事を頂きたい。	虫損、破損甚大 (旧目録P184)	原 本	状	1		
3296 G460	G 4	記載なし	書状	○木町:瀬八 ●岡野谷松兵衛	駄賃金1両、儘に請取る。	(旧目録P188)	原 本	状	1		

分類:H-2 水利・土木一土木

3297 H1	H 2	享保18年4月10日 (1733年)・丑	川除御普請割合帳面	○記載なし ●記載なし	①一例として、川除用金1両請取。用途を記載。②川倉37両。この内、18組仕立③寅春の川除普請被仰付候覚、55組。都合17ヶ所をまとめる。	丁数8枚 (旧目録P190)	原 本	横 帳	1		
3298 H2	H 2	安政4年10月 (1857年)・巳	長屋門普請帳	○記載なし ●記載なし	①13人の名を列举。②4人賃、大工6人、屋根6人と列举。③人足、かや刈人足、かや寄人足と10月1日から29日迄男女人数書上げ。普請は、長屋門と雪隠。	丁数7枚 (旧目録P190)	原 本	横 帳	1		
3299 A134	H 2	元治1年9月18日 (1864年)・甲子	差上申一札之事	○当御代官所遠敷州村々 ●嶋田御役所	大井川普請について、私共の村々から諸色を売り出してきたが、近年、物価高にかこつけて、高値で売捌いている。役人の耳に入れば、村役人にまで沙汰がある。小前まで申し聞かせ、不法がないように御請證文を差上げる。	(旧目録P11)	原 本	状	1	○	94
3300 H3	H 2	記載なし	(普請覚)	○記載なし ●記載なし	石工、丹上の人名を列記。内容は不明。	紙劣化、変質、破 れ、丁数11枚 (旧目録P191)	原 本	横 帳	1		
3301 H4	H 2	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	常蔵、3人切り木、4人きざみ、ノ14人。代金2分。孫蔵、1人切り木、3人きざみ、ノ10人。代金1分1朱と463文。以下、略。大工の人工賃か。	(旧目録P191)	原 本	綴 り	1		

分類:H-3 水利・土木一河川

3302 L220	H 3	7月29日 ・酉	書状	○記載なし ●記載なし	7月29日出帆の川崎和泉屋八郎左衛門出しの庭宝丸(豊吉乗り)が、8月14日、豆州頭崎港で難船、荷主19名とお茶荷260本を列記。	(旧目録P287)	原 本	状	1	○	94
3303 L559	H 3	9月22日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	難船1件、窓代より委細聞く。貴方様荷物3本の内、2本は掃り荷で1本はすたりと言う。分参・諸入用掛かりで、明日、下泉村へ参会して出金するつもり。金子5、6両も持参願いたい。	(旧目録P291)	原 本	状	1	○	94

分類:i-1 ・災害・救恤一災害

3304 i12	i 1	天明3年3月 (1783年)・卯	乍恐書付奉願上候	○駿州志太郡笹間下組:名主松兵衛、組頭甚三郎、百姓代次郎右衛門 ●嶋田御役所	夫食お願い人数、男女355人。私とも村方は、この1兩年凶作続き。当年は潮風で不作。夫食をお願いしなければ、助け合いも限度あり。飢餓人も夥しく、直ぐにお助け米を願いたい。	紙破損、欠字あり (旧目録P192)	原 本	状	1	○	94
3305 A14	i 1	天保8年9月 (1837年)・酉	諸印帳写	○記載なし ●記載なし	○近年凶作によりお救い米を度々拝借。当支配所で6945両の出費。江戸廻米も減り、去る申年から当西年迄、莫大な損失と聞く。当西年は、天候順気で、少しでも返納できるよう、村々取締り、出精するよう申し渡し、御請印を差上げる。	丁数8枚 (旧目録P11)	原 本	堅 帳	1	○	94
3306 i26	i 1	天保10年1月 (1839年)・亥	夫食代拝借返納帳帳之 扣	○記載なし ●記載なし	御救拝借訳として、①戊2月、御代官御内借永6貫593文4分、下組。②同年3月、永37貫940文4分、下組。③同年7月、永18貫333門2分、下組。3口合62貫871文4分1厘。これより成年から亥年の2年間返納を挙げる。	丁数3枚 (旧目録P193)	原 本	横 帳	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
3307 D182	i 1	嘉永7年 (1854年)・寅	覚	○何村 ●記載なし	去る亥年より寅年迄、両3年は大旱魃で、村中困窮。なお又、寅年は、お茶が不作。踏踏化や物貴いは、一切村に入れない。	(旧目録P86)	原本	状	1		
3308 C503	i 1	閏8月 ・子	乍恐書付を以奉願上候	○駿州志太郡笹間村:名主次郎左衛門、与頭市左衛門、同八左衛門、同文左衛門、百姓代与右衛門 ●御役所	当月3日より4日、大風雨で大井川・笹間川、同時に満水。田畑2町8反余が砂入り、秋の稔りも皆無と成り、難儀している。見分の上、当子より年貢減免を願う。	虫損、欠字、紙変質 (旧目録P64)	原本	状	1	○	94
3309 i19	i 1	3月 ・未	乍恐書付を以申上候	○名主・組頭 ●阿部元右衛門、田端条右衛門	3ヶ年以来、早損続き。当年は、諸夫食も困り、惣百姓も半分から3分1は、葛の根を畑り、これも掘り尽くして遠所へ越すほどの難儀。名主や商人に夫食借用。茶や紙も下値、山方での麦作も当年は寛東ない。	(旧目録P193)	原本	状	1		
3310 X78	i 1	3月14日	書状(包紙あり)	○いくみ村:勝山利兵衛(隠居) ●岡野谷松兵衛	おましが麻疹、その子も麻疹となったが、共に軽いので、安心された。周助は、出府中で御役所にながくいるので、手間取っている。追伸で、見舞いの品受納の礼。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3311 i23	i 1	3月24日	江戸出火につき	○御伝馬飛脚所:雑屋又助 ●小西宗兵衛、岡野谷松兵衛、他24名。	当3月21日4ツ時、外神田佐久間町より出火。北風大荒れ吹き、内神田・本斗、日本橋筋全焼。焼燬の説明が続く。	(旧目録P192)	原本	状	1		
3312 i48	i 1	11月24日	書状	○ささ間渡:次郎左衛門 ●身成村:御名主	この27日、貯穀年延の願い、地名村・下泉の者が27日にお出での由。当村も、私が27日、嶋田に行くので承知されたい。26日、無尽の事でお目に掛かりたい。	(旧目録P195)	原本	状	1		
3313 i45	i 1	11月25日	書状	○身成村:名主 ●上河内:御名主	貯穀の詰戻を年延願いたいと地名村から状が届いた。当村では、伊久美村と共に1人出すつもりだが、笹間村では、自分自身がお出になるとか。このこと、伊久美村に掛け合っていたきたい。	(旧目録P195)	原本	状	1		
3314 i43	i 1	記載なし	目録 -大旱魃・大地震・大風・大水-	○記載なし ●記載なし	嘉永4亥年の大旱魃。安政元寅年の大地震、但し駿遠三。安政3辰年の大風。安政5年の大水について、各地の惨状を記す。	丁数17枚 (旧目録P192)	原本	状	1	○	94
3315 i46	i 1	記載なし	書状	○記載なし ●岡野や松助	今朝、見回りに作山に行ったところ、猪などに畑が荒されている。村方一人残らず、鉄砲をもって入り、これらを射ち取りたい。	(旧目録P95)	原本	状	1		

分類:i-2 災害・救恤一救恤

3316 C395	i 2	慶長17年12月21日 (1612年)・子	(金谷御蔵米買付け)	○ささま菜ノ山:甚三郎 ●彦坂九兵衛御大稻垣助兵衛	金谷御蔵子年米5俵を買受け、年内に金子を相済みとしてほしい。裏打文書の虫喰・破損で文面が不明。	(旧目録P67)	原本	状	1	○	94
3317 i41	i 2	宝暦9年1月 (1759年)・卯	飢人夫食代金貸渡帳 笹間村之内上河内分村 方割合帳	○記載なし ●記載なし	拝借金20両1分、この錢89貫100文(1両に4貫400文替え)。飢人786人(男277、女509)。男1人に165文、。女1人に80文とし、子主ごとの人数配分、錢を記載。	丁数4枚 (旧目録P192)	原本	横帳	1	○	94
3318 i28	i 2	天明2年8月 (1782年)・寅	乍恐以書付御届申上候	○駿河国志太郡笹間村:名主松兵衛◎、組頭甚三郎◎、百姓代次郎右衛門◎ ●嶋田岩松直右衛門様御役所	8月21日夜9つ時より22日5つ時迄、大風雨。このため、諸作の大半が損失。田畑山崩れ川次け13ヶ所の損地出る。家屋敷1、2軒、山崩れで住めない。救済を願う。	(旧目録P192)	原本	状	1	○	94
3319 P96	i 2	天明4年1月 (1784年)・辰	覚	○駿州志太郡笹間村下組:名主松兵衛◎、同市兵衛◎、同作右衛門◎、与頭甚三郎◎、百姓代次郎右衛門◎ ●嶋田御役所	去る卯年は、田畑共に不作で、夫食もなくて困窮する者も多い。雑穀もこの他高値であるので、注進した處、夫食拝借願いを出すよう指示あり。金2両1分を拝借、当秋作の出来次第に返納する。	(旧目録P120)	原本	状	1	○	94
3320 D204	i 2	天明4年2月 (1784年)・辰	覚	○駿州志太郡笹間村下組:名主松兵衛◎、与頭甚三郎◎、百姓代次郎右衛門◎ ●嶋田御役所	去る天明3年は、田畑共に不作で、村方食料にこと欠有様で、雑穀も高値で助け合いも限界。金3両2分2朱を拝借、当秋作の出来次第に返納する。	(旧目録P192)	原本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3321 i29	i 2	天明4年2月 (1784年)・辰	乍恐以書付ヲ奉願上候	○名主・組頭・百姓代 判 ●御役所	村方は、先に夫食拝借を願出、身分の上、飢えに及ぶ者の実態から、夫食拝借の許しを得た。村役人も心掛けて手を尽くすが、最早手には及ばない。1日より早く夫食を願う。下書き	(旧目録P192)	原 本	状	1	○	94
3322 i8	i 2	天明8年 (1788年)・申	貯夫食取集扣帳	○笹間村下組 ●記載なし	天明8年より文化12年迄、貯神の状況を村ごとに記載。時々きやうぶくさきも記載。享和3年では、惣人数479人(男250・女229)。うち161人が困窮で貯なり難き分とあり。	丁数8枚 (旧目録P194)	原 本	横 帳	1	○	94
3323 i4	i 2	寛政10年9月 (1798年)・午	貯夫食取集帳	○上河内:村役人 ●記載なし	寛政3・同10・同11、享和2・3、文化元年の稗取集量を記載。その後、有石計6石3斗、この割22軒とあり。文化6年2月18日、1人分1斗4升5合分け、残り9斗、惣右衛門預り。	丁数4枚 (旧目録P194)	原 本	横 帳	1		
3324 i13	i 2	(文化1年) (1803)・子	貯夫食書上覚	○(笹間下組) ●記載なし	天明4、寛政1～12、享和1～3、文化1年の貯夫食神の書付。寛政6年が33石1斗余で多く、享和1年が3斗、寛政7、8、11、12年は皆無。	(旧目録P196)	原 本	状	1	○	94
3325 i30	i 2	文化13年12月 (1816年)・子	乍恐以書付奉願上候	○志太郡村々 ●山田茂左衛門様御役所	当年秋の大風雨により、違作。小前百姓甚だ困難、夫食差支え、茶は江戸表で安直で、中買人が損をする。仕送り金も貸引きと不都合で年貢納めも難儀。当年暮の皆済は、来る1月20日迄日延べ願いたい。	虫損、文字欠あり (旧目録P193)	原 本	状	1	○	94
3326 i42	i 2	文化15年2月 (1818年)・寅	乍恐書付を以奉願上候	○志太郡笹間村下組:名主松兵衛、与頭甚三郎、百姓代次郎右衛門 ●嶋田御役所	去る丑年分の貯夫食の年延を願う。その理由は、去る丑年の早損によるもので、村方は皆畑なれど諸作・種物に至る迄皆無同様。百姓が困っている。	(旧目録P194)	原 本	状	1	○	94
3327 i31	i 2	天保5年2月19日 (1834年)・午	乍恐以書付奉願上候	○鶴網村・身成村・伊久美村・笹間渡村・笹間両組・地名村・下泉村 ●記載なし	伊久美村他7ヶ村、去る巳年は近年稀なる凶作。我等村方は、山中で皆畑の村々で、焼畑で稼ぎ、田はなし。米・麦・雑穀なく、粟・黍・稗などで暮す。凶作で百姓夫食尽き、難儀。そこで、貯穀皆お下げ下されば、夏作仕付も出来、百姓が助かる。	(旧目録P193)	原 本	状	1	○	94
3328 i32	i 2	天保7年12月 (1836年)・申	乍恐以書付奉願上候	○身成村・下泉村・笹間渡村・地名村・笹間下組・同上組・いくみ村・鶴網村の名主 ●紺屋町:御役所	当年春より大雨続きで、田畑とも生立ち悪く、更に8月大風雨で諸作皆無。そのため、年貢納入に差支え、小前一統、夫食に差しつまり、飢渴に至るほかなし。小前の御救夫食をいただきたい。	(旧目録P193)	原 本	状	1	○	94
3329 i24	i 2	天保8年3月 (1837年)・丁酉	夫食代金貸付小前帳	○記載なし ●記載なし	上河内組分金1両1分、永16文1分6厘。この永は、7貫266文6厘。家数22軒。1軒分永330文5分4厘4毛。1人金1分1朱と銭162文づつ22人に貸付る。	丁数3枚 (旧目録P193)	原 本	横 帳	1		
3330 i14	i 2	天保9年10月 (1838年)・戌	乍恐以書付奉願上候	○(安部郡山中足久保村外35ヶ村、井川7ヶ村村々惣代、門屋村名主惣左衛門、俵沢村名主喜兵衛、郡中村々一同) ●記載なし	去る申年(天保7)は世間一連凶作。去る酉年(天保8)、米穀雑穀格別の高値により、御救御拝借。当戌年より寅年までの5年季の年賦返上を言い渡された。これ承知するも、去る巳年(天保4)以来、山畑違作で石代を下げていただいた。当戌年も、夏中長雨、冷気で夏作皆無。後年の冷気、雨天で収獲なし。鹿・猪の荒しなどあり。御救夫食拝借の年賦上納を当戌から来る巳迄の20ヶ年賦上納を願いたい。	(旧目録P193)	原 本	状	1	○	94
3331 i25	i 2	天保10年1月 (1839年)・亥	夫食代拝借返納割賦 笹間村下組帳元扣	○記載なし ●記載なし	家数92軒、平均割で1軒分永611文7分2厘あて拝借。この返納は、戌・亥・丑の分を記載。	丁数5枚 (旧目録P193)	原 本	横 帳	1		
3332 i27	i 2	天保10年12月 (1839年)・亥	当亥夫食拝借金請取帳 上河内組松兵衛	○記載なし ●記載なし	覚として、各個人が拝借した金子を記載。金額1人金2朱と21文。計21人の名前の者が借用。	丁数2枚 (旧目録P193)	原 本	横 帳	1		
3333 i5	i 2	天保12年閏1月20日 (1841年)・丑	①貯穀詰戻小前帳 ②貯穀詰戻並新貯増割付小前帳(弘化2年)	○笹間村下組:上河内組分名主松兵衛扣 ●記載なし	①家数21軒から2斗ずつ取集め、組頭甚三郎方に預け置く。②弘化2年改め置くところだが、天保12年新貯、同13年新貯、天保14年新貯、天保15年新貯、弘化2年、嘉永3年分を列挙。	(旧目録P194)	原 本	横 帳	2		
3334 i15	i 2	天保13年3月 (1842年)・寅	乍恐以書付ヲ奉願上候	○駿州志太郡笹間下組:名主松兵衛、組頭甚三郎、百姓代次郎右衛門 ●嶋田御役所	この度、来るべき凶作に備えて、夫食を加増して蓄えるようにとの仰せであったが、去る丑年(天保12)違作の年柄で、困窮百姓もあり、結局神5斗9升7合(人別597人、1人に1合)の人別割で貯えが許可され、これに従う。	(旧目録P194)	原 本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 寄 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピー 保 管
3335 i6	i 2	天保13年12月 (1842年)・寅	当寅年夫食代拝借返納 取立帳 笹間下組帳之扣	○記載なし ●記載なし	去る丑年より25ヶ年返納。寅年分:永1貫351文8分。これを92軒で分 担。1軒93文。92軒:三井18、高日向11、日向3、栗野山13、上河内2 2、大森7、西向9、大平9	丁数5枚 (旧目録P193)	原 本	横 帳	1	○	94
3336 i16	i 2	天保14年1月 (1843年)・卯	乍恐以書付奉願上候	○笹間下組:名主松兵衛、組頭甚三郎、百姓代 次郎右衛門 ●嶋田御役所	当村の去る寅年の貯量俵5斗9升7合。員数を取り調べて差上げる。	(旧目録P194)	原 本	状	1		
3337 i7	i 2	天保14年3月 (1843年)・卯	貯穀書上帳	○志太郡笹間村下組:名主松兵衛◎、与頭甚三 郎◎、百姓代次郎右衛門◎ ●池田岩之丞様嶋田御役所	笹間村下組貯穀:俵22石5斗4升2合、ぎょうぶ8貫目、くさぎ8貫目、丑 年新貯:俵5斗9升7合、寅年新貯:俵5斗9升7合。各組:上河内、大森、 西向、大平、三並、高日向、日向、栗野山の8組	丁数5枚 (旧目録P194)	原 本	横 帳	1	○	94
3338 i8	i 2	弘化2年3月 (1845年)・乙巳	来ル午未ノ貯夫食小前 付立帳下書	○笹間村下組:松兵衛扣 ●記載なし	三並組:家18、106人、俵2石7斗4升、ぎょうぶ50貫目。以下、高日 向・田向・栗野山・上川内・大森・西向・大平各組の俵・ぎょうぶの記載。 家数計91軒、人別610人、俵18石1斗7升。	丁数9枚 (旧目録P195)	原 本	横 帳	1	○	94
3339 C413	i 2	弘化2年4月2日 (1845年)・巳	覚	○三並組:名主 ●上河内村:御帳元	三並組内の百姓伊右衛門以下、18名の者が俵を供出。各戸人は、斗 升で表示。惣々50貫目。	(旧目録P195)	原 本	状	1		
3340 i18	i 2	弘化2年4月 (1845年)・巳	覚	○記載なし ●記載なし	大森組:家数11軒、人別46人、7人の出穀俵1石1斗、ぎょうぶ23貫 目。西向組:9人の出穀俵1石9斗、ぎょうぶ22貫500目。	(旧目録P195)	原 本	状	2		
3341 i17	i 2	弘化2年8月 (1845年)・巳	夫食困増穀数之覚	○組合八ヶ村:名主、組頭、百姓代 ●嶋田御役所	鶴網村・伊久美村・身成村・笹間渡村・地名村・下泉村・笹間村上組:同 村下組の家数・人別、俵・ぎょうぶの穀数を記載。	(旧目録P195)	原 本	状	1		
3342 i9	i 2	弘化2年10月 (1845年)・巳	貯穀困増小前帳	○志太郡笹間村下組:帳元松兵衛扣 ●記載なし	笹間村下組:俵27石4斗5升、ぎょうぶ91貫目。以下、上川内・大森・西 向・大平・三並・高日向・栗野山の穀数を記載。笹間村下組:家数91軒 人別610人、1人に付き、俵4石5合、家1軒にぎょうぶ1貫目を割当。	丁数8枚 (旧目録P195)	原 本	横 帳	1		
3343 i10	i 2	安政2年2月 (1855年)・卯	御下ヶ貯穀貸付米書上 帳	○駿州志太郡笹間村下組:名主松兵衛◎、組頭 甚三郎◎、百姓代次郎右衛門◎ ●嶋田御役所	嘉永7年11月4日の大地震により、小前一同難澁。貯穀拝借許可。92 名のうち、1名が俵1斗6升3合、91名が各俵1斗2升3合。ぎょうぶ34匁 8分、くさぎ34匁8分が均等配分。	(旧目録P195)	原 本	横 帳	1	○	94
3344 i40	i 2	(安政2年) (1855年)・卯カ	乍恐以書付ヲ奉願上候	○鶴網村より下泉村迄8組 ●記載なし	過去4、5年以來の旱魃に加え、去る寅年11月の大地震、さらに当卯 年6月以來の度々の大風雨などで、拝借した貯穀分の詰戻し、出穀が 困難。詰戻し中には、出穀を免除願いたい。(廻状)	(旧目録P196)	原 本	状	1	○	94
3345 i11	i 2	文久4年1月 (1864年)・子	去亥年貯穀出穀小前帳	○笹間村下組:名主松兵衛、組頭甚三郎、百姓 代次郎右衛門 ●嶋田御役所	去る亥年、小前に出穀下俵の額を小前名前とともに書上げる。17名、 俵計3斗。	(旧目録P195)	原 本	横 帳	1		
3346 i20	i 2	欠	欠(俵・ぎょうぶの積立)	○欠 ●欠	上河内・大森・高日向・西向等の各組毎に、俵・ぎょうぶの貯高を人別と ともに記載。堅帳の断簡カ。	(旧目録P196)	原 本	状	4		
3347 F33	i 2	5月29日 ・巳	記載なし	○萩原七郎兵衛 ●上河内:松兵衛	村川成に夫食金として、金1両を借用。うち3分を返納する。残りは不調 につき、暮に返納する。	(旧目録P193)	原 本	状	1		
3348 F415	i 2	6月 ・申	乍恐以書付奉願上候	○笹間村下組:名主松兵衛 ●記載なし	未年の貯穀詰置分、俵4石5斗8合4匁、ぎょうぶ1貫600目、くさぎ1貫 600目。貯穀5ヶ年賦詰置の命により、小前より取立て分。村役人立合 いの上、相困いの書付を届ける。	(旧目録P325)	原 本	状	1	○	94
3349 L41	i 2	5月25日 ・酉	書状	○下泉村:勝山四郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	①夫食拝借金の内、取替分1朱を送るので、請取られたい。②覚とし て、上河内分3分2朱、伊久美村分1両、故めの上、請取られたい。	(旧目録P285)	原 本	状	2		
3350 i33	i 2	12月 ・酉	乍恐以書付奉願上候	○記載なし ●御役所	当酉年貯穀の書上げを命ぜられたが、この年虫付で諸作皆無同様の 年柄、一同難澁しているので、貯穀の件は年延願いたい。	(旧目録P193)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 西暦( )・干支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3351 i38	i 2	酉		夫食代拝借	○(笹間村下組) ●記載なし	酉3月、笹間村両組金93両2分ト永137文。上組永55貫687文2分3厘。下組永37貫944文8分1厘。7月、両組金45両ト永36文1分。上組金26両2分3朱ト永15文2分。下組金18両1分1朱ト永20文7分とある。	(旧目録P194)	原本	状	1	○	94
3352 E111	i 2	記載なし		覚	○駿州志太郡笹間村下組 ●記載なし	貯穀有高:稗28石6斗6升5合、きょうぶ8貫匁、くさき8貫匁	(旧目録P107)	原本	状	1		
3353 E113	i 2	記載なし		覚	○記載なし ●記載なし	上河内分の貯穀詰戻し分:1軒につき稗2斗4升七合7勺2才づつ、10年分の内訳。	(旧目録P107)	原本	状	1		
3354 i1	i 2	記載なし		貯穀覚	○(笹間村下組) ●記載なし	穀高28石2斗2升2合、きょうぶ8貫4匁、くさき8貫4匁。出穀高6斗、嘉永6年1斗5升、文久3年3斗、安政1年3斗5升。覚として、村高248石7升、家数92軒、人別668人(男360、女308)とある。	丁数3枚 (旧目録P195)	原本	縦 帳	1	○	94
3355 i2	i 2	記載なし		(御料所村々貯穀取締 申付)	○記載なし ●記載なし	貯穀が有名無実化している。困穀が等閑なきように、申渡している。近年連作続きで貯穀の過半が出たようであるので、その詰戻しが必要。去る酉・戌両年は豊作の由。この機に、非常に備えて銘々が覚悟して、困増するように。御勘定方が巡回し、見分することもあるので、心得て置くように。巡回順序:橋田宿・御請新田・東光寺・鶴網・伊久美・身成・笹間渡・笹間両組・地名・下泉	丁数3枚 (旧目録P196)	原本	縦 帳	1	○	94
3356 i21	i 2	記載なし		稗覚	○記載なし ●記載なし	1枚は、大平組各個人(家)の稗持出し高、1枚は、高日向組の稗持出し高を記す。きょうぶの持出し高も記す。	(旧目録P196)	原本	状	2		
3357 i22	i 2	記載なし		覚	○(栗野山組) ●記載なし	稗の貯穀積立差出。太郎右衛門から権兵衛迄13名の稗供出高を記載。最後に、きょうぶ50貫と500目を付加する。	(旧目録P196)	原本	状	1		
3358 i34	i 2	記載なし		乍恐書付を以奉願上候	○駿州志太郡鶴網村:名主新左衛門◎、伊久美村:名主甚左衛門◎、身成村:名主五郎右衛門◎、笹間村下組:名主松兵衛◎、同村上組:名主六郎左衛門◎、笹間渡村:名主次郎左衛門◎地名村:名主九郎右衛門◎、下泉村:名主四郎左衛門◎ ●橋田御役所	去る6月晦日より大雨出水。小前一同夫食相失、難儀。お困いの貯夫食の御下敷を願う。	丁数8枚 (旧目録P193)	原本	状	1	○	94
3359 i36	i 2	記載なし		争々貯夫食押切帳 (包紙あり)	○(笹間村下組) ●記載なし	当村貯穀5ヶ年賦詰戻しを仰せつかり、去る戌年より小前取立て、村役人立合いで困穀とした。別紙に、金8両2分ト永143文7分、これより内金8両2分2朱宛、永拝し、18文7分とある。	(旧目録P194)	原本	状	1		
3360 i37	i 2	記載なし		(拝借金書上の覚)	○記載なし ●記載なし	笹間村両組分拝借金93両2分ト永137文。上組家数135軒、永55巻687文2分3厘。下組家数92軒、永38貫149文8分1厘6毛。両組共並割で、1軒永112文4分9厘8毛として渡す。以下、三並組・高日向・日向・栗野山組・上河内組・大森組・西向組・大平組の各家数・永高を記す。	(旧目録P194)	原本	状	1	○	94
3361 i39	i 2	記載なし		再夫食代夫食代拝借の 覚	○記載なし ●記載なし	金18両1分ト永82文6分、これより笹間村下組は、4両3分ト永89文9分5厘の拝借。これを辰年より丑年までの21ヶ年賦で返済。夫食代金93両②分ト永237文、これより笹間村両組29両2分ト永151文7分ヲ拝借。	(旧目録P194)	原本	横 帳	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3362 i45	J 1	延享1年卯月吉日 (1744年)・巳	万 覚	○駿州志太郡笹間栗野山・小国藏之助 ●記載なし	諸證文の手習書。	丁敷11枚 (旧目録P311)	原 本	縦 帳	1	○	94
3363 Y99	J 1	延享5年5月 (1744年)・辰	御手習用文章	○岡野谷持主万太郎 ●記載なし	ルビを付した手習用の教本。	虫喰甚大、貼付し て離れず・丁敷18 枚。 (旧目録P313)	原 本	縦 帳	1		
3364 Y100	J 1	文化1年12月吉日 (1804年)・子	御手本三拾貳本	○岡野谷平治郎 ●記載なし	年賀の挨拶文雛形に始まり、時候挨拶、地名等、多岐に亘る手習本。	紙敷32枚 (旧目録P313)	原 本	縦 帳	1		
3365 J58	J 1	文化8年 (1811年)・未	(借用證文書ヒナ型)	○岡野谷市次郎、幸次郎、松兵衛 ●土屋孫右衛門御連中など	借用書雛形4例。	9枚 (旧目録P311)	原 本	縦 帳	1		
3366 Y87	J 1	文政11年 (1828年)・子	日本六拾六ヶ国郡数高附	○上河内:岡野谷松輔 ●駿州志太郡大津庄徳山之口	東海道15、東山道8、北陸道7、山陰道8、山陽道8、南海道6、西海道9ヶ国の郡の数。他に詠草、四季の書き札の文例など。	(旧目録P314)	原 本	横 半 帳	1		
3367 Y101	J 1	弘化4年11月 (1847年)	御書体	○上河内村:岡野谷松兵衛 ●記載なし	習字手本、時候・改年の挨拶洋式、外に20軒仲間の氏名等を記す。	虫損、汚れあり。 (旧目録P314)	原 本	縦 帳	1		
3368 J25	J 1	嘉永2年1月 (1849年)・酉	塵劫記覚	○記載なし ●記載なし	江戸時代の和算書。入門的実用的に使用者が纏めたもの。嘉永2年記載の諸々覚書き。	破損あり。 (旧目録P314)	原 本	横 帳	1		
3369 Y102	J 1	嘉永3年5月吉日 (1850年)・戌	洛陽往来	○駿州志太郡笹間村下組上河内村:岡野谷松兵衛並倉松(裏表紙:岡基谷幸次郎) ●記載なし	比叡山はじめ、京御所・紙園・東福寺・伏見・八瀬の里など、京都旅行の紀行文。	(旧目録P314)	原 本	縦 帳	1		
3370 Y103	J 1	安政2年 (1855年)	御手本	○駿州しだ郡笹間下組上河内村 ●記載なし	手習いの手本。	(旧目録P314)	原 本	縦 帳	1		
3371 Y104	J 1	元治2年春 (1865年)・乙丑	素読本御成敗式目	○応需者 ●樺夫 瀧	貞永元年、北条泰時が制定して51ヶ条の法典教科書(貞永式目)。瀧氏の需に応じて書写。	(旧目録P315)	原 本	縦 帳	1		
3372 J24	J 1	記載なし	実語教	○記載なし ●記載なし	「山高故不貴」、「人肥故不貴」等、5文字で1文をなす。学習者が纏めた覚か。	(旧目録P313)	原 本	縦 帳	1		
3373 J90	J 1	記載なし	算法書	○駿州志太郡栗野村:小玉家 ●記載なし	米相場に対する換算法。他に茶・喫煙・木綿などの換算法を詳述。	(旧目録P197)	原 本	横 半 帳	1		
3374 J94	J 1	記載なし	(手習稽古紙)	○記載なし ●記載なし	習字手本、大小各種20。(くすり袋在忠)	(旧目録P204)	原 本	状	20		
3375 Y108	J 1	記載なし	妹背山婦女庭訓やまの だん	○記載なし ●記載なし	浄瑠璃本の一部。登場人物6名の台詞を記す。家庭の女子を中心とした教訓が物語風に記されている。	(旧目録P321)	原 本	縦 帳	1		
3376 Y109	J 1	記載なし	倭往来(岡野谷松太郎 蔵書)	○記載なし ●記載なし	大和の旅行先の有名社寺を挙げ、教科書として利用か。当麻寺・法隆寺・龍田寺・多武峰・興福寺・猿沢の池・春日大社、さらに京都の有名社寺を挙げ、文字の手本としたもの。	(旧目録P321)	原 本	縦 帳	1		
3377 Y111	J 1	記載なし	(熊谷物語・おすわ物語 外)	○記載なし ●記載なし	歴史上、有名な物語を教科書として利用したもの。	(旧目録P321)	原 本	縦 帳	1		
3378 Y112	J 1	記載なし	ひらかな (大津宿の段、ささ引之 段)	○記載なし ●記載なし	①浄瑠璃2段の台本。権四郎以下出場人物8名。②信長・秀吉を中心とした合戦を記す。前後欠。	(旧目録P321)	原 本	縦 帳	2		

## 分類:J-1 教育・文化—教育

No.236

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3379 X182	J 1	記載なし	手習い	○記載なし ●記載なし	実語教に掲載の文章・日常用語を筆で練習。	(旧目録P325)	原 本	状	3		
3380 Z17	J 1	記載なし	(手紙の書き方雑形)	○記載なし ●記載なし	手紙文章の書き方6例を示す。	(旧目録P326)	原 本	縦 帳	1		

## 分類:J-2 教育・文化—学芸

3381 J8	J 2	安永10年1月1日 (1781年)・辛丑	(元旦和歌2首)	○岡野谷氏・藤原正清 ●記載なし	「安永のいね穂の上も面白民のかまどにつもる雪かな」他1首。	(旧目録P197)	原 本	状	1		
3382 J9	J 2	寛政1年3月 (1789年)・酉	(和歌13首の写)	○記載なし ●記載なし	13首の和歌の後述、寛政元年酉三月、御公達三條左大臣俗称転法輪とあり。冒頭の1首「雲井より洩れてや月の宿るらんしつかふせ屋の軒の雲に」	(旧目録P197)	原 本	状	1		
3383 J47	J 2	寛政7年 (1795年)・乙卯	寛政七年きとのう乃宝 曆甲戌元曆(昴宿値年 凡355日)	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	寛政7年の伊勢曆。24節氣と五行の陰陽五行説を基本に作製。	(旧目録P199)	原 本	折 本	1		
3384 J48	J 2	寛政8年 (1796年)・丙辰	寛政八年ひのえたつ乃 宝曆甲戌元曆(昴宿値 年凡354日)	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	寛政8年の伊勢曆。陰陽五行説を基本に、一切の万物は陰陽二気により生まれ、五行中、木・火は陽、金・水は陰に属し、土は中間とし、天地の変異・災祥・人事の吉凶を説く。	(旧目録P199)	原 本	折 本	1		
3385 J49	J 2	寛政9年 (1797年)・丁巳	寛政九丁巳曆	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	寛政9年の伊勢曆。付録に、1・12月よし、2月わろし、3・4月わろし、5・6・7月よし、8・9・10月よし、11月よしとある。吉日:未・申・戌・亥・子・丑・寅、忌日:卯・辰・巳・午・酉とある。	(旧目録P199)	原 本	折 本	1		
3386 J51	J 2	寛政9年 (1797年)・未	寛政十一己未曆	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	寛政9年新曆成、10月進奏、賜名寛政曆。他に、岡野谷松兵衛未37才の1年間の吉凶占いも同封。2枚。	虫損、破損あり (旧目録P199)	原 本	折 本	1		
3387 J50	J 2	寛政10年 (1798年)・戊午	寛政十年つちのえむま 乃新曆(参宿値年凡54 日)	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	付録4枚。①、②は、松兵衛2人の娘の各月の吉凶を記す。③、④は、17夜当卦大切星祭吉とあり、各月の吉凶を版刷りで記す。	(旧目録P199)	原 本	折 本	1		
3388 J52	J 2	寛政13年 (1801年)	寛政十三年かのとのどりの 新曆(表紙なし)	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	寛政13年辛酉の伊勢曆。	虫損、後欠 (旧目録P199)	原 本	折 本	1		
3389 J53	J 2	享和2年 (1802年)・戊	享和二壬戌曆	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	享和2年壬戌の寛政曆。岡野谷松兵衛40歳の吉凶占い2枚。	虫損 (旧目録P200)	原 本	折 本	1		
3390 J54	J 2	享和3年 (1803年)・亥	享和三年みづのどの 寛政曆	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	享和3年癸亥の伊勢曆。他に、亥年松兵41歳の1年間の吉凶占い3枚。	(旧目録P200)	原 本	折 本	1		
3391 J55	J 2	享和4年 (1804年)・子	享和四年きのえねの寛 政曆(表紙なし)	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	享和4年甲子の伊勢曆。他に、松兵衛43歳の吉凶占い。	虫損 (旧目録P200)	原 本	折 本	1		
3392 J32	J 2	文化2年 (1805年)・丑	文化二壬戌曆	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	文化2壬戌の曆。	(旧目録P202)	原 本	折 本	1		
3393 J56	J 2	文化2年 (1805年)・丑	文化二年きとうしの寛 政曆	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	文化2壬戌の曆。	(旧目録P200)	原 本	折 本	1		
3394 J29	J 2	文化3年 (1806年)・寅	文化四丁卯曆	○伊勢度会郡山田・宮崎左近 ●記載なし	文化4丙寅の曆。他に、17夜当卦大切星祭表等(松兵衛、岡野松兵衛)3状同封。	虫損、破損あり (旧目録P200)	原 本	折 本	1		
3395 J57	J 2	文化6年 (1809年)・巳	文化六己巳曆	○伊勢度会郡山田・美曲主水 ●記載なし	文化6年つちのとみの寛政曆。	虫損 (旧目録P200)	原 本	折 本	1		
3396 J30	J 2	文化7年 (1810年)・庚午	文化七庚午曆	○伊勢山田・山口右兵衛 ●記載なし	岡野谷松兵衛48才が使用した曆。17歳の寅年の息子の運勢を占ったと思われる別紙あり。	(旧目録P200)	原 本	折 本	1		



通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
3397 J31	J 2	文化8年 (1811年)・未	文化八辛未暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文化8年辛未の暦。他に、松兵の8卦星祭表1通あり。	(旧目録P200)	原本	折本	1		
3398 J59	J 2	文化13年 (1816年)・子	文化十三丙子暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文化13年丙子の伊勢暦。他に、寅23才男子、巳20才男子の吉凶占 い。	(旧目録P200)	原本	折本	1		
3399 J60	J 2	文化14年 (1817年)・丑	文化十四年ほのどのうし 寛政暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文化14年丁丑の伊勢暦。55才の岡野谷家主人の1年の吉凶占い、同 封。	虫損 (旧目録P200)	原本	折本	1		
3400 J61	J 2	文化15年 (1818年)・寅	文化十五戊寅暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文化15戊寅年の伊勢暦。吉凶の占いあり。	虫損 (旧目録P200)	原本	折本	1		
3401 J62	J 2	文政1年 (1804年)	文政二己卯暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文政2年の伊勢暦。他に、20夜当卦大切星祭吉、岡野谷氏、未57才。 当卦覚寅・巳・子年の男。	(旧目録P200)	原本	状	4		
3402 J63	J 2	文政3年 (1820年)・辰	文政三庚辰暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文政3庚辰年の寛政暦。松兵衛1年間の吉凶占いと3人男子の忌日 の日。	虫損甚大 (旧目録P200)	原本	折本	1		
3403 J64	J 2	文政3年 (1820年)・辰	文政四辛巳暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近(立表測量定節氣 者) ●記載なし	①伊勢暦文政4年版。②寛政暦文政4年占い、③玉女神楽月占い正 月吉日④卦覚寅巳子男子3名分。版本。	(旧目録P200)	原本	状	4		
3404 J65	J 2	文政5年 (1822年)・午	文政五壬午暦	○伊勢度会郡山田:飛鳥帯刀 ●記載なし	文政5壬午年の寛政暦。松兵衛の1年の吉凶占い、3人男子の忌日 あり。(裏表紙なし)	(旧目録P200)	原本	折本	1		
3405 J66	J 2	(文政5年) (1822年)	文政六癸未暦	○伊勢度会郡山田:飛鳥帯刀 ●記載なし	文政6癸未年の暦。	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3406 J67	J 2	文政7年 (1824年)・申	文政七甲申暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文政7甲申年の寛政暦。1年間の吉凶占いと3人男子の忌日あり。 (後欠)	虫損 (旧目録P201)	原本	折本	1		
3407 J68	J 2	文政8年 (1825年)・乙酉	文政八乙酉暦	○伊勢山田:宮崎左近 ●記載なし	岡野谷松兵衛使用の暦。3人男子の忌日の記載あり。	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3408 J69	J 2	文政9年 (1826年)・戌	文政九丙戌暦	○伊勢度会郡山田:飛鳥帯刀 ●記載なし	文政9丙戌年の寛政暦。松兵1年の吉凶占いと3人男子の忌日を同 封。	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3409 J42	J 2	文政11年5月16日 (1828年)・寅	狂歌水滸伝二会会主総 連	○藤好 ●岡野谷	狂歌番付表で、最上位は「宋江」、最下位は「蒼頭」からなり、遊者に福 酒屋・福陶居・福書堂の名あり。なお、狂歌番付差上状1、手習書2が ある。	(旧目録P198)	原本	状	4		
3410 J70	J 2	天保2年 (1831年)	天保三年壬辰寛政暦	○伊勢度会郡山田:飛鳥帯刀 ●記載なし	「天保3年みずのえたつ乃寛政暦、翌宿値年凡384日」とあり。	紙劣化、破損 (旧目録P201)	原本	折本	1		
3411 J71	J 2	天保4年 (1833年)	天保四癸巳暦	○伊勢山田:宮崎左近 ●記載なし	「天保4年みずとみの寛政暦、移宿値年凡354日」とあり。	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3412 J72	J 2	天保5年 (1834年)・甲午	天保五甲午暦	○伊勢山田:宮崎左近 ●記載なし	岡野谷氏使用の暦。別紙付録に、「23夜、当卦大切星まつりてよし」の 見出しあり。以下、各月の方位と人の行為の吉凶を記す。日忌日と使い 日の良し悪しを記す。(寅年男、子年男の日忌日)	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3413 J73	J 2	天保5年 (1834年)	天保六乙未暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	天保6年の寛政暦。他に吉凶占い、2枚あり。	(旧目録P201)	原本	折本	3		
34144 J74	J 2	天保14年 (1843年)	天保十五甲辰暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左内 ●記載なし	「寛政暦改まり、天保壬寅元暦を賜う」とあり。伊勢暦。当卦、吉凶占い2	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3415 J75	J 2	天保15年 (1844年)	天保十六乙巳暦	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	天保15年12月発行。実際は、弘化2年の暦。	(旧目録P201)	原本	折本	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
3416 J76	J 2	弘化3年 (1846年)	弘化三丙午曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	表紙に「大藏岡野谷松兵衛様」とあり。	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3417 J77	J 2	弘化3年 (1846年)・丙午	弘化四年丁未曆	○記載なし ●記載なし	弘化4年の曆を印刷で表記。平仮名細字。	(旧目録P201)	原本	折本	1		
3418 J78	J 2	弘化4年 (1847年)	弘化五戊申曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	弘化5年つちのえさる天保壬寅元曆。寅年松兵衛の御神籤1、家あり。	標題はがれ (旧目録P201)	原本	折本	1		
3419 J79	J 2	嘉永1年 (1848年)・戊申	嘉永二己酉曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 (出版) ●記載なし	嘉永2年の伊勢曆。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3420 J80	J 2	嘉永2年 (1849年)	嘉永三年かのえいぬの 天保壬寅元曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	嘉永3年の伊勢曆。寅年松兵衛の籤1、当卦1同封。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3421 J81	J 2	嘉永3年 (1850年)・庚戌	嘉永四辛亥曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	嘉永4年の伊勢曆(同3年出版一連の縦長冊子)。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3422 J106	J 2	嘉永3年 (1850年)・庚戌	歌(狂歌)	○井城 ●記載なし	夏の夜は案に寝られぬのみや蚊で身をかき(むしる)嘉永さんねん。	(旧目録P199)	原本	折本	1		
3423 J82	J 2	嘉永4年 (1851年)・辛亥	嘉永五壬子曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 (出版) ●岡野谷松兵衛	嘉永5年の曆と「当卦」とした1枚が挟みこまれている。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3424 J83	J 2	嘉永5年 (1852年)	嘉永六癸丑曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	嘉永6年みつとのとうしの曆。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3425 J84	J 2	安政5年 (1858年)	安政六年己未曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	安政6年己未曆。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3426 J33	J 2	文久3年 (1863年)・癸亥	文久三癸亥曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	松兵衛25歳(亥年)が使用。付録別紙に、弘法大師日秘伝録あり。その始めに、「年中の心得としての折念書を進上」とある。以下、方位の吉凶、信心の良し悪し、行為の占い等を記す。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3427 J34	J 2	文久3年 (1863年)・亥	文久四甲子曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	文久4年の伊勢曆。他に、弘法大師秘伝録、岡野谷松兵衛の23夜当卦大切星まつり表あり。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3428 J35	J 2	元治2年1月 (1865年)・乙丑	元治二乙丑曆	○伊勢山田:宮崎左近 ●記載なし	岡野谷松兵衛使用の曆。付録別紙がない。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3429 J36	J 2	慶應2年 (1866年)・寅	慶應二丙寅曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	慶應2年丙寅の伊勢曆。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3430 J37	J 2	慶應3年 (1867年)・丁卯	慶應三丁卯曆	○伊勢山田:箕曲主善 ●記載なし	岡野谷松兵衛使用の曆。別紙付録に、虚空蔵菩薩に関する記事あり。「正月、12月は神仏信心してよし」から、各月の方位等の吉凶を記す。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3431 J38	J 2	慶應4年 (1868年)・辰	慶應四戊辰曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	慶應4年戊辰の伊勢曆。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3432 J39	J 2	明治2年 (1869年)・己巳	明治二己巳曆	○伊勢度会郡山田:宮崎左近 ●記載なし	岡野谷氏使用の曆。付録別紙になし。初めに、朱印を捺す。	(旧目録P202)	原本	折本	1		
3433 J40	J 2	明治3年 (1870年)・午	明治三甲午曆	○伊勢度会郡山田:石丸弘人 ●記載なし	明治3年庚午の伊勢曆。	(旧目録P203)	原本	折本	1		
3434 J41	J 2	明治4年 (1871年)	明治四辛未領曆	○大学曆曲:三島河合龍節加茂、伸満 ●記載なし	朱印に、「8月25日改称星学局」とあり、右側に「大学之印」の朱印。付録なし。	(旧目録P203)	原本	折本	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3435 L492	J 2	3月5日	書状	○西野平藏 ●岡野谷大介	山口屋一条から聞いたところでは、長崎の医者が嶋田宿を受持つことになり、その時の荷物送りの馬掛り金2朱を差出した。時折、当地は、病人が急増し、これも鎮めてくれた札として金2朱を差上げた人も居た。又、馬掛りを別物で差出人もいたが、金2朱の規定であること、よろしく頼む。	(旧目録P288)	原 本	状	1	○	94
3436 J43	J 2	8月20日	書状 (包紙あり)	○川根下泉:勝山熊太郎 ●上河内村:岡野谷松助	免許の門弟のことについて、定り次第、当方へおとりなしを願う。	(旧目録P204)	原 本	状	1		
3437 J10	J 2	記載なし	上河内松巖公に宿りて	○伊太村:竹堂 ●松巖公雅人	(俳句) 大内に志波の似よりの桔梗かな	(旧目録P197)	原 本	状	1		
3438 J13	J 2	記載なし	春景狂歌合 (袋入り)	○山本綱彦 ●索網堂主人	題:旅恋、炭かま、初雪、千鳥、すすはき、懸乞、歳暮の和歌。	(旧目録P198)	原 本	状	1		
3339 J14	J 2	記載なし	即座衆評春題句合	○催、知白、竹波 ●記載なし	竹波、知白、柳浦、他俳人の詠草。	(旧目録P198)	原 本	縦 帳	1		
3440 J17	J 2	記載なし	(廻文和歌)	○記載なし ●記載なし	ふちはかま、みをつくし、他の文字を組合せての廻文歌。	(旧目録P198)	原 本	状	1		
3441 J46	J 2	記載なし	寛政六年きのえとらの宝 曆申戌元曆	○伊勢度会郡山田:官崎左近 ●記載なし	寛政5年に出された寛政6年の伊勢曆。陰陽五行説に基づき、作製された曆。	(旧目録P199)	原 本	状	1		
3442 J88	J 2	記載なし	御名神牛丸	○記載なし ●記載なし	「神牛丸」の効能書き。八幡太郎朝臣が製し、駿州草薙神社神主家伝来。(版物)	(旧目録P204)	原 本	状	1		
3443 J89	J 2	記載なし	人参龍眼肉円	○大坂北区太良町老丁目:法眼柴田徳翁 ●記載なし	和漢第一の腎薬の効能書き。(刷物)	(旧目録P204)	原 本	状	1		
3444 J97	J 2	記載なし	(和歌2首)	○哥雪 ●岡野谷、勝山、平口	末期の歌2首。	下部全載原稿 (旧目録P198)	原 本	状	1		
3445 J99	J 2	記載なし	堺町扇楼額面四季混題 句会	○記載なし ●記載なし	34句を載せる。	虫損 (旧目録P198)	原 本	状	1		
3446 J102	J 2	記載なし	家方万金丹	○記載なし ●記載なし	第一期付け、毒消しに良い。湯にて用ゆべし。万金丹の効能書き。	(旧目録P204)	原 本	状	1		
3447 J103	J 2	記載なし	(薬の効能書)	○記載なし ●記載なし	疝積、頭痛、痰咳、他に効用ありとの効用書。(版物)	(旧目録P3447)	原 本	状	1		
3448 J104	J 2	記載なし	(薬の効能書)	○記載なし ●記載なし	病犬に咬まれたら、早速杏仁を赤くなるほど焼き、味噌のようにして傷口へ置き、灸をする。杏仁が血をすって良い。物を食べている犬に触ってはいけない。かならず咬まれる。	(旧目録P204)	原 本	状	1		
3449 J105	J 2	記載なし	一笑竹(包紙あり)	○深山松簡大人 ●大口深水	年毎にわるき季節といひながらわるきもなきによきの質入れ 深水 他に狂歌3首あり。	(旧目録P198)	原 本	状	1		
3450 J107	J 2	記載なし	(和歌)	○記載なし ●記載なし	早春を歌った4首(立春、若葉、早蕨、鶯)。立春:阿ら玉の春立初める志るしやら山ことか寿みて今日ハのどけきや	(旧目録P199)	原 本	状	1		
3451 J108	J 2	記載なし	(狂歌)	○記載なし ●記載なし	「がん朝やみつき物かや酉の年」を受け、「がん朝や是をいさめし酉の年 五石一入土のとの秋」と返し歌。	(旧目録P199)	原 本	状	1		
3452 J110	J 2	記載なし	(和歌)	○記載なし ●記載なし	一色村の和歌の先生方皆心を捕え、わが孫9才を祝い和歌を歌う。これを受けて喜び、「一色に心を寄せて和歌松の名も高砂と老のどるまで」と返す。	(旧目録P199)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分 類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3453 J122	J 2	記載なし	一角丸(薬)(包)	○大野伝兵衛 ●記載なし	幼児用の薬(一角丸)で、1粒代金8文。実物4粒あり。痘瘡、むし、てんかん、めまい等。なお、子供の疳の虫に、ハツ目うなぎと併用すべし、とある	(旧目録P205)	原本	状	1		
3454 Y107	J 2	記載なし	天竺三闍仙人夢物語全	○記載なし ●記載なし	竺州勘略山に住む三闍仙人が、三闍の法を三國に広めようと、四方山の話をしながら、日本の貴賤ともに困窮、この儀、いかなる故かという内容から始まる。	(旧目録P321)	原本	状	1		
3455 X120	J 2	記載なし	諸病一切之療治	○本家調合所長崎:小松屋製 ●記載なし	頼病、転換、丹咳、むしば、たむし、ほくろ、いぼ、うちみ等を列挙し、この度、諸人を助けるために、100日間、難病一切の療治仕る、とある。	(旧目録P325)	原本	状	1		

## 分類:J-3 教育・文化一文化

3456 J120	J 3	文政9年10月 (1826年)・戌	荊萱楽門筑紫口	○板元さかひ町:沢村利兵衛正 ●記載なし	太夫役割、人形役割の役割・氏名を記す。版刷り。	同版2枚 (旧目録P203)	原本	状	2		
3457 K61	J 3	安政3年春 (1856年)辰	花火目録	○駿州志太郡大津庄徳山郷、笹間村之内上川内村:主岡野谷五郎右衛門尉 ●記載なし	打上花火製造上の配合(塩、硫黄、鉄等)及び分量が、花火の種類(三國一、袖牡丹、紅葉等々)に記載された目録長。102種類の名称。	(旧目録P216)	原本	横半帳	1		
3458 J16	J 3	記載なし	東海道宿詠込歌	○記載なし ●記載なし	日本橋から懸川まで、世相などを詠込む。	(旧目録P198)	原本	縦帳	1		
3459 J93	J 3	記載なし	道楽院流軽口澹規	○新発意猫栖(落)落 ●記載なし	今年の暴風で家々の壁や戸障子を壊され、命助かるも、世人口を閉ざしている。笑いを誘うため、世評を諷刺した洒落本。	(旧目録P198)	原本	縦帳	1		
3460 J109	J 3	記載なし	歌 (連歌様式のざれ時)	○記載なし ●記載なし	作者が隔離された境遇時の心境を詠んだものか、多くの語句が悲運めいている。	(旧目録P199)	原本	状	1		
3461 J111	J 3	記載なし	駿河状	○記載なし ●記載なし	駿河府中の名所を列記、有名な寺社明晰等を記す。東西南北、春夏秋冬の景色を綴るが一片のみで、他はない。	(旧目録P205)	原本	状	2		
3462 J126	J 3	記載なし	四方ながら	○人真似 ●記載なし	「春は江戸、江戸は吉原、吉原の中にも中の早の夕暮」とある。節分の時と子の歳の2句も詠む。	(旧目録P199)	原本	状	1		
3463 K108	J 3	記載なし	(動物戯画)	○記載なし ●記載なし	やせいぬ、大うなぎ、小うなぎ、うなぎのたまごの名と絵がある。(裏面に、にわどりの絵など)	(旧目録P218)	原本	状	1		
3464 K114	J 3	記載なし	詞章	○記載なし ●記載なし	浄瑠璃本で義太夫の詞章を記す。長尾景勝・上杉謙信、その家系の人物が登場。	(旧目録P218)	原本	縦帳	1		
3465 Y96	J 3	記載なし	再板東海道中記	○村田屋治良兵衛 ●記載なし	東海道・伊勢路、宿場間距離と駄賃、伊勢より奈良への宿場間里道を記す。	(旧目録P321)	原本	小冊子	1		
3466 Y105	J 3	記載なし	(歌教本)	○記載なし ●記載なし	歌教本の一部。苦勞しながら、筑前守が光秀を誹らした歌を記す。	(旧目録P321)	原本	綴り	1		
3467 Y113	J 3	記載なし	狂言歌 (東夷庵大人)	○記載なし ●記載なし	狂言歌の綴りで29首を記す。題「秋風」では、「人の目に机の上の反古を佐しちらして告るふみ月の風」とある。	(旧目録P321)	原本	綴り	1		
3468 Z9	J 3	記載なし	(上方・四国・中国廻り旅の資料)	○記載なし ●記載なし	旅宿、宿場間の道程、伊賀越・奈良越、絵図等の旅の案内。	(旧目録P325)	原本	状	16		
3469 X1	J 3	記載なし	(例字・例文・留書き帳)	○記載なし ●記載なし	遠州、空井、名古屋などの地名。10反、1反などの数字、米・麦などの5穀、借用申金子手形之事など、思いついたことを記帳。	丁数7枚、紙劣化、変色 (旧目録P312)	原本	縦帳	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3470 J11	K 1	享保9年10月吉日 (1724年)・辰	西国巡礼御えんき	○記載なし ●記載なし	西国巡礼の始まりは、宝龜年頃、大和国長谷寺開山徳道商人が云々。 仏教の因縁・因果を説く。	表紙含め16枚 (旧目録P203)	原 本	縦 帳	1		
3471 A67	K 1	享保21年5月24日 (1736年)・丙辰	口上	○笹間村之内上河内:峯叟院 ●田中寺社奉行所	什物の御朱印は、安部郡龍雲寺から東菊和尚が来住の折に今川義元 母の掛軸を持参したので、頂いたと伝える。像は、絹地の掛絵である。	(旧目録P12)	原 本	状	1	○	94
3472 K68	K 1	延享2年2月14日 (1745年)・己酉	月牌之證文	○高野山千手院谷:正覺院 ●駿州上河内村:岡野谷松兵衛	月牌請取啓(為瀧總龜妙大姉靈)天命6年2月。他に明治6年8月迄の 請取9通。それぞれ包紙あり、1つに複数枚のものもある。	(旧目録P211)	原 本	状	15		
3473 F92	K 1	安永3年11月 (1774年)・午	借用申金子手形之事	○高根神社借主遠藤帯刀◎、請人神領役人六 差衛門◎、同五左衛門◎、同清右衛門 ●岡野谷松兵衛	金10兩を借用。文字金。1年2割の利足で来る5月中、元利共返金。質 物として、高根山の杉木200本を書入れる。遅滞なら、質物共に売却 する。	(旧目録P120)	原 本	状	1		
3474 K66	K 1	天明1年6月 (1781年)・丑	鐘鑄務仁席	○身成村:阿主南寺 ●記載なし	金12兩3分は、当山梵鐘新鑄の費用。当山は、辺郡で檀家も少ないの で、拙山興行の頼母子講の取立金で賄う。そのため、麓役人の請負院 をもってお願いする。	(旧目録P208)	原 本	状	1		
3475 K112	K 1	天明1年 (1781年)・丑	式拾番本堂建立奉加記	○駿州志太郡鬼岩寺村:鬼岩靈寺現住照朝 ●記載なし	鬼岩寺草創を神龜3年行基とする。	木版印刷4枚 (旧目録P208)	原 本	縦 帳	1		
3476 K170	K 1	(天明5年) (1785年)	氏神兩宮御宗札下書	○記載なし ●記載なし	氏神兩宮は、白山権現と大井大権現を指す。白山大権現は、今川氏 に仕えた岡野谷氏の勧請になり、大井大権現は、岡野谷氏との関りを 有する。とも二縁起・由来を記す。	(旧目録P213)	原 本	状	2	○	94
3477 F319	K 1	天明8年6月28日 (1788年)・申	預り申手形之事	○堀田七太夫、多田治 ●岡野谷松兵衛	旦那金の内、金1兩、儘に預かる。本書は、帯宅して親より差上げる。	(旧目録P114)	原 本	状	1	○	94
3478 K13	K 1	寛政8年6月 (1794年)・辰	洞雲寺勸化取集帳	○上河内分 ●記載なし	辰の7月から巳の4月迄、メで金2兩3分300文、21名。巳の12月か ら午の7月迄、メで金2兩2歩2朱、20名。冒頭に、「辰6月、12月、銭・ 兩に6貫文」とあり。	丁敷6枚 (旧目録P209)	原 本	横 帳	1	○	94
3479 F102	K 1	文化6年8月 (1809年)・巳	借用仕金子手形之事	○金子借主龍光院春光、他1通村役人5名 ●上河内村:松兵衛、二又村:治郎助	上京の金子が不足で、金7兩を借用。返済は、拙寺總檀中が引受け る。来る11月までに急度返済する。他の1通に、村役人5名の連署で1 1月晦日限りで返済すると申出ている。	虫損甚大 (旧目録P121)	原 本	状	2		
3780 K180	K 1	文化10年12月 (1813年)	覚	○西法寺 ●上河内村:松兵衛	勸化金奉納覚。笹間村の内、日向村・大森村・上河内村の勸化高を挙 げる。	(旧目録P216)	原 本	状	1	○	94
3481 K216	K 1	文化11年5月吉日 (1814年)	毎月常齋扣	○大井山寶叟院 ●記載なし	日毎の各人の追善供養の扣。例:朔日の晩嶋五左衛門、朝平三郎、二 日一色次郎兵衛、などとする。	紙18枚 (旧目録P208)	原 本	横 半 帳	1		
3482 K69	K 1	(文化11年)11月4日 (1814年)・戌	覚 (成龍院勸化寄附請取)	○三河恭仁額田郡成龍院寺役人藤田豊吉◎ ●当組合七ヶ村御名主中	成龍院修復勸進寄附金1分の請取。7ヶ村:上河内村・西向村・大平 村・身奈良日村・高日向村・日向村・栗野山村。他に、止宿村請取・勸 化寄進の證。	(旧目録P209)	原 本	状	3		
3483 K181	K 1	文化12年2月7日 (1815年)・亥	二日目舞帳	○記載なし ●記載なし	樽1荷、若ものへ、瀬戸の新大様より。20疋、松兵衛へ、長しま村の六 郎左衛門様より、と祝儀を列挙。大久保・相賀・白井・三並・中平・二又・ 身成などの諸村を列挙。	丁敷3枚 (旧目録P213)	原 本	横 帳	1		
3484 K182	K 1	文化12年2月 (1815年)・亥	御舞請納帳	○記載なし ●記載なし	舞への祝儀。差出人:各村の個人。請取人:市次郎・松兵衛・惣右衛 門・若者・中老・小川甚左衛門、半蔵、丑之丞など。指出村:三並・二 又・小川・大関・高日向・抜里・白井・大森・中川内・西向・栗野山など。	(旧目録P213)	原 本	横 帳	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3485 K2	K 1	文化14年10月 (1817年)・丑	吉田殿御廻状写	○吉田殿出役所 ●諸社家神子中 村長官座諸産村持之社守護 人鍵取支配人抱主掃除人等へ	寛文5年諸国一統へ出された御条目の趣旨をわきまえず、社例を乱す ものあり。さらに、天明2年御輪旨御条目の再触れがあるにも拘らず、趣 意に背くもの有り。心得違ひなきよう、申し渡す。これに、紺屋町御役所 よりの廻状写が添付されている。	(旧目録P212)	原 本	縦 帳	1	○	94
3486 K71	K 1	文化14年10月 (1817年)・丑	覚	○上河内:名主松兵衛 ●記載なし	氏神白山権現、除地永00文、鍵取松兵衛、毎年9月22日祭祀、祢宜奥 嶋丹後、除地高で祭祀・御神酒を調えてきた。修復は氏子中である。	(旧目録P214)	原 本	状	1		
3487 D270	K 1	文政2年5月21日 (1819年)・己卯	三光寺一件願下御請證 文写	○檀中村役人 ●寺社御奉行所	家山三光寺住職素院の不行届の件に、僧録所可睡齋が仲裁に入り、 三光寺関係の智満寺・万福寺など多くの寺院が、解決に向けて寺社奉 行所に告訴。	丁数16枚 (旧目録P96)	原 本	縦 帳	1	○	94
3488 F107	K 1	文政4年4月 (1821年)・巳	万日記	○記載なし ●記載なし	阿主南寺ですかし(疱瘡除けの祈禱か)13座、お礼に、金2両、祝儀に 1両を渡す。市次分として、祈禱1座、お礼300文。延寿いんで疱瘡す かし2座。	(旧目録P138)	原 本	横 半 帳	1		
3489 L20	K 1	文政7年9月9日 (1824年)・申	覚	○保福嶋村:庄屋善太夫@、年寄勘左衛門 ●上河内村:世話人岡野谷松兵衛	当村大井神社再建寄附、金2朱、上業800目、隨に請取る。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3490 G25	K 1	文政7年10月 (1824年)・申	請取	○駿府:無量寺役僧 ●御役人中	銭300文。これは、虚無僧止宿料として、来る酉年より丑年迄の5ヶ年 済み。	(旧目録P189)	原 本	状	1		
3491 K72	K 1	文政11年3月 (1828年)・子	乍恐以書付奉願上候	○志太郡笹間村下組:松兵衛、甚三郎、次郎右 衛門 ●紺屋町御役所	除地の寺7ヶ寺(うち6ヶ寺無住、1ヶ寺僧1人)、除地氏神6社(杜家記 載なし)、御朱印寺なし。	(旧目録P205)	原 本	状	1	○	94
3492 K183	K 1	文政11年4月 (1828年)・子	印鑑	○記載なし ●記載なし	守隨役所から出された印鑑(札)。タテ16.3×ヨコ6.4cm	(旧目録P216)	原 本	札	1		
3493 K18	K 1	天保2年2月吉日 (1831年)・卯	薬師如来彩色施主	○記載なし ●記載なし	彩色料3両1分、駿府江川町大仏師政之進、本山御礼伴僧5人、米・味 噌代など計6両3分3朱、内金3両1分3朱ト182文。勧化金分差引き3両2 分152文不足。上河内他一色などの村々の戸主・若者・女衆から寄附 を集めた。	(旧目録P208)	原 本	横 帳	1		
3494 K19	K 1	天保3年1月 (1832年)・辰	伊勢参宮御受納帳	○駿州志太郡上河内邑:岡野谷松輔 ●記載なし	近在の村々との伊勢講か、94戸。	安色 (旧目録P211)	原 本	横 帳	1		
3495 F443	K 1	天保3年3月12日 (1832年)・辰	請取2通 洞雲寺(包 紙)	○①洞雲寺副事、②同執事 ●①上河内村・一色村:惣且方衆中②上河内村: 岡野谷松兵衛	①金2両3分ト28文、隨に請取る。②金3両、これ受納となる。	(旧目録P140)	原 本	状	2		
3496 K73	K 1	天保4年7月 (1833年)・巳	(折願文)	○三州名倉若林:願主沢田門昭 ●記載なし	願文、ほぼ90字の木版印刷物。	(旧目録P216)	原 本	状	1		
3497 K184	K 1	天保6年8月 (1835年)・未	氏神烏井井覆諸掛帳	○上河内村(松兵衛覚) ●記載なし	烏居及社殿修復入用の覚。木捕(取り)・木挽・大工等の職人の手間 代、大工祝儀、諸材料、備品等の代金を記載。ト金1両1分ト1貫97 6文とある。	(旧目録P216)	原 本	横 帳	1		
3498 F54	K 1	天保8年3月 (1837年)・酉	借入金一札之事	○笹間村下組:金子借用主龍光院、且中惣代請 人:伊左衛門、新太夫、利兵衛、太郎右衛門、甚 左衛門、権右衛門、治郎兵衛 ●青部村:善三郎	境内の杉木を、去申年7月に売却、金子5両を内金として請取る。しか し、杉木は本山の目標木として大切であるので、これをうることに難色。 そこで金5両を返金したいが、返金できず、借用。当面、半分と来る成 年に半分、両年年賦で返済。且中も得心した。	(旧目録P123)	原 本	状	2	○	94
3499 K3	K 1	天保9年9月 (1838年)・戌	御祈禱勸進帳	○御祈禱所富士山池西坊役者 ●世話人:佐野郡・豊田・山名・周知・城東・糠原 郡の各村々、70名	近年、火難・水難・病難、または前代未聞の飢饉による米価高騰で困 窮著しく、このため、信心の気力も失せ、霊場の参詣も怠り、嘆かわし い。そこで、五穀成就・病難消除の祈禱行事をするので、檀家一統へ 勸進願いたい。世話人は、金額と引替えに守札等を渡してほしい。	丁数5枚 (旧目録P214)	原 本	縦 帳	1		
3500 F444	K 1	天保10年6月15日 (1839年)・亥	請取之事	○平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	金1両1分、笹間村分。金1朱、一色村分。富士山池西坊護摩講料奉 加金。書面の通り、当亥年分、隨に請取る。	(旧目録P215)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3501 K4	K 1	(天保11年)9月6日 (1840年)・庚子	御寄附帳	○御師浦口莊明太夫 度会直中(花押) ●記載なし	伊勢参官人もなくなり、勝手向きの甚だ悪くなった。親も体が弱り、家督を継いだが、申酉前代未聞の大風雨で大被害。座敷は修復下が、輪旨費用が高み、経営が難しくなった。且中の方々に助成願いたく、この後面への記帳を願いたい。	丁敷3枚 (旧目録P211)	原本	縦帳	1		
3502 K29	K 1	天保15年10月 (1844年)・辰	洞雲寺日銭取集帳	○上河内、一色:世話人松兵衛 ●記載なし	辰10月20日、取立。1軒150文。29軒で4貫350文。代金2分2朱284文、松兵分2分。アて1両2朱284文。12月分もあり。	(旧目録P209)	原本	横帳	1		
3503 K74	K 1	嘉永7年11月26日 (1854年)・寅	覚	○高野山正覚院役僧 ●岡野谷松兵衛	永代月牌記念として、金200疋を請取る。仮請書	(旧目録P209)	原本	状	1		
3504 K75	K 1	安政4年12月1日 (1857年)・巳	覚	○高野山正覚院役僧 ●小河内村:岡野谷松兵衛	御橋料として、金1両を請取る。	(旧目録P209)	原本	状	1		
3505 K76	K 1	安政4年12月 (1857年)・巳	奉掛御立願之事	○願主ちか(巳歳女) ●記載なし	病氣平癒のため、当所両氏神、家内荒神、大神宮、見附天神、日本大小之神々に祈願する。	(旧目録P215)	原本	状	1		
3506 K5	K 1	安政5年7月 (1858年)・午	御尋に付寺方宗派書上帳	○大草太郎左衛門御代官所駿州志太郡笹間村 両組:名主松兵衛、同八左衛門 ●紺屋町御役所	笹間村下組の禪宗曹洞派龍光寺他6ヶ寺、笹間村上組の禪宗曹洞派登福寺他3ヶ寺の届出下書。	丁敷5枚、虫損、汚れ (旧目録P205)	原本	縦帳	1	○	94
3507 K77	K 1	安政5年7月 (1858年)・午	奉掛御立願之事	○願主午ノ歳女37歳きう ●記載なし	当午年1月以来今において、病氣平癒なし。日天月天、天照皇太神宮、津島牛頭天王、金毘羅大権現など、11社寺へ祈願。	(旧目録P215)	原本	状	1		
3508 K45	K 1	安政6年1月 (1859年)・己未	峯叟院栗普請帳	○世話人松兵衛(覚) ●記載なし	庫裏普請の総工費。木挽・大工等の人工・手間賃、各種建材、関連諸品合せ。金9両3分3朱393文。請取済みの朱筆が入る。	丁敷8枚 (旧目録P208)	原本	横帳	1		
3509 K168	K 1	安政6年1月 (1859年)・己未	奉掛御立願之事	○願主子年44歳ノ男松兵衛 ●記載なし	心願により、金毘羅大権現と天満大自在天神宮に祈願。各社毎に、具体的に立願を記す。	(旧目録P215)	原本	状	1	○	94
3510 K185	K 1	安政6年3月 (1859年)・未	天神受納帳	○久松 ●記載なし	身成村平口七郎左衛門他3人、笹間渡村市川、小川村茂八、村内20名。他数名。計0名が後援。品目の記入なし。	丁敷4枚 (旧目録P212)	原本	横帳	1		
3511 K62	K 1	安政6年11月 (1859年)・未	山々御初穂覚	○上川内村:岡のや委兵衛 ●記載なし	大神宮初穂2朱、高野山初穂200文、秋葉山初穂100文他、津島初穂100文、白山初穂2朱他100文、高根初穂50文、白羽初穂100文、富士山50文他24文、五郎右衛門は、委兵衛留守のおり、初穂を上げる。	(旧目録P212)	原本	横半帳	1		
3512 K78	K 1	文久1年9月29日 (1861年)・酉	覚	○高根山世話人 ●上河内村:御役人中	銅版神納金として、金1分1朱324文を請取る。	(旧目録P212)	原本	状	1		
3513 K7	K 1	文久3年5月 (1863年)・亥	奉賀帳	○藤枝宿:延寿院◎ ●上河内村:御祈檀家衆中	岡野谷松兵衛他19名。中村3名。	紙表紙半切れ、丁敷3枚 (旧目録P209)	原本	縦帳	1		
3514 K79	K 1	文久3年7月1日 (1863年)・亥	覚	○瑞岩寺知事取次久兵衛 ●松兵衛	金100疋、他に銀3匁を請取る。	(旧目録P209)	原本	状	1		
3515 K63	K 1	文久4年1月吉日 (1864年)・子	日懸奉納帳	○秋葉寺役寮 ●駿州上川内:松兵衛外御連中	子の3月5日、日懸初尾金3分朱歩ト212文を奉納する。	(旧目録P206)	原本	横半帳	1		
3516 K51	K 1	文久4年 (1864年)・子	太々御神楽連名帳	○堀田七太夫(津島) ●記載なし	神楽講に1口分として、金1朱懸、10人1組として、金2分2朱を支出。神楽雑用金共とある。	丁敷3枚 (旧目録P213)	原本	横帳	1		
3517 K53	K 1	慶應3年8月吉日 (1867年)・卯	両官之分諸掛り帳 奥官之分登りいばかり入	○上川内村 ●記載なし	両官の掛りに、米・上味噌・かつを節等々を挙げる。祝儀・御礼金等の記載あり。	(旧目録P213)	原本	横帳	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3518 近D501	K 1	明治2年2月 (1869年)・巳	徳川家 (供養奉申上)	○駿州志太郡上河内村大井山峯叟院禪曹宗 ●徳川家御玄細所	絵図面付の申上書。坪数50坪書上げ。	(旧目録P98)	原 本	綴 り	1		
3519 K8	K 1	明治2年8月 (1869年)・巳	(市野宮領物成記録)	○駿河国志太郡笹間村下組:市野宮領社守伊左 衛門、治郎右衛門、甚三郎、松兵衛 ●郡御役所	高4斗1升7合。子年より辰年迄、物成纏417文定納。	丁敷4枚 (旧目録P206)	原 本	縦 帳	1		
3520 近D515	K 1	(明治4年)3月26日 (1871年)・未	廻文	○笹間下組:横元 ●大森、西向、太平、三並、高日向、日向、栗野 山御役人中	神祇官から出された神武天皇御祭典に係わる選擇式を初めとした4項 からなる心得。祭典日は、仰出がある村々では、3月11日に執行。これ を過ぎた場合、吉日に執行。村名下に合請印を捺し、速かに次の村に 廻すこと。	丁敷5枚 (旧目録P15)	原 本	綴 り	1		
3521 K9	K 1	明治4年10月 (1871年)・辛未	社寺取調書上帳	○志太郡笹間村下組:組頭甚三郎書4名、名主 松平外8名 ●静岡郡方御役所	明治初期の社寺取調記録。所持者、地籍等を記録。現存しない社寺が 多い。	紙数11枚 (旧目録P206)	原 本	縦 帳	1	○	96
3522 K10	K 1	明治5年9月 (1872年)・申	開創年暦僧尼履歴並境 内地取調帳	○駿河国志太郡笹間村下組:禪曹同宗峯叟院 ●静岡県御庁	当院は、宗祖道元法孫東菊和尚分派開山、年号不明、寺格なし。法服 黒衣。境内180坪。檀家なし。	丁崇3枚 (旧目録P208)	原 本	縦 帳	1	○	96
3523 K120	K 1	1月6日 ・子	請書(包紙)-初尾受領-	○秋葉寺役寮 ●駿州上河内村:岡野谷松兵衛	神前にて御祈禱金100疋を神納。お札差上げ。	(旧目録P206)	原 本	状	1		
3524 K121	K 1	1月6日 ・子	請書(包紙)-初尾受領-	○秋葉寺役寮 ●駿州上河内:御村中	神前にて御祈禱金2朱ト100疋を神納。お札差上げ。	(旧目録P206)	原 本	状	1		
3525 K122	K 1	1月7日 ・丑	請書-初尾神納受領状- (包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州上河内村:岡野谷松兵衛	神前にて御祈禱近100疋を神納。お札差上げ。	(旧目録P206)	原 本	状	1		
3526 K123	K 1	1月24日 ・丑	覚	○二諦坊役僧 ●笹間村下組:名主松兵衛	白山牛玉札、家数通り渡し、金50疋を籠に請取る。	(旧目録P209)	原 本	状	1		
3527 K97	K 1	5月5日 ・丑	請取	○藤枝宿:洞雲寺役僧 ●上河内村:岡野谷松兵衛	町内の柿屋伝五郎より金2両、籠に請取る。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3528 K218	K 1	6月25日 ・丑	請取 (包紙あり)	○洞雲寺役僧 ●上河内村:岡野谷松兵衛	書面の通り、峯叟院より籠に金1両の寄付金を請取る。	(旧目録P209)	原 本	状	1		
3529 K156	K 1	6月25日 ・丑	書状 (包紙入り)	○藤枝宿:洞雲寺 ●上河内村:岡野谷松兵衛	老父病氣見舞いの後、峯叟院へ金1両の寄附、それ以前にも金2両の 送金寄附につき、御札。	(旧目録P209)	原 本	状	1		
3530 K217	K 1	7月16日 ・子	(雨乞の案内)	○向雲寺待局 ●岡野谷松兵衛	10ヶ村において、雨乞いの案内を差上げてきた。貴村においても、向 雲寺参詣の上、雨乞いを依頼されるよう、御案内する。	(旧目録P215)	原 本	状	1		
3531 K193	K 1	8月15日 ・丑	書状 (包紙入り)	○尾州熱田:栗田肥後守、世話人栗田豊之進 ●駿州笹間村下組:御苗松兵衛	当7月7日、御神前の御宝物の中より大黒天七神出生。誠に不思議な 事で、尾張殿に申上げたら、御寄進の方々に御福書を入札するように とのこと。7月7日より大黒天難除家内安全の御祈禱をするので、是非 入用されたい。銀6両かかる。	(旧目録P215)	原 本	状	1	○	96
3532 F482	K 1	8月19日 ・丑	請取	○洞雲寺 ●岡野谷松兵衛	金2分、送金して頂き、籠に請取る。	(旧目録P143)	原 本	状	1		
3533 K211	K 1	10月24日 ・寅	覚	○洞雲寺◎ ●峯叟院御世話人中	高尾山勘行峯叟院分、金2朱。籠に寺納により、皆済。	虫損 (旧目録P209)	原 本	状	1		
3534 K86	K 1	1月5日 ・卯	記載なし	○秋葉寺役寮(印) ●上河内村:岡野谷松兵衛	護摩御初尾、金100疋、受納。	(旧目録P206)	原 本	状	1		



文書番号 整理番号	分類	年号 西暦( )・干支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3535 K124	K 1		1月5日 ・卯	請書 (包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州上川内村:岡野谷松兵衛	神前にて御祈禱金100疋を神納。お札差上げ。	(旧目録P206)	原 本	状	1		
3536 K187	K 1		4月7日 ・卯	書状 (包紙あり)	○観音寺寛峰 ●岡のや松兵衛	寺造作のために、金11両を無尽で手当て出来るよう、依頼する。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3537 K188	K 1		8月11日 ・卯	覚	○右講世話人 ●岡野谷松兵衛	洞雲寺講話金として、金3兩3分、儘に請取る。	(旧目録P136)	原 本	状	1		
3538 K87	K 1		9月3日 ・卯	請書 (2通、包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州上河内村:松兵衛	①神前祈禱料として、燈籠料金2兩1分ト300文請取る。②2月5日・戌の日付。秋葉寺焼失以来、本地堂再建の声なし。そこで、拔里・西山・身成村の名主達が相談、子孫繁栄・火災消除のために寄附を頂き、長尾村が世話人となって再建を進めるので、よろしく。。	(旧目録P206)	原 本	状	2		
3539 K125	K 1		1月7日 ・辰	請書 (2通、包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州志太郡上川内村:岡野谷松兵衛	①初尾料金100疋、神納。②諸国数度の地震あり。この安全を図るために、祈禱をするので、信心の者は供養料をおさめてほしい。	(旧目録P206)	原 本	状	2		
3540 F523	K 1		6月4日 ・辰	請取 (包紙)一覽	○洞雲寺副寺 ●上河内村:岡野谷松兵衛	授戒付戒金として、金100疋。新上茶大1袋。上々寒切干1袋。これら見舞いとして頂く。	(旧目録P286)	原 本	状	1		
3541 K148	K 1		9月 ・辰	記(2通、包紙入り)	○御師:浦口庄門大夫 ●上河内村:松兵衛、御且家御衆中	①村方寄附、寅・卯・辰年に集められた金100疋と錢4貫812文を受納。②祈禱、御献い、大麻、祝儀土産の神納。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3542 K219	K 1		12月10日 ・辰	覚	○円山二弁坊役僧◎ ●笹間下組:御役人衆中	初穂料として、金2朱歩と錢200文の請取。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3543 K126	K 1		1月4日 ・巳	請書 (包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州上川内村:岡野谷松兵衛	初尾料として、金100疋の受納。	(旧目録P206)	原 本	状	1		
3544 K220	K 1		1月吉日 ・巳	1月から12月のおみくじ	○記載なし ●岡野谷御氏	大黒天祭による1年間の月別おみくじ。	(旧目録P217)	原 本	状	1		
3545 K127	K 1		1月5日 ・午	請書 (包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州上川内村:岡野谷松兵衛	初尾金100疋の請取。神前にて祈禱、お札を進上する。	(旧目録P207)	原 本	状	1		
3546 K128	K 1		9月1日 ・午	請書 (包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州上川内村:岡野屋松兵衛	初尾金100疋の請取。神前にて祈禱、お札を進上する。	(旧目録P207)	原 本	状	1		
3547 K83	K 1		9月10日 ・午	覚 (勸物請取)	○野田松三郎手代中川義十郎◎ ●駿州志太郡笹間村下組:役人中	法輪寺へ遺わす勸物として、錢366文請取。	(旧目録P217)	原 本	状	1		
3548 K84	K 1		10月 ・午	覚 (勸化請取)	○野田松三郎手代中川義十郎◎ ●笹間下組:名主・組頭	出雲国大社錢148文、熊野本宮錢148文、勸化物請取。	(旧目録P213)	原 本	状	1		
3549 L276	K 1		9月20日 ・未	口上 (2通)	○身成村:平口久衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	①口上、上紙1疋。持ち合わせがあれば、この者にお任せを。代金はおって勘定する。②当月23日、遠州光岡山御神楽興行。信心の方へお知らせを願う。後半部に、茶一件の寄合の件を記す。	(旧目録P223)	原 本	状	2		
3550 K213	K 1		12月 ・未	洞雲寺日銭取集帳	○記載なし ●記載なし	惣右衛門外21名による洞雲寺日銭、金2兩2朱分ト400文。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3551 L480	K 1		1月2日 ・酉	書状	○洞雲寺山門 ●岡野谷松兵衛	前代未聞の大困窮時、村方茶初穂お送りくださり、有難い。方丈もよろしくとのこと。	(旧目録P287)	原 本	状	1	○	96
3552 K129	K 1		1月8日 ・酉	記載なし	○秋葉寺役寮 ●駿州志太郡笹ヶ谷上河内村:岡野谷松兵衛	初尾金100疋の請取。神前にて祈禱、お札を進上する。	(旧目録P207)	原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3553 K130	K 1	1月28日 ・酉	請書	○秋葉寺役寮 ●駿州上河内村:岡野谷松兵衛	護摩初尾金100疋の請取。神前にて祈祷、お礼を進上する。	(旧目録P207)	原 本	状	1		
3554 K221	K 1	1月吉日 ・酉	三十三夜当卦大切星まつりてよし	○記載なし ●岡の谷氏	1月から12月までの、月別星まつり。	(旧目録P215)	原 本	状	1		
3555 K189	K 1	8月 ・酉	覚	○大森組 ●上河内:御帳元	秋葉山において、3ヶ年間、1日1文充て日銭を掛け、1口1年364文充てを積立てる。大森組7軒、西向組9軒、大平組9軒。	(旧目録P207)	原 本	状	1	○	96
3556 K132	K 1	1月8日 ・戌	請書 (2通、包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州上河内:岡野谷松兵衛	初尾金300疋の請取。神前にて祈祷、お礼を進上する。他に亥年のものあり。	(旧目録P207)	原 本	状	2		
3557 K133	K 1	1月11日 ・戌	請書 (包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州しだ郡上内:松兵衛	初尾金100疋の請取。神前にて祈祷、お礼を進上する。	(旧目録P207)	原 本	状	1		
3558 C604	K 1	12月3日 ・戌	御用入上河内村尾名主 中迄 上組帳元方 (包紙)	○福泉印(印) ●笹間村下組:名主中	覚、銭500文。白山初穂当年分定の通り、受納。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3559 K92	K 1	12月 ・戌	覚	○二諦坊役僧 ●笹間下組:御役人衆中	白山護摩堂建立の軸化料、金2朱、髓に受取る。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3560 K222	K 1	6月 ・亥	峯叟院無住内出入初未	○記載なし ●記載なし	無住峯叟院の金銭等収支決算書か。未の7月、本山盆供に200文、未の9月本山入仏祝儀に200文。旦那惣代岡野谷氏管理か。入金16両2分2朱651文、支出16両3分337文、差引き634文の不足。	(旧目録P3560)	原 本	状	1		
3561 D251	K 1	1月18日	書状	○記載なし ●記載なし	1月20日の晩に春の祈祷、お日待を行うので、御入来を願う。村方に伝えてほしい	(旧目録P215)	原 本	状	1		
3562 K192	K 1	1月18日	書状 (包紙あり)	○下田惣吉、佐野要人 ●岡野谷松兵衛	来る22日、当村惣左衛門宅にて神楽講を興行。四つ時よりお出かけ願う。御家内・奥様も御序の拙、お出かけを。	(旧目録P213)	原 本	状	1		
3563 K223	K 1	1月	(春の御日待円喜案内)	○阿主南寺 ●上河内村:岡野谷松兵衛	春の御日待について、住職病氣により延期する。当晦日、例年通り御入来祈寺をお願いする。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3564 X76	K 1	3月1日	書状	○記載なし ●上河内村:岡野谷松兵衛	「天神様御送り」「当年は兩人病気の節、御礼まいり」などある。	虫損 (旧目録P303)	原 本	状	1		
3565 D194	K 1	4月20日	書状	○地名:名主 ●笹間上下両組並=伊久美村御名主中	秋葉山が今月16日に焼失。しかも大火の由。下泉村と一道にお見舞いに登ることを報せる。	(旧目録P90)	原 本	状	1		
3566 K194	K 1	4月	口演	○洞雲寺世話人 ●記載なし	今月11日、当寺建立講の寄合を行う。昼時分より参会されたい。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3567 D151	K 1	閏4月25日	廻文写 (包紙あり)	○地名村:名主、奥泉村:名主甚左衛門 ●笹間両組:御名主、両川根御名主衆中	近頃、諸軸化配札につき、数多であることから人足ねだり、繰送りなどしていたが、今後は取りやめる。	(旧目録P10)	原 本	状	1		
3568 K135	K 1	5月2日	請書 (包紙)	○秋葉寺役寮 ●駿州笹間上河内:御村中	お見舞金1朱、悉く受納する。	(旧目録P207)	原 本	状	1		
3569 K85	K 1	6月13日	覚	○遠江国山住役人◎ ●笹間下組:御役人中	御免軸化料として、金2朱◎受納する。	(旧目録P217)	原 本	状	1		
3570 K226	K 1	6月16日	書状	○正学院真昌(花押) ●上河内村:岡野谷松兵衛	正学院の再建について、滅罪生善のために、志を納められるよう、村方にお勧め願いたい。おって、当3月に修行するので、寄付の取決めを願う。	(旧目録P210)	原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3571 K227	K 1	6月16日	書状 (包紙)	○正覚院真昌(花押) ●岡野谷松兵衛	真言秘法、加持修行のため、大破した本堂を再建したい。ついでに、先祖追福、家内安全のための寄附を願いたい。使僧がお願いにあがるが、粗品をさしあげたいので、受納願いたい。	(旧目録P210)	原 本	状	1	○	96
3572 K214	K 1	7月13日	書状	○家山村:村妻周庵 ●岡野谷松兵衛	祭りの支援と金1両を頂いた際の礼状。	(旧目録P214)	原 本	状	1		
3573 K212	K 1	7月晦日	口上	○松兵衛 ●阿主南寺	蒲団を15程施入するので、御備え下されたい。	(旧目録P217)	原 本	状	1		
3574 K198	K 1	8月18日	書状 (包紙)	○洞雲寺 ●岡野谷松兵衛	御家内病氣につき、大般若の御祈祷をしたので、お礼を送る。藤枝吹屋方	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3575 K136	K 1	9月1日	(初尾神納)	○御祈願所 光明山役家 ●駿州志太郡上河内村:岡野谷松兵衛	心願成就・諸災消除の祈念により、金100疋を受納。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3576 K200	K 1	9月3日 ・卯	書状	○岡野谷松兵衛 ●龍池山御納所	村方小施餓鬼料を報告。早速、供養あり、幡と共に細々と教えをとかれたので、御礼を述べる。	(旧目録P217)	原 本	状	1		
3577 K94	K 1	9月20日	覚(廻状)	○下田惣吉 ●岡野谷松兵衛、五左衛門	太々講の秋会、当村にて28日開催。明5つ時に御出会願いたい。	紙破換基大 (旧目録P136)	原 本	状	1		
3578 K137	K 1	9月吉日	(神納請取)	○御師浦口庄門大夫 ●上河内:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P211)	原 本	状	1		
3579 K138	K 1	9月吉日	(神納請取) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝いと祝儀を受納。神前にて家内安全を祈念。なお、去年の御初穂を目度く神納とある。	(旧目録P211)	原 本	状	1		
3580 K139	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P211)	原 本	状	1		
3581 K140	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P211)	原 本	状	1		
3582 K141	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上河内:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3583 K142	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3584 K143	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3585 K144	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3586 K145	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上川内村:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝いと祝儀を受納。神前にて家内安全を祈念。なお、去年の御初穂を目度く神納とある。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3587 K146	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上川内村:岡野谷松兵衛	神納参詣を促すため、名大岡宗助を遣わす。文末に、金100疋と祝儀。銭4貫700文、村方分受納とあり。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3588 K147	K 1	9月吉日	(神納) (包紙)	○御師浦口庄門大夫 ●上河内村:岡野谷松兵衛	御祈祷、御祝い、太麻、祝儀として、土産相添えて受納。神前にて、家内長久、如意安全を祈る。	(旧目録P212)	原 本	状	1		
3589 K176	K 1	9月	(千人講、神楽執行)	○御師浦口庄門大夫 ●岡野谷松兵衛、五左衛門、忠左衛門、治郎右衛門、三郎右衛門、惣右衛門	千人講神楽を執行するにあたり、1人掛銭332文を一度切り寄附願いたい。この集金で、大破した表門の修理申請をしたい。且家の皆さんに御世話願いたい	(旧目録P214)	原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
3590 K201	K 1	9月吉日	状 (包紙)	○御師浦口證文太夫 ●岡野谷松兵衛	御祈祷、御祓い、太麻、祝儀土産を受納。神前にて家内長久安全を祈祷。	(旧目録P298)	原本	状	1		
3591 K178	K 1	10月吉日	(桧峠山勸化取持願)	○桧峠山小川世話人中並和合院主 ●上河内村:岡野谷松兵衛	年々勸化の申出がない。ご苦労のついで、もう少し御世話願いたい。村方にも御骨折いただき、その取持を願いたい。桧峠の地藏堂・畳替えの修繕。	(旧目録P217)	原本	状	1	○	96
3592 K149	K 1	12月13日	書状 (包袋)	○富士山大蔵院 ●上河内村:松兵衛	富士山祈祷のお札進呈。よろしく村方へお願ひ願いたい。初穂のこと、身成の五郎右衛門まで、早々に差出をお願いしたいと伝えてほしい。	(旧目録P211)	原本	状	1		
3593 K96	K 1	12月23日	書状	○龍光院 ●岡野谷松五郎	歳末の御祝詞のこと、使いにより申し入れた。平助殿に、歳末の印を差上げたので、これで歳末の御祝儀をお納め願いたい。	(旧目録P211)	原本	状	1		
3594 K169	K 1	12月24日	書状	○岡ノ谷松兵衛 ●龍光院御方丈	先達は、縁路御歳暮の御品お送りいただき、あり難く受納。無事、越年を願う。来春、御尊顔を拝し、新年の御礼を申上げる。	(旧目録P217)	原本	状	1	○	96
3595 D155	K 1	12月29日	廻文	○(伊久美)小川より ●順廻:犬間-長嶋-鍋島-丹原-久奈平-嶋-八坂-堀ノ内-一色-上河内	伊勢御師が村々廻村、年末日迫り、気の毒なので、小川藤四郎方にて越年。出立は、来る2日の積り、報せる。	(旧目録P93)	原本	状	1		
3596 K204	K 1	12月	書状 (包紙)	○左車町:延寿院 ●上河内村:岡野谷御氏	時候の挨拶。先月から風邪をひいていたが、全快。荒神祭を来春に延期して下さいよう、村方によろしく。	(旧目録P214)	原本	状	1		
3597 F757	K 1	記載なし	覚(廻状)	○藤栗宿:延寿院 ●上河内村:岡野谷松兵衛	勸化として、金2朱と200文、儲に受納。	(旧目録P175)	原本	状	1		
3598 F773	K 1	記載なし	筆陳	○生春堂(印) ●峯叟院内檀中衆	薬代2分2朱を預り。薬は、帰宅次第早速お届けする。	(旧目録P175)	原本	状	1		
3599 J100	K 1	記載なし	古書初天神愉悅之御詩歌	○記載なし ●記載なし	我々は、国家を愁い、国の恥じをそそぎ、死することも喜びとし、天皇が国を治めることを大いに望む。	(旧目録P)	原本	状	1		
3600 K12	K 1	記載なし	(社寺の石高、坪数)	○記載なし ●記載なし	白山社・峯叟院・光福寺・明神社・一ノ宮・龍光院・春日社の石高、坪数を記す。	丁数5枚 (旧目録P213)	原本	状	1	○	96
3601 K64	K 1	記載なし	永平禪師年譜	○記載なし ●記載なし	前書に、永平高祖年譜、吟遊孫沙門瑞方謹述とあり。漢文で永平寺の由来、叡山、横川、榮西などの地名・人名の記述。	(旧目録P218)	原本	状	1		
3602 K100	K 1	記載なし	土砂 (包紙)	○記載なし ●記載なし	包紙に土砂とあり、中に石・砂を入れた包紙あり。	(旧目録P218)	原本	状	1		
3603 K101	K 1	記載なし	先日祈法支度之品	○記載なし ●記載なし	大幡2本、御神酒入、参銭箱、紙鉢、御供献膳など、11品目を記す。	(旧目録P215)	原本	状	1		
3604 K102	K 1	記載なし	(秋葉山開帳の報せ、2通)	○遠州秋葉山 ●記載なし	①来る子年閏2月1日より4月1日迄、先例により61年目の開帳を行う。よって、結縁のための女人神前拝礼を認める。②開帳の寄附は、直納でお願いしたい。	(旧目録P207)	原本	状	2		
3605 K103	K 1	記載なし	役割	○記載なし ●記載なし	天名1人、花籠籠2人、六尺4人、六道人、四本旗4人。葬儀の役割か。	(旧目録P214)	原本	状	1		
3606 K104	K 1	記載なし	(業の仕方)	○記載なし ●記載なし	6月から12月までの業の作為を示す。この日、無食を3年間すれば、現安来世疑いなしという。	(旧目録P218)	原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3607 K105	K 1	記載なし	神前真門	○記載なし ●記載なし	天下泰平、武運長久、国土安穩、延命息災、志孫繁昌の諸願成就を、日本60余州の神祇に祈る。	(旧目録P215)	原本	状	1		
3608 K106	K 1	記載なし	奉掛御立願ノコト	○丑年/女 ●記載なし	丑年の3才女児が、白井和神社、龍爪山、津島山、八幡山、日本高神社に全快の立願をした。	(旧目録P216)	原本	状	1		
3609 K107	K 1	記載なし	(祈禱の御礼カ)	○記載なし ●記載なし	元三御礼、大黒尊天、毘沙門尊天、岡野谷御氏とあり。	(旧目録P218)	原本	状	1		
3610 K115	K 1	記載なし	般若心経・観音経他	○記載なし ●記載なし	般若心経、観音経、十三仏真門、仏前大蔵真門、金多良薬師、普門品真門の手書き経文。	(旧目録P321)	原本	縦 帳	1		
3611 K116	K 1	記載なし	大乘妙典六十六部縁記 (ママ)	○記載なし ●記載なし	縁起を例話で記す。	(旧目録P322)	原本	横 帳	1		
3612 K152	K 1	記載なし	西国三拾三所縁記 (ママ)	○記載なし ●記載なし	前々より古本の文字が見えなくなっているのので、この度、書き直した。正本表紙に岡野谷氏松兵衛とある。初めに、靈龜2年の頃、大和国長谷寺の縁起を記す。	(旧目録P205)	原本	横 半 帳	1		
3613 K153	K 1	記載なし	高翁観音経(付高王経 縁起、白衣観応記)	○記載なし ●記載なし	内容略。2冊のうち、1冊は紙が劣化している。	(旧目録P322)	原本	折 本	2		
3614 K155	K 1	記載なし	神道八部大祓	○記載なし ●記載なし	中臣祓、六根清淨大祓、最要祓、最上祓、三種大祓、身曾貴大祓、一切成就祓、十種神宝、大道神祇を載せる。	(旧目録P213)	原本	折 本	1		
3615 X156	K 1	記載なし	書状	○笹間渡村:次郎左衛門 ●上河内村:岡野谷	愛宕様のお礼を差上げるので、御請納願いたい。また、去年の御初納分をお送り願いたい。	(旧目録P310)	原本	状	1		
3616 K157	K 1	記載なし	中臣祓	○記載なし ●記載なし	中臣祓と題した祝詞。	(旧目録P322)	原本	状	1		
3617 K158	K 1	記載なし	仏説延命地藏菩薩経	○記載なし ●記載なし	最初に、延命地藏の絵あり。	(旧目録P322)	原本	折 本	1		
3618 K171	K 1	記載なし	勸化請書 西法寺 (包紙)	○西法寺 ●七郎左衛門	今日、金1分、隨に受納とある。	(旧目録P211)	原本	状	1		
3619 K172	K 1	記載なし	辻法師偈	○記載なし ●記載なし	仏教の真理を、詩の形で表したものを。	(旧目録P172)	原本	状	1		
3620 K177	K 1	記載なし	お筆詞	○記載なし ●記載なし	辻法師の偈	(旧目録P219)	原本	状	2		
3621 K205	K 1	記載なし	覚 日向組	○記載なし ●記載なし	当西より亥年迄の3ヶ年、秋葉山上納364文宛。	(旧目録P207)	原本	状	1		
3622 K206	K 1	記載なし	覚 くわの山	○記載なし ●記載なし	1分2朱、但し1ヶ年金2朱宛、上ル積り。	(旧目録P219)	原本	状	1		
3623 K207	K 1	記載なし	覚 くわの山	○三井村:名主◎ ●上河内村:岡野谷松兵衛	金1分、三井村中、秋葉山勸化金、当西より子年迄の分として指出す。御世話願う。	(旧目録P207)	原本	状	1	○	96
3624 K209	K 1	記載なし	覚 寺入用	○記載なし ●記載なし	寺入用、1人125文、松兵衛以下18名。村中計2貫379文。	(旧目録P211)	原本	状	1		
3625 K210	K 1	記載なし	(御札)	○記載なし ●記載なし	安産1、浅草金龍山不淨除1、浅草観世音御洗米1、浅草観世音像1、太太神楽御神饌1、高根白山虫除御守	(旧目録P219)	原本	御 札	6		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3626 K215	K 1	記載なし	お札	○記載なし ●記載なし	大黒天のお札。	(旧目録P219)	原 本	お 札	1		
3627 K230	K 1	記載なし	御守 (包紙あり)	○記載なし ●記載なし	①奉祝詞白羽大明神守護(下欠)②普依女伊喜出、吐身多羅意目、加身渡玉余玉	(旧目録P219)	原 本	状	1		
3628 K232	K 1	記載なし	越前南条郡湯尾峠御孫 嫡子略縁起	○記載なし ●記載なし	越前湯尾峠に伝わる痘瘡紙と安部晴明の間答を展開、痘瘡神のお守りを諸国のお宮に奉納すれば、孫・嫡子まで痘瘡が軽くて済むと説く。	(旧目録P219)	原 本	状	1		
3629 K233	K 1	記載なし	立職奉加祝儀并頼母子 金留帳	○日岡山下鉄宗主 ●記載なし	未・申奉加米金10料1分1銭7貫253文の外、頼母6両3分等含め、 て金20両1洗4貫919文。この中より徳泉寺等2口の支払い金20両2分 ト2疋40文、差引き金10貫43文の収支。寛書1通、括り着け。	(旧目録P219)	原 本	状	1	○	96
3630 Y98	K 1	記載なし	大日本天地神系図	○記載なし ●記載なし	日本の神々の系譜を記載。卷子本。	(旧目録P321)	原 本	巻 子	1		
3631 Z11	K 1	記載なし	(お札) (包紙あり)	○記載なし ●記載なし	月水之大事のお札2枚。仏像の絵杖。	(旧目録P219)	原 本	状	1		
3632 Z12	K 1	記載なし	(御祈禱符)	○記載なし ●記載なし	奉雨乞雷神王外祈禱の神々を記す。	(旧目録P219)	原 本	状	1		

## 分類:K-2 宗教・習俗・身分—習俗

3633 K165	K 2	享保六年7月 (1721年)・丑	奉掛ケ御立願之事	○記載なし ●記載なし	丑の年24歳になり、神々に立願。天道・大神宮・対馬(津島カ)・あきは・おたかね・こくう藤・おやくし・大明神・わかみや・山神・大みやせんげんの11の神々。	(旧目録P214)	原 本	状	1		
3634 X41	K 2	天明6年1月吉日 (1786年)・丙午	西国山十三所名所日記	○上河内邑:岡野谷氏富八 ●記載なし	1月22日門出、2月24日7時京三条大橋備前屋到着、泊。3月4日、 金毘羅鷹内町中村屋泊。3月19日、森町伊久美や藤兵衛泊まり。3月 20日、橋宅。同行11人。他に、明和6年7月の西国山十三所名所記同 封。	(旧目録P203)	原 本	横 半 帳	2	○	96
3635 K67	K 2	天明6年8月 (1786年)・丙午	役人噂名次第	○記載なし ●記載なし	盗賊熊高万八、井上伊織、男伊達やけのやん八などの戯言が並ぶ。 戯文と思われる。	虫損甚大 (旧目録P216)	原 本	状	1		
3636 K1	K 2	文化10年1月吉日 (1813年)・癸酉	婚礼祝儀受納帳	○岡野谷松兵衛 ●記載なし	(三井):1月28日、受納。御神井銭添、伊左衛門、同平助、同嘉十、以 下、村毎に贈り主、贈呈品目を列記。	紙数9枚 (旧目録P296)	原 本	横 帳	1		
3637 K174	K 2	文化14年9月 (1817年)・丑	高根権現神楽講仕様帳	○神主、世話人 8人、金預り2人 ●記載なし	神楽講の口数200口。金50両。1口につき、金1分掛け。1番より50番 までの内記を記し、6両3分を奉納。以下に約束事項あり。高根山社中 の造作のため、神主が講への加入を依頼。	丁数5枚 (旧目録P213)	原 本	縦 帳	1	○	96
3638 K14	K 2	文政3年2月16日 (1820年)・辰	年回忌講掛覚	○記載なし ●記載なし	50年忌、33年忌の4名分の法要経費の明細。計10両1分2朱1銭485 文。	(旧目録P296)	原 本	横 帳	1		
3639 K166	K 2	文政3年7月 (1820年)・辰	(各家法寺勤行内済)	○次郎右衛門、同人内元次郎 ●峯院惣惣且中	次郎右衛門と元次郎は、親の1周忌を延引している。当年7月の庚申 講に出席していた僧侶から、延引の語あり。元次郎が答えるに、留守居 の僧がいらざることを言う。これに寺は、住時織の否に係わらず、寺役 を勤めよとの本山からの命がある。それで、2人が詫言を入れ、内済。	紙破損、欠字 (旧目録P208)	原 本	状	1	○	96
3640 X130	K 2	文政6年1月吉日 (1823年)・癸未	西国中日記	○上河内村:岡野谷市次郎 ●記載なし	未1月8日出発、金6両1分を持参、外に、1分2朱907文、念誦本・施 銀鬼本。3月12日、皆無事に帰村。同行8人(上河内4、三井1、二又 1、犬間1、江戸1)	丁数23 (旧目録P203)	原 本	横 半 帳	1	○	96
3641 Y97	K 2	文政6年 (1823年)・未	(西国三拾三ヶ所巡礼 絵図)	○版元南部大仏前えづ屋法八 ●記載なし	西国三十三ヶ所の道順を記す。	破損甚大 (旧目録P314)	原 本	絵 図	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3642 K15	K 2	文政7年11月13日 (1824年)・甲申	霧雲貞長大姉香奠帳	○記載なし ●記載なし	139名の奉納。葬例入用目録寺院謝礼外諸支払い明細	(旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3643 J121	K 2	文政9年10月 (1826年)・戊	苺萱菜門筑紫口	○版元沢村里兵衛 ●記載なし	浄瑠璃苺萱菜門筑紫口の上演チラシ。	口は裏側に朱 (旧目録P203)	原本	状	1		
3644 K118	K 2	文政10年1月吉日 (1827年)・亥	太々伊勢参宮日記	○駿州上河内:岡野谷松兵衛 ●記載なし	持参した金子小判7両、1朱判で3両300文。1月23日書始め。2月1日、二見浦到着。2月12日金谷到着。この間の支出明細。	(旧目録P204)	原本	横 半 帳	1		
3645 K16	K 2	文政10年2月 (1827年)・丁亥	霧雲貞長大姉3年忌	○記載なし ●記載なし	2月27日晚、大施餓鬼。28日朝、出家11名。本山心岳寺、伴僧。法泉寺、峯叟院など記載。	(旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3646 K17	K 2	文政13年3月12日 (1830年)・庚寅	湛掬霧妙大姉・霧雲貞 長大姉諸色覚 岡野谷 氏	○記載なし ●記載なし	大姉7、50回忌の法寺に関する覚書き。本山・峯叟院への謝礼、ロウソク・紙・砂糖・揚豆腐・貸し・酒・塔婆・みりん酒などの代金を記入。	(旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3647 K20	K 2	天保6年季冬 (1835年)・乙未	婚礼祝儀授納帳	○記載なし ●記載なし	岡野谷松輔配録。藤枝を初め、近隣の資産家から樽酒を祝儀としていただく。地域は、八坂・堀之内・二又・一色・笹間渡・身成原・小川・家山・栗野山・日向・犬間・西向・大平・高日向・三並・披里・白井・大森・竹島・丹原・鍋島・石上・中河内・地名・下泉・長嶋等。	(旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3648 K60	K 2	天保9年1月吉日 (1838年)・戊	伊勢参宮小使日記	○駿州志太郡大津庄徳山之郷後間村下組之内 上河内:岡野谷松之輔担 ●記載なし	1月29日から2月19日までの20日間、岡野谷家関係者11名の小遣日記。女性7名の参加。	(旧目録P204)	原本	横 半 帳	1		
3649 K21	K 2	天保11年9月 (1840年)・子	霧雲貞長大姉拾七年忌 岡野谷氏	○記載なし ●記載なし	17年忌の記録。本山和尚10人。布施1分200文、富洞院2朱200文、峯叟院1朱200文支払い。酒・菓子・わらじ・ぞうり・かみ・水引その他品々1両3分128文支払い。米5俵の使用。	(旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3650 K22	K 2	天保11年11月18日 (1840年)・子	霧林貞亀大姉	○記載なし ●記載なし	葬例入用目録。寺へのお札・塔婆料・血脈料・七日払い等、寺院への支払い。切り紙(醬油・ろうそく等の請取)あり。	(旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3651 K23	K 2	天保12年2月13日 (1841年)・丑	婚礼祝儀受納帳	○記載なし ●記載なし	樽酒・白布・菓子等がほとんど。樽計8斗5升、この代1両1分6文。祝い膳の材料等の必需品。別状に、野菜購入の控え2通。	(旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3652 K24	K 2	天保12年11月18日 (1841年)・丑	鶴林貞亀大姉1周忌	○記載なし ●記載なし	1周忌の費用。本山1分・納所100文・村寺2朱、そば粉3斗5升・白米4斗7升・白糯米4升・豆腐・揚等。別帳として、初着祝儀受納帳あり。	(旧目録P297)	原本	横 帳	2		
3653 K25	K 2	天保13年11月 (1842年)・寅	鶴林貞亀大姉3周忌	○記載なし ●記載なし	年忌の経費記録。外に、弘化3年年忌、明治9年年忌記録。関係の状12通(寛)。	状12通 (旧目録P297)	原本	横 帳	3		
3654 K26	K 2	天保13年11月 (1842年)・寅	おこと婚礼諸掛帳	○記載なし ●記載なし	嫁入り道具1式。着物1揃え・蒲団1式・簞笥・長持・籠等。その他、川越賃・二又酒屋・人足8人の駄賃等。	(旧目録P297)	原本	横 帳	1		
3655 K29	K 2	天保14年3月 (1843年)・卯	峯叟院出入帳	○松兵衛 ●記載なし	天保6年から14年迄の峯叟院会計出入りの明細。	(旧目録P208)	原本	横 帳	1		
3656 K28	K 2	天保15年10月4日 (1844年)・辰	霧翁玄長居士香奠帳	○記載なし ●記載なし	笹間渡村市川次郎左衛門4男、幼名富八、年齢82歳で死去。香奠受納帳並葬例入用目録あり。経費23両2分84文。切り紙11枚あり。	(旧目録P297)	原本	横 帳	1		
3657 K30	K 2	弘化2年10月4日 (1845年)・巳	霧翁玄長居士1周忌	○記載なし ●記載なし	1周忌法要の諸支出の明細。状は領収等の覚。	状6通 (旧目録P297)	原本	横 帳	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3658 K31	K 2	嘉永1年10月14日 (1848年)・申	霧質貞寿大姉	○記載なし ●記載なし	当村五左衛門妹つぎ、年齢51歳で死去。親類近在よりの香奠の控え並葬例入用目録帳。別に、買入品の領収書、状7通。	状7通 (旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3659 K32	K 2	嘉永2年1月 (1849年)・酉	霧質貞寿大姉百ヶ日	○記載なし ●記載なし	百ヶ日法要の入用を記す。その後、仏前受納として、白米・そば粉・銭等を18人より受納。他に、追加分を結びつけてある。	(旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3660 K33	K 2	嘉永2年10月 (1849年)・酉	霧質貞寿大姉1周忌	○記載なし ●記載なし	1周忌に係わる出入り扣。付紙あり。	(旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3661 K34	K 2	嘉永3年11月吉日 (1850年)・戌	御祝儀受納帳 岡野谷氏松太郎・松次郎・松五郎	○記載なし ●記載なし	11月の七五三の祝いか。岡野谷五左衛門衛外より、反物・小帯・白足袋等の祝儀扣。	枚数10枚 (旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3662 K35	K 2	嘉永4年3月14日 (1851年)・亥	霧翁玄長居士	○記載なし ●記載なし	3放人の7年・3年・13年忌入用帳。本寺洞雲寺・末寺峯見院礼金3分1分。料理料として、野菜・調味料の数量記載。	(旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3663 K36	K 2	嘉永4年5月18日 (1851年)・辛亥	円観義通上座	○記載なし ●記載なし	葬儀に係わる諸費用の覚	枚数4枚 (旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3664 K37	K 2	嘉永4年8月14日 (1851年)・亥	峯叟院宝物開帳入用帳	○上川内村中世話人松兵衛 ●記載なし	日照りにつき、洞雲寺・三光寺の僧侶を招き、宝物開帳を兼ねて、雨乞祈禱したところ、降雨あり。喜んだ記録あり。洞雲寺に2朱、三光寺に2朱、他に礼金2分2朱と200文。諸品合せ、金1分2朱と4貫838文。29戸に割振り。1戸143文。	枚数4枚 (旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3665 K38	K 2	嘉永7年9月6日 (1854年)・寅	霧峯寿仙居士香奠帳	○記載なし ●記載なし	香奠帳及び葬式入用覚の控え。	枚数27枚、切紙あり (旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3666 K39	K 2	安政2年9月5日 (1855年)・卯	霧峯寿仙居士	○記載なし ●記載なし	1周忌列席者の御仏前・御供品の控え。法要に必要な寺への謝礼、食財等購入控え。	(旧目録P297)	原 本	横 帳	1		
3667 K40	K 2	安政3年12月 (1856年)・辰	若者出入記	○世話人久蔵、政右衛門 ●記載なし	村経営の出入明細。他に状1通覚(山本屋孫差衛門、岡野谷松兵衛)	(旧目録P216)	原 本	横 帳	1		
3668 K41	K 2	安政4年2月18日 (1857年)・巳	霧翁玄長居士外四霊位	○岡野谷松兵衛 ●記載なし	5柱先祖の3、7、13、33年忌につき、仏前への上げ物、僧侶への御礼外諸掛りを記す。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3669 K42	K 2	安政5年1月吉日 (1858年)・午	さかな諸色代附	○いづや平六、志まや安平 ●岡之谷松兵衛	1月5日、2貫500文。牛蒡100本1貫500文。大人参100本等々。肴諸色代銀14匁5分銭97貫20文。内金として、いづや外夫々に1両請取。差引き14貫5分と83貫420文の記帳。	枚数5枚 (旧目録P140)	原 本	横 帳	1		
3670 K43	K 2	安政5年1月吉日 (1858年)・午	婚礼祝儀授納帳	○岡野谷倉松 ●記載なし	平口久左衛門より樽酒1荷・樽留1反・足袋1・扇子2。七郎左衛門、白滝長太夫等、多数の祝儀受納の控え。覚として、10通の請取書あり。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3671 K44	K 2	安政5年12月 (1858年)・戊午	初着祝儀受納帳	○岡野谷久松(覚) ●記載なし	祝儀に、着物(仕立物)・扇子・御樽等の外、御樽料(祝金)として、13の名前あり。	枚数5枚 (旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3672 K46	K 2	安政6年2月良日 (1859年)・未	おとわ嫁入掛り日記	○岡野谷松兵衛 ●記載なし	嶋縮緬・かわこ・結城袖等4両1分3朱1匁343文。外に、白むく・襦袢等、谷やの仕立1両3分3朱328文。料理茶代等、惣々18両1分361文の諸掛り控え。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3673 K47	K 2	安政6年8月15日 (1859年)・未	香奠萬巢良龜居士	○記載なし ●記載なし	香奠108名。葬式入用、35日・49日の供養、100ヶ日の供養の各明細。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3674 K48	K 2	万延1年10月28日 (1860年)・申	霧翁玄長居士他法寺香奠帳	○記載なし ●記載なし	4放人の法事の記録。平口・石神両家100疋と供物。親類5軒、一色村3軒、その他の村から21軒、計31軒を招く。米・線香・茶葉・喫煙・しいたけ等の供物。経費3分1朱500文は料理代。	(旧目録P3674)	原 本	横 帳	1		
3675 K49	K 2	万延1年11月15日 (1860年)・申	御祝儀受覚帳	○志太郎上川内村:岡の屋久松、三蔵 ●記載なし	米・酒・魚・扇子・帯等の祝儀受覚帳。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		



文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3676 K50	K 2	万延1年11月25日 (1860年)・申	御祝儀受覚帳	○志太郡上川内村:岡野谷久松三歳 ●記載なし	米・酒・魚・扇子・帯等の祝儀受覚帳。	K49(3675)と同 内容 (旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3677 K52	K 2	慶應1年8月15日 (1865年)・丑	萬巢良龜居士他法事香 奠帳	○記載なし ●記載なし	岡野谷家先祖5故人の法事控え帳。36名を招待。御仏前100疋2軒。5 0疋3軒。200文3軒を初め、供物に線香・そば粉・素麺・菓子等。寺へ の布施や賄料等の記録。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3678 K54	K 2	明治1年11月15日 (1868年)・辰	御祝儀受納帳	○岡のや氏松介15歳 ●記載なし	足袋・手拭・扇子等の祝儀を記す。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3679 G444	K 2	(明治3年)3月25日 (1870年)・午	覚	○山本誠市、青山信八郎 ●御役人中	金200疋。道中入用としての餞別料として受取る。	(旧目録P190)	原 本	状	1		
3680 K55	K 2	明治4年10月晦日 (1871年)・辛未	萬巢良龜居士他法事香 奠帳	○記載なし ●記載なし	岡野谷家先祖6故人の法事控帳。一色3・村17・嶋田1・小川1・身成3・ 藤枝2・川口1の28名を招待。寺への支払いや賄料等の記載。	(旧目録P298)	原 本	横 帳	1		
3681 K11	K 2	6月 ・丑	会行廿一日建立講仕様 洞雲寺執事㊦	○世話人在町且中、金預り河邑甫通他5名 ●記載なし	藤枝洞雲寺の講仕様書。講中200名で飢饉00料。1口に付金2分掛 け、満金迄同じ。1番落札から50番落札まで人数42へ掛け金返金。差 引き残25両を毎会の積金として満会時に割返し。	丁敷5枚 (旧目録P137)	原 本	縦 帳	1	○	96
3682 F423	K 2	12月27日 ・午	書状 (包紙あり)	○石上村:(原木)八左衛門㊦ ●上河内村:岡野谷松兵衛	当村で10人ほど、1月2日に伊勢参官につき、八左衛門弟も同道させ たい。ついては、金1両1分を借用したい。返済は、6月28日限りで元利 とも返済する。	(旧目録P132)	原 本	状	1	○	96
3683 K89	K 2	4月23日 ・己	願掛け	○4歳寅之歳之男子 ●金毘羅大権現	一代願物、汁拭飯、がに	(旧目録P215)	原 本	状	1		
3684 K91	K 2	1月 ・申	ふこう当卦大切当年星 まつりてよし	○荒神祭 ●松兵衛	1月から12月の、月それぞれの人の行動の注意事項を記す。	(旧目録P217)	原 本	状	2		
3685 K90	K 2	11月 ・申	覚・ひかへ	○岡野谷松兵衛 ●記載なし	茶代、焼香札、七本塔婆札等、費用計2両銭600文。ひかへ:法泉寺・ 左車山・泉長時へ計1両700文とある。	(旧目録P217)	原 本	状	2		
3686 K131	K 2	12月2日 ・酉	記	○御師浦口莊門太夫 ●上河内村方中世話人忠右衛門	大々御神楽参人項の掛金として、金200疋請取る。定日が決まれば鑑 札を渡す。	(旧目録P211)	原 本	状	1		
3687 K190	K 2	11月 ・戌	信嶋項銭預り覚	○六郎左衛門 ●三井・伊野右衛門、上河内:松兵衛	信嶋講につき、自分は勿論、他人に貸すことは心もとないので貸さな い。但し、栗野山の太郎右衛門に付いてはやむを得ない事情で1分を 貸した。これは、太郎右衛門より請取ってほしい。上河内よりの利足差 添えへの返書。	(旧目録P136)	原 本	状	1		
3688 K179	K 2	1月15日	書状	○瀬戸谷村:佐野要八、下田惣吉 ●上河内村:岡野谷松兵衛	神楽講について、当春会を当村六右衛門宅にて、26日に興行。出会を 願う。藤右衛門並に村中の者にもよろしく伝達を願う。	(旧目録P213)	原 本	状	2		
3689 K224	K 2	2月9日	書状	○大久保孫十 ●上河内:久兵衛	来る11日、神楽講興行につき、取持ちを願う。大屋の松兵衛と五右衛 門にも伝達願う。お会い出来ることを願う。	(旧目録P214)	原 本	状	1		
3690 K225	K 2	3月24日	書状	○石上村:登福寺世話人若者 ●上河内村:岡野谷松兵衛	当月27日より29日迄、十王尊入仏開帳をするので、御来駕のほどを。 ついては、鉄炮の会も行ふ。	(旧目録P210)	原 本	状	1		
3691 L520	K 2	4月2日	口上	○イクミ二又村ニテ白山社役人 ●上河内村:松兵衛	今年も例年のように廻村、貴村には当月中旬に伺う。お暇をお送りす るので、配札を願う。且又、伊久美村分初穂茶3貫200文目差送り、こ の外、大久保・大平・白井・西向・大森村々は15、6日とどけるので、よろ しく。	(旧目録P288)	原 本	状	1	○	96
3692 K195	K 2	6月22日	書状	○藤枝:越前屋八兵衛 ●小川:坂本藤四郎他1名、二俣:西野増右衛門 他4名、河内:岡野谷松兵衛	この度、花角力興行があるので、商売取引きもあり、花札を差上げるの で、御受納いただきたい。来月上旬に興行、見物にお出かけを。	(旧目録P214)	原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3693 K196	K 2	7月7日	書状	○身成村:若者 ●上河内村:岡野谷若旦那	明8日、当村の東福時で渡り狂言を興行するのえ、お出かけください。 親父様・御家内様にもよろしくお伝え願う。	(旧目録P214)	原 本	状	1		
3694 K228	K 2	7月7日	書状	○(不明) ●岡野谷松兵衛、松一	49日法要には、都合が悪いので、明日水向けに何う。市川家も6月8日に無尽が予定されているが、参加できないので、掛金の取替えを願いたい。掛金は3分3朱。使者を差し遣わすので、受取って下さい。面会の折、お礼を申上げる。	(旧目録P215)	原 本	状	1		
3695 K199	K 2	8月25日	書状	○若者、故里より ●上河内村:岡野谷松兵衛	故里で明日から28日迄、角力興行あり、招待する。	(旧目録P217)	原 本	状	1		
3696 X167	K 2	10月12日	書状 (包紙あり)	○嶋田民助 ●笹間村下組:名主松兵衛	久能山御用向につき、よろしくお取り計らいを願う。	上部虫撰 (旧目録P307)	原 本	状	1		
3697 X172	K 2	11月19日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡のや松兵衛	7人の者による希いの物まねが、大変面白い。花代は、1座で金2朱。家山では、2晩興行、1晩2朱、1晩1分で興行予定。希いはいろいろあり、1座興行を願いたい。	(旧目録P308)	原 本	状	1		
3698 X97	K 2	11月27日	書状	○小川:石神惣七 ●上河内村:岡野谷旦那様	父親3回忌につき延期となっていたが、本山より塔婆を貰い受け、形だけでも行うことをきめた。貴家ばかりの案内であるので、仏前へのお見舞いは御無用に願いたい。	(旧目録P308)	原 本	状	1		
3699 K202	K 2	12月18日	書状	○西の平蔵 ●岡の谷松兵衛	当年は狂言の年。取組み当方にもお取持ちください、有難い。惣右衛門一件につき、前々私方にも大金残り、1両ばかりが無勘定。貴家に年貢賄方を願ひ、御開済いただき、ありがたい。	(旧目録P214)	原 本	状	1		
3700 F203	K 2	12月23日	書状	○二又:西野平蔵 ●上河内:「正旦那	洞雲寺講では、いろいろと御世話になり、山口屋方とは25日過ぎでも掛けあうので承知願いたい。借元金は、春中には精算したい。	(旧目録P137)	原 本	状	1		
3701 K57	K 2	記載なし	辻法師場	○記載なし ●記載なし	辻説法を文章化したもの。神仏信仰が幸せな生き方と、例を挙げて説く。松兵衛が、浄瑠璃風に作詞した物語風の書き物。2編。	最初の1枚破損 (旧目録P217)	原 本	横 帳	1		
3702 K59	K 2	記載なし	西国参り大方日記	○記載なし ●記載なし	四国参りの宿泊日記。1月8日出立山山泊。同16日宮泊。晴日高野山泊。2月12日石山寺、同16日京都泊。24日、金尾羅泊。札場廻り、3月12日、帰宅。	(旧目録P205)	原 本	横 帳	1		
3703 K98	K 2	記載なし	(長寿五組夫婦日本橋渡初)	○記載なし ●記載なし	奥州南部盛岡領一ノ戸百姓代々田地持高2000石の山崎清差衛門一家の長寿5組夫婦(143歳、139歳、112歳、109歳、92歳、89歳、70歳、68歳、41歳、39歳)の書付。	紙劣化甚大 (旧目録P218)	原 本	状	1		
3704 K99	K 2	記載なし	仮請書 (包紙)	○正覚院 ●記載なし	50回忌2人、30回忌2人の年忌覚。「十方三世一切仏」などの紙札6枚あり。	(旧目録P312)	原 本	状	1		
3705 K111	K 2	記載なし	(御符) (包紙)	○秋葉山 ●鞍州笹間上河内村:岡野谷松兵衛	火の用心の護符。	(旧目録P218)	原 本	符	1		
3706 K117	K 2	記載なし	愛敬安産不浄海馬	○記載なし ●記載なし	安産祈願のお守り。海馬(タツノオトシゴ)2体と安産祈願のいわれを記す。金尾羅大権現参詣の西に入手か。婦人一代のお守りとある。	(旧目録P218)	原 本	状	1		
3707 K150	K 2	記載なし	御蔭参り祝儀控	○記載なし ●記載なし	御蔭参り祝儀控では、21名の名と金子を記載。裏紙では、大橋・住吉屋などの茶問屋の記号と名前を記す。どちらが紙背文書か、不明。	(旧目録P218)	原 本	状	1		
3708 K208	K 2	記載なし	急廻状	○上河内:名主 ●桑名村以下6ヶ村	この度、吉田殿より教諭廻村につき、桑名山近くでは宿を提供し、1村1名ずつ出かけるように、達してほしい。地名村まで、10月1日早々出向くように、課役料として1回2分。この廻文は、竹嶋祐宜へとどけること。	(旧目録P213)	原 本	状	1		

分類:K-2 宗教・習俗・身分一習俗

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
3709 K231	K 2	記載なし	熊野御札、所々御守 (包紙・紐綴)	○記載なし ●記載なし	包紙の中に、熊野牛王宝印、実方院(那智山)、新官など、11枚のお札と8人の参詣人の名を記す。	(旧目録P219)	原本	お札	1		
3710 J7	K 2	記載なし	ひらかなさか路の段 辻法師	○記載なし ●記載なし	義太夫の語りの手本。	(旧目録P197)	原本	横帳	2		
3711 J18	K 2	記載なし	芝居番付表	○記載なし ●記載なし	横恋雪関扉の配役表。	(旧目録P204)	原本	状	1		
3712 J95	K 2	記載なし	(口上)	○記載なし ●記載なし	上杉謙信景勝を向こうに廻し、塩尻峠に扣える放言した舞台詞。	(旧目録P198)	原本	状	1		
3713 J98	K 2	記載なし	松王丸	○記載なし ●記載なし	歌舞伎「菅原伝授手習鑑」松王丸のセリフか。	(旧目録P198)	原本	状	1		
3714 J101	K 2	記載なし	(口上書)	○記載なし ●記載なし	祭礼にて若者が演じる狂言興行。参詣の折に、是非見物をされたい、との口上。	(旧目録P204)	原本	状	1		
3715 F1079	K 2	記載なし	(迷札の事)	○記載なし ●記載なし	大坂長町河内屋庄右衛門、京都三条通備前屋藤三郎、備前下村油屋藤右衛門、竹生島砂宿今津、迷札13番から32番、31番納めるべきこと。西国の絵は、近江八幡村にて求めること。	(旧目録P182)	原本	状	1		
3716 Z19	K 2	記載なし	「源太郎」	○記載なし ●記載なし	源平合戦の一部を義太夫として語る、その台本か。	(旧目録P322)	原本	横帳	1		
3717 Z29	K 2	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	旅の諸入用(綿入・帯・もも引き・草鞋・小物など)。金2両3分2朱。山惣支払い2両1分2朱。	(旧目録P205)	原本	状	1		

分類:K-3 宗教・習俗・身分一身分

3718 K70	K 3	文化13年12月1日 (1816)・子	差上申済口證文之事	○本多豊前守棟領分駿州志太郡藤枝宿上伝馬町裏:穰多4人惣代穰多訴訟方仁左衛門判、他2名。嶋田宿山下穰多組頭八左衛門判、他2名。 ●寺社奉行所浅草新町次右衛門判、同所吉右衛門判	藤枝宿上伝馬町穰多24人と嶋田宿山下穰多3人が、斃牛馬の皮をめくり、近隣の村々と訴訟を起し、奉行所の仲裁により内済し、相互に押印した内済證文。	(旧目録P216)	原本	状	1	○	96
3719 K6	K 3	安政6年6月 (1859)・未	江戸團左衛門手下下々 之物附之覚事	○本主上河内:岡野谷五郎右衛門 ●記載なし	團左衛門、善七と出入りがあった善七同族7名が評定所に呼出されたこと、團左衛門の由緒経歴を記す。職業身分の序列を記し、筆頭が團左衛門で以下28番までを記す。	丁数9枚 (旧目録P216)	原本	縦帳	1	○	96
3720 K58	K 3	記載なし	欽明天皇御朱印以前仕 訳并江戸團左衛門手下 下々之者附り覚書	○記載なし ●記載なし	團左衛門に出入りの手下7人に対する訴訟の条々。團左衛門穰多よりも下の長吏の名前、職業等の記述あり。	丁数5枚 (旧目録P217)	原本	横帳	1	○	96

分類:L 軍事

3721 A-61	L	(元治1年)・9月18日 (1864)・子	(嶋田宿へ鉄炮・竹槍人 足割当)	○榎元 松兵衛 ●大森組、西向村、他6ヶ村	黒船来航に際して、鉄炮・竹槍を持参し、農兵として召集されるため、出兵の順番を8ヶ村で取り決めたもの。	(旧目録P14)	原本	横帳	2	○	96
3722 A-104	L	11月26日 ・子	(兵賦役に付て廻状)	○鈴口方六ヶ村役人共 ●伊久美村:名主金平、笹間下組:名主松兵衛	兵賦役を仰せ付けられたが、役高等、山間部のためにない。このことを組合中で相談し、帳面もよく調べたいので、来る28日に身成村に参会してほしい。	(旧目録P10)	原本	状	1		
3723 D275	L	8月6日 ・寅	覚	○下組:名主 ●上組:御役人中	幕末における兵賦入用割合金の書状。合計36両2分2朱と348文を村毎に割付け、それを高日向の新太夫方へ送金。慶應2年寅年か、内戦への兵賦か。	(旧目録P82)	原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 厚区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3724 D168	M	文化4年5月 (1807年)・卯	笹間村両組絵図	○駿州志太郡笹間村両組:名主六郎左衛門他5名 ●小野田三郎右衛門様御役所	文化4年時点の笹間村両組の絵図。	(旧目録P97)	原 本	絵 図	1		
3725 B81	M	文化7年8月 (1810年)	荒地・起返絵図	○駿州志太郡笹間村下組:名主松兵衛、与頭甚三郎、百姓代次郎右衛門 ●紺屋町:御役所	北上組境、東伊久美村境、南身成村境とし、笹間村下組の三井組・高日向組・栗野山組・上河内組・大森組・西向組・大平組・日向組の所在地図。山道起返・荒地・川が色分けで示されている。	50cm×40cm (旧目録P17)	原 本	絵 図	1		
3726 D169	M	文化11年7月 (1814年)・甲戌	村絵図	○笹間下組:名主松兵衛、与頭甚三郎、百姓代次郎右衛門 ●紺屋町:御役所	笹間川を中心に、東西南北の村境を記し、8ヶ村の位置を示す。荒地・取下・山・川・道筋を色別で示す。	(旧目録P97)	原 本	絵 図	1		
3727 D171	M	文化12年8月 (1815年)・乙亥	村絵図	○笹間下組:名主松兵衛、与頭甚三郎、百姓代次郎右衛門 ●紺屋町:御役所	文化12年から明治2年まで、54年の間、14枚の村絵図を提出。笹間川を中心に、下組8ヶ村の位置を示す。中に、畑地の地番・面積を記した絵図もある。	(旧目録P97)	原 本	絵 図	14	○	96
3728 B135	M	(明治年間)9月18日	書状 (絵図面の件)	○下村:戸長副(印) ●上河内組:岡野谷松平	絵図面に、場所によって東西南北が示されていないと不都合であるので、記載してほしい。畑・川・屋敷へ彩色し、大森組まで継立てほしい。	(旧目録P29)	原 本	状	1		
3729 D197	M	記載なし	絵図	○記載なし ●記載なし	身成川・瀧沢川・伊久美川などの河川、村々を結ぶ道路などが絵が枯れている。	65cm×38cm (旧目録P97)	原 本	絵 図	1	○	96
3730 D170	M	記載なし	笹間村絵図(下書)	○記載なし ●記載なし	笹間村絵図下書である。	(旧目録P97)	原 本	絵 図	1		
3731 D196	M	記載なし	絵図	○記載なし ●記載なし	峯叟院境内及び院領を示す。	43.5cm×33cm (旧目録P97)	原 本	絵 図	1	○	96
3732 D195	M	記載なし	絵図	○(貼紙)志太郡笹間村名主六郎左衛門、同治郎兵衛、組頭藤兵衛 ●記載なし	笹間川に沿って開かれた栗野山・高日向・三井・栗原、下日向・石神・二又・日影各組を描き、大平沢・大平組・高森などの地名を記す。	37cm×26.5cm (旧目録P97)	原 本	絵 図	1	○	96
3733 K154	M	記載なし	西国巡礼方角絵図	○(不明) ●記載なし	1番那智山より33番谷汲寺迄の巡礼絵図。	(旧目録P205)	原 本	状	1		

## 分類:X 家

3734 X54	X	寛永21年3月29日 (1644年)・申	(跡目相続)	○上河内:五左衛門、他しまた・ふしえた・いくみ・みなのの村人21名連印 ●忠兵衛母、左二右衛門、馬之丞	忠兵衛跡式につき、我等よりの意見に母・彦二衛門が立腹し、長谷川藤兵衛様へ書付を差上げた。そこで、伊久美・身成の庄屋衆に頼み、忠兵衛跡を立てた。少しもかまわず違乱申さないと記す。	(旧目録P84)	原 本	状	1	○	96
3735 X28	X	明和1年9月吉日 (1764年)・甲申	名乗 (包紙)	○度会住大内人栗光義(花押) ●記載なし	元服後、通称岡野谷萬太郎を改名し、藤原正清(花押)と名乗った。これに、秋葉三尺坊守護所の札5枚が同封。	(旧目録P311)	原 本	状	1		
3736 X2	X	安永9年7月 (1780年)・庚子	家普請諸色覚日記	○駿河国志太郡大津庄上河内村:岡野谷氏 ●記載なし	6月から7月、材料・道具入費。9月から10月、大工名前書上げ。7月から11月、米・大豆・靴・塩・新米等の食品。その他、金子精渡し、人工書付からなる。	(旧目録P295)	原 本	横 帳	1		
3737 X57	X	享和1年4月 (1801年)・酉	雑用日記	○記載なし ●記載なし	日数・人工・金子の記載。	丁数5枚 (旧目録P299)	原 本	横 帳	1		
3738 X40	X	文化6年 (1809年)・己巳	過去簿	○記載なし ●記載なし	文化6年に、有縁無縁物故者を書き改めたもの。肉親・親類の他、村人の命日・俗名・戒名を日毎に記載。過去帳の写しか、古い没年は、寛文・延宝・天和・貞享・元禄年間。	(旧目録P311)	原 本	状	1	○	96
3739 X127	X	文化8年1月吉日 (1811年)・辛未	手使穀物日記	○駿州志太郡上河内村:岡野谷氏 ●記載なし	米・もち米・粟・麦、とうもろこし・餅などの数量などを記載。	丁数13枚 (旧目録P299)	原 本	横 帳	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3740 X158	X	文政2年7月吉日 (1819年)・己卯	年中把放覚帳	○記載なし ●記載なし	寅9月23日より、1貫560文入方。卯1月より5貫180文、盆前まで入方。惣ノ9貫170文など、37名分の名前、金額を記す。計6貫100文。	丁数6枚 (旧目録P296)	原本	横 帳	1		
3741 X4	X	文政8年10月 (1825年)・乙酉	家普請諸品附籠	○上河内村:岡埜谷松兵衛 ●記載なし	10月18日から腹を蒔初め、その把敷と人工を記す。次に、麦・粟・稗・米などの量を書きとめ、以下、芋・小豆・酒等が続く。	(旧目録P295)	原本	横 帳	1		
3742 X51	X	文政9年10月 (1826年)・戊	出府諸入用帳	○記載なし ●記載なし	江戸出府における毎日の出費の記録。11月14日、出立。惣ノ金14両2分2朱と780文とある。	(旧目録P203)	原本	横 半 帳	1		
3743 X5	X	天保13年9月 (1842年)・壬寅	土蔵普請諸掛帳 岡野谷氏	○記載なし ●記載なし	木挽抜里村藤兵衛の人工と支払い、松次郎の人工と支払い等を記す。次に、大工長藤の人工と支払い等があり、杉皮・味噌・醤油などの入費にも触れる。覚類が数通綴られている。	(旧目録P295)	原本	横 帳	1		
3744 F445	X	天保14年1月吉日 (1843年)	現金酒金日記帳	○上河内村:岡野谷氏 ●記載なし	酒・たい・すし・さかな・みの・たばこ・砂糖等、二地上支払い扣(家計簿)	(旧目録P138)	原本	横 帳	1		
3745 X6	X	天保15年1月 (1844年)・甲辰	現金酒肴日記帳	○記載なし ●記載なし	二又の次郎助より酒、1斗7合を求む。使い吉松。肴に、いわし・にしめ・たい・しらす・かつを・こんぶ等が見える。	(旧目録P138)	原本	横 帳	1		
3746 A115	X	嘉永1年10月 (1848年)・戊申	指出し申一札之事	○清五郎 ●岡野谷松兵衛、忠右衛門、惣右衛門、村役人 中、土人中	江戸表にて奉公、2～3年は帰国できないので、跡敷・母養行は弟熊太郎に頼む積り、よろしく願う。他の1通の宛名に、清左衛門、御近所組合衆中、御村役人衆中とある。	(旧目録P86)	原本	状	2	○	96
3747 X12	X	嘉永2年10月吉日 (1849年)・己酉	家普請諸品附籠	○上河内村:岡野谷松兵衛 ●記載なし	家普請の材料、食品類、酒、家中祝いの穀物、職人への振る舞い品(酒・そば・米・麦等を記す。	(旧目録P295)	原本	横 帳	1		
3748 X13	X	嘉永3年2月吉日 (1850年)・戊	雪蔵殿てま覚	○記載なし ●記載なし	2月13日より16日迄4日間、17日に内金2分2朱渡し。大工市左衛門の記録として、茶箱46個、1つ84文。4貫24文等とある。	(旧目録P311)	原本	横 帳	1		
3749 X14	X	嘉永6年1月 (1853年)・丑	当座日記帳	○記載なし ●記載なし	①金子貸与の覚:1月17日、五左衛門に金2両、同27日に金1両の貸し。②物品購入の覚:2月15日、厚紙10帖上、5帖下、2口ノ内金1分4朱渡し等とある。	(旧目録P299)	原本	横 帳	1		
3750 X59	X	嘉永6年11月15日 (1853年)・丑	御祝儀受納帳	○岡野谷倉松 ●記載なし	倉松15歳の元服祝いの祝儀受納の覚。樽5荷・足袋・手拭・扇子等の記載あり。	紙5枚 (旧目録P297)	原本	状	1		
3751 X7	X	安政1年12月 (1854年)	人足日雇人日記	○記載なし ●記載なし	瀬五郎、10月きり木2人入り。勝五郎、12月10入り、内14日休み。吹屋町豊屋喜助、12月14日入り等とあり。瀧五郎・勝五郎は仲介者か。	(旧目録P299)	原本	横 帳	1		
3752 X60	X	安政2年9月 (1855年)・卯	祝二付為藏掛り日記	○記載なし ●記載なし	買物とその代価を列挙した覚3。その後、祝儀者を列挙。	丁数5枚 (旧目録P295)	原本	横 帳	1		
3753 X8	X	安政3年1月 (1856年)・辰	小使色々附入帳並鉄蔵口	○岡野谷松兵衛 ●記載なし	覚として、金1分、秋葉山護摩金上る。1月2日より9日までの引出者1貫172文。172文、着代渡し等の記載。	紙にシミあり。 (旧目録P299)	原本	横 帳	1		
3754 X9	X	安政3年12月吉日 (1856年)・辰	人足日雇日記「上	○記載なし ●記載なし	雇い入れた各人夫の行動、金子渡し等を記載。	紙変色劣化 (旧目録P299)	原本	横 帳	1		
3755 K119	X	安政3年12月 (1856年)・辰	現金酒之通	○酒や次郎助 ●上河内村:御若衆中	酒の注文、12月5日より翌年2月28日迄記載。1両3分3朱と580文の請取。	(旧目録P138)	原本	横 半 帳	1		
3756 X42	X	安政4年3月 (1857年)・巳	小使日記	○岡野谷松兵衛 ●記載なし	金子渡し覚	(旧目録P299)	原本	横 半 帳	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3757 X44	X	安政4年3月10日 (1857年)・巳	通	○花茶屋 ●松兵衛	3月10日より同14日までの酒売りの記帳。最後に、2口ノ4貫410文、この金2分2朱と222文。3月17日、請取る。	(旧目録P139)	原本	横 帳	1		
3758 X43	X	安政4年3月 (1857年)・巳	通	○花茶屋 ●花揚御世話人衆中	3月9日より同14日迄の酒の書きとめ。金4兩2分と224文。巳3月17日、請取る。	(旧目録P138)	原本	横 帳	1		
3759 X53	X	安政4年6月10日 (1857年)・巳	指出申一札之事	○上川内:五左衛門子維蔵 ●上川内:親五左衛門	心得違いで、人様・親類の意見を聴かず、家出したことを詫び、如何なる処分をも受けるという詫び状。他の1通も同様。	(旧目録P86)	原本	状	2		
3760 X10	X	安政5年1月 (1858年)・午	当午小使日記	○岡野谷松兵衛 ●記載なし	1月から翌年8月迄の出費・品目を記載。1月4日、金100疋、秋葉山護摩金。1月7日、26匁4分、木皿・碗等。	紙変色・劣化 (旧目録P300)	原本	横 帳	1		
3761 X11	X	安政7年1月吉日 (1860年)・申	年中小遣い帳	○記載なし ●記載なし	1月から11月迄の出費項目と費用を記載。1月14日、200文、どうし年頭。2月2日、555文、酒2升5合、すし1箱等とあり。	(旧目録P299)	原本	横 帳	1		
3762 X15	X	文久2年1月 (1862年)・戌	当戌諸品覚帳	○記載なし ●記載なし	覚として、1月19日、米4斗入、上河内山。1月8日、同1斗、中河内山、1月20日、同2斗、中河内山とあり。	(旧目録P139)	原本	横 帳	1		
3763 X61	X	慶應2年1月吉日 (1866年)・寅	当座帳	○上河内:岡野谷松兵衛 ●記載なし	覚として、1月8日、金1分1朱と55文、秋葉参り。同12日、300文等、出金と支払金を列挙。	丁数15枚、紙変 色劣化 (旧目録P299)	原本	横 帳	1		
3764 X17	X	明治2年3月吉日 (1869年)・巳	当座帳	○記載なし ●記載なし	3月16日、酒9升七合、代12貫125文。使い平左衛門。外に671文、同人だちん。出費品目を記載。日用食品の外に酒が目立つ。	(旧目録P299)	原本	横 帳	1		
3765 D285	X	(明治)9月10日	私信	○西の平次郎 ●上河内:岡野谷松兵衛	個人的貸借関係の取調書。	(旧目録P91)	原本	状	1		
3766 X157	X	欠	書状	○欠 ●欠	文右衛門は、一応越度のある者で、帳外となった者。甚左衛門のとりなしで百姓に取立てられた。しかし、その恩を忘れ、地類に対して山地・畑地の扱い方で難渋している。双方出入りとならぬよう、工夫している。前後欠文。	(旧目録P310)	原本	状	1		
3767 X160	X	欠	(書状用例集)	○欠 ●欠	寺子屋用でなく、大人用の用例を挙げる。前後欠文。	(旧目録P310)	原本	縦 帳	1		
3768 X63	X	2月8日 ・子	(書簡)	○上組:帳元 ●下組:帳元	御用向きのことで、今月は下組で対応願いたい。	(旧目録P300)	原本	状	1		
3769 A116	X	3月17日 ・子	廻状	○嶋田御役所 ●記載なし	村の中に、国名や百官名を名付けている者があるならば、その者の名と名付けの理由を書いて提出せよ。	(旧目録P10)	原本	状	1	○	96
3770 X132	X	4月2日 ・丑	書状	○石神瀧八・家内@ ●岡野谷御老君様、大旦那様、若旦那様	先月27日の屋根替えに、多大な金子をいただき、一同、お礼を申上げる。また、津出の荷物の際にも心置きいただき、お礼を申上げる。屋根替えに金1兩、荷物駄賃に金2分。	(旧目録P300)	原本	状	1		
3771 X133	X	10月12日 ・丑	書状	○石上:清左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	例年のように、年貢金3兩を無心したい。先にお送りした帷草の値段について、精一杯値段を上げていただきたい。	(旧目録P300)	原本	状	1		
3772 F189	X	12月28日 ・寅	(書状)(包紙)	○(川根):勝山利助 ●岡野谷松兵衛	金子無心(2兩)の書状。	包紙、虫損甚大 (旧目録P130)	原本	状	1		
3773 F930	X	12月 ・寅	覚	○いづみ屋長七 ●岡野谷松兵衛	大かつお・いわし・田作り・水引・灯芯など、3貫208文の請求書。	(旧目録P146)	原本	状	1		
3774 X30	X	4月8日 ・卯	書状	○上河内村:岡野谷松兵衛 ●二又村:西田浅右衛門	金子用立ての件で、大きな物の用立てはできるが、小さい物は請合い出来ない。	(旧目録P300)	原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3775 F846	X	6月2日 ・卯	覚	○藤枝辻: □□屋甚助 ●松兵衛	3月26日から6月2日迄、品代金残らず請取り、相済み。	(旧目録P146)	原 本	状	1		
3776 X134	X	6月21日 ・卯	書状 (包紙あり)	○三郎左衛門 ●岡野谷松兵衛	先日は、火事見舞いいただき、ありがたい。早速お礼に上がらねばと思 いながらも、小屋掛けで参上出来ず、お許しいただきたい。また、金子3 分を借用したい。	(旧目録P300)	原 本	状	1		
3777 X135	X	12月28日 ・卯	書状 (包紙あり)	○拔里村: 清五郎、国藏 ●上河内村: 岡野谷松兵衛	三右衛門への掛け合いしたが、来夏迄日延べをお願いしたい。来夏 は、私共2人で引受けるので、よろしく。証文も書き替える。	(旧目録P300)	原 本	状	1		
3778 X65	X	4月19日 ・辰	(書状)	○伊久美: 西野平四郎 ●上河内村: 岡野屋松兵衛	当地での仕入れに関する内容。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3779 X66	X	8月10日 ・辰	書状 (包紙)	○下泉村: 勝山利兵衛 ●上河内: 岡野谷松兵衛	品物頂いたお礼。松助おこり病の見舞いもせず、ご容赦されたい。こち らも、老妻が難いおこり病だったが、近頃快した。季節の印は、近日 中にお返りする。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3780 X136	X	1月2日 ・巳	賀状	○柿屋伝五郎 ●岡野谷松兵衛	新年の祝賀。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3781 F957	X	12月26日 ・巳	覚	○記載なし ●記載なし	酒3升内06文、支払い8朱4分、つり168文。以上の通り。	(旧目録P152)	原 本	状	1		
3782 D237	X	3月3日 ・申	書状	○石上村: 六郎左衛門 ●三井村: 名主伊左衛門	返事の相談をしたく、貴方様と掛けあい、明日、貴家にて鉄炮的の興行 を行うので、冢本の松兵衛さまにも来ていただきたい。この相談をし、青 部村に返事をしたい。今日のご祝儀、目出度納めました。	(旧目録P88)	原 本	状	1		
3783 X137	X	4月10日 ・申	書状 (包紙あり)	○市尾村: 一徳寺 ●上河内村: 松兵衛	先日の立ち寄りを感謝。秋葉山の下官に参詣、帰宅されたとのこと。椎 茸を少々差上げるので、お受取願いたい。奥様の病気は如何か。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3784 F576	X	6月25日 ・申	覚	○糺屋新五郎 ●上河内: 岡之谷松兵衛	位牌1つ、779文。この金2朱請取、40文返す。	(旧目録P155)	原 本	状	1		
3785 F579	X	10月 ・申	覚	○長楽寺徳藏 ●岡のや	11月7日から翌年1月10日迄、衣食に係わる品物と値段を記す。みか ん・上げ・小帯・手拭・もち米・米・酒・きせる・女帯・絹糸などを列挙。	(旧目録P156)	原 本	状	1		
3786 X68	X	12月25日 ・申	書状	○三井: 直吉 ●上が内村: 松兵衛	先日お話の金子1両、今日この使いの者にお貸し願いたい。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3787 X45	X	申	御薬種通	○藤枝宿: 近江屋茂右衛門 ●岡野谷松兵衛	当年3月13日より、薬の買い置き記帳をはじめ、酉・戌・亥・子・丑年迄 続く。	(旧目録P139)	原 本	横 半 帳	1		
3788 K134	X	1月2日 ・酉	書状	○小田原屋光兵衛 ●岡の谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3789 X138	X	1月19日 ・酉	書状	○石上村: 岡村六郎左衛門 ●上河内村: 岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3790 X130	X	2月20日 ・酉	書状 (包紙入り)	○下泉村: 利兵衛様ニテ浪藏 ●上河内: 岡ノ谷貴家様	兄上が病気とのこと。心配で、御地に参るべき所、まずは書状でうかが う。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3791 X139	X	7月28日 ・酉	書状	○桑ノ山: 三郎左衛門 ●上河内: 岡野谷松兵衛	茶儀も送れ、申訳ない。家内もようやく暮している。例年の雇人も出来 ず、茶も常の半分程度。委細、お会いして申上げる。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3792 F585	X	11月6日 ・酉	書状	○勝山周助 ●岡野松兵衛	金銭貸借関係の書状。	(旧目録P130)	原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3793 X108	X	6月4日 ・戌	覚	○記載なし ●記載なし	戌の1月より6月迄の病氣掛りの覚。薬・医者代・米代等、すべて金2両1朱と164文。	(旧目録P312)	原 本	状	1		
3794 F868	X	3月 ・亥	覚	○東平 ●河内村:岡野谷松兵衛	8月18日、上織嶋1反。9月13日、紀州ろうそく。すべて金1両2朱と256文。	(旧目録P159)	原 本	状	1		
3795 F404	X	12月3日 ・亥	書状	○次郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	先に弟弁松を遣わし、宇右衛門の年貢のことを御聞濟みいただき、忝い。今日、自身で参り、依頼するとのこと。そのうち、私も参上してお礼申上げる。	(旧目録P301)	原 本	状	1		
3796 L63	X	1月2日	書状	○小田原屋長兵衛 ●岡野谷松兵衛、御家内衆中	年頭の挨拶。	(旧目録P103)	原 本	状	1		
3797 X131	X	1月2日	書状 (包紙入り)	○小田原や長兵衛 ●岡野谷松兵衛、御家内衆中	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3798 X132	X	1月2日	書状 (包紙入り)	○(神田連雀町):小田原屋長兵衛 ●駿府上川内:岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3799 X133	X	1月2日	書状 (包紙入り)	○(江戸神田連雀町):小田原屋長兵衛 ●岡野谷松兵衛、御店衆中	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3800 X69	X	1月5日	書状	○松村惣五郎 ●岡ノ谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3801 X140	X	1月5日	書状	○勝山四郎左衛門 ●岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3802 K191	X	1月6日	書状	○小川:石神惣七郎 ●上河内:岡野谷松兵衛	木町の三郎が昨夜死去。飛脚が来たので、お知らせする。葬儀は、今日八時。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3803 X70	X	1月6日	書状	○二又村:西野平蔵 ●岡野谷松兵衛	正月の年賀か。西野家に病人がおり、困っている。何れ伺い、お話する。	虫損甚大 (旧目録P302)	原 本	状	1		
3804 X134	X	1月6日	書状 (包紙あり)	○箱崎町:中村宗三郎 ●岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3805 X135	X	1月6日	書状 (包紙あり)	○川村十兵衛 ●駿州川根上川内村:岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3806 X71	X	1月11日	書状	○大柳六郎 ●岡野谷松平	親類庵原まで行った折、取調一件について御意見を伺いたい。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3807 X73	X	1月11日	書状	○平口親父 ●岡の谷御内室	先日は、御馳走になり、ありがたい。ついては、きりも今月15日頃参りたく思っている。八坂の娘も参りたいと言っているのです、よろしく。	虫損 (旧目録P303)	原 本	状	1		
3808 X72	X	1月15日	書状	○池野永八郎友宣(花押) ●岡野谷松兵衛余人	年頭の挨拶。昨年の御歳暮と新年の御歳玉のお礼。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3809 X141	X	1月17日	書状	○要人事佐野左近 ●岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	(旧目録P302)	原 本	状	1		
3810 X137	X	1月28日	書状	○大村清五郎 ●清左衛門	年頭の挨拶。神田鍋町に大村というそば屋を開店した。これにつき、天神親分に大変御世話になった。	(旧目録P303)	原 本	状	1		
3811 X138	X	1月吉日	書状	○尾張屋喜三郎 ●岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	虫損 (旧目録P303)	原 本	状	1		
3812 X142	X	1月吉日	書状	○尾張屋喜三郎 ●岡野谷松兵衛	年頭の挨拶。	虫損 (旧目録P303)	原 本	状	1		



文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
3813 D279	X	1月	書状	○上河内:若者 ●記載なし	上河内若物仲間の密通の件で、取持ちにより解決したことへのお礼。	(旧目録P89)	原本	状	1		
3814 X143	X	2月28日	書状 (包紙あり)	○身成村:平口久左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	宗門紙極上1匁をこの者にお貸し頂きたい。御子息方は山城国あたりを歩かれていますこと、天気もよく、道中も楽で風情がおもしろいと思う。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3815 X139	X	2月14日	書状	○石神基左衛門 ●岡野谷松兵衛	利兵衛よりの報せに、下いつみちやの老母、昨12日に死去。16日8つ時に葬儀の由。貴家様もお出かけの仕度もあることから、この者にしらせてほしい。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3816 X74	X	2月16日	書状	○身成村:内原 ●岡野谷松兵衛	子どもが痒しく、痒痛も極めて好くない。抜里村の格斎老にも見て貰った。藤枝からアリアカ(青菜)を取り寄せ、今朝未明用い、その効能が少し良い方向になった。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3817 X144	X	2月18日	書状	○利兵衛 ●上河内:岡野谷松兵衛	藤枝宿の吉永屋八木氏から、花の祝儀が届いた。覚として、吉永屋から青銅各50疋、その他酒・柿などの金子預り、先方に渡した。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3818 L69	X	2月19日	書状	○西の平蔵 ●岡の谷御両名	お願いを聞いていただき、有難い。覚として、金2両を請取った旨の證あり。	(旧目録P288)	原本	状	1		
3819 X75	X	2月19日	書状	○二又:西の平蔵 ●上河内:岡野谷且那	家督が首尾よく整い、目出度い。その節、民謡が世話になった。江戸行きは22~23日頃と成りそうなので、御用向きは報せてほしい。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3820 A137	X	2月23日	書状	○岩松主税手代西村嘉伝次 ●右村々名主中	廻状にて、主税の父直右衛門、当月16日夜死去を伝える。	(旧目録P14)	原本	状	1		
3821 X58	X	2月24日	書状	○下いづみ村:勝山利兵衛 ●上河内村:岡野谷松兵衛	22日、参宮に下向の由、目出度い。各々様よろしく伝えてほしい。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3822 X140	X	3月2日	書状	○西の平四郎 ●岡野谷松兵衛	金子御用向きにより、金10両を差上げるので、お請取願う。今後、御入用あれば、遠慮なく申しつけて頂きたい。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3823 Z1	X	3月6日	覚	○平岡ヤ東平 ●岡壘谷(松兵衛)	風呂敷・苧入れ・花簪等、合せて21点をあげ、内金2両請取とある。	(旧目録P325)	原本	状	1		
3824 D209	X	3月7日	書状	○勝山庄五郎 ●岡野谷松兵衛	諸事一条のことに感謝。金谷宿末広会や坂本様にも相談したが、思い通りに行かないこと。嶋田古作諸事にも触れる。	(旧目録P90)	原本	状	1		
3825 X145	X	3月8日	書状 (包紙あり)	○小川:金平 ●岡野谷松兵衛	当方無事嶋田宿着。小川村の件につき、色々御用向きにより、明日9日、嶋田へ届出する。年貢上納の時は、御一同にお任せする。	(旧目録P303)	原本	状	1		
3826 F820	X	3月11日	覚	○ヤキ久 ●「上様	塩1俵5斗入れ。(下部欠)	(旧目録P161)	原本	状	1		
3827 X177	X	3月11日	書状 (包紙あり)	○瀧沢邑:池壘柴八郎 ●上河内:岡野谷松兵衛(御隠居様)	1月より身成の為人が手習いの為瀧沢に来る。私は日増しに老いてきているが、よろしく。65歳を教え、心力は昔と劣らない積り。和歌あり。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3828 X122	X	3月13日	記載なし	○浅野永八郎 ●岡野谷松輔	受取人の子どもの麻疹の見舞い。自身の風邪ひきを伝え、無沙汰を詫びる。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3829 D220	X	3月14日	書状	○小川:石神恵七 ●上河内:岡野谷松兵衛(「上御隠居)	駿府における訴訟問題のやり取り。代官より基太郎に御内意ありと伝える。一覽の後、焼却を願う。	(旧目録P96)	原本	状	1		
3830 X123	X	3月14日	書状 (包紙あり)	○小川:石神恵七郎 ●岡野谷松兵衛	当村磯五郎家内相続につき、御苦勞掛けたが、何れ近日に万端語を付けるので、承知されたい。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3831 X146	X	3月14日	書状	○口一 ●「上様	私方でもおれんが安産、お互い到大慶に思う。祝儀として、おつぎ殿が来られ、目出度く受納した。御家内様にもよろしくお礼申上げていただきたい。奉中には何う。	(旧目録P304)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3832 X147	X	3月21日	書状	○小川:石神恵七 ●上河内村:岡野谷松兵衛	京からの書状、昨夕到着。同行の皆様、達者でお廻りで何より。親父様も足の痛みも直り、達者だと申し来ただったので、安心の程を。金里羅さまにも参詣したいと言っている。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3833 L73	X	3月22日	書状 (包紙あり)	○(木町):大口俊貞 ●石神甚左衛門	向いの瀧八について、相談したく参上するつもりでいたところ、身成の平口氏へ序での用で伺い、瀧八のことをお願いしたところ、御承引いただいたとのこと。	(旧目録P90)	原本	状	1		
3834 X79	X	3月22日	書状 (包紙あり)	○西の平蔵 ●岡野谷松兵衛	小掛けは1分となり、昨日までにお金が調った。これまで延引していた金子を返金する。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3835 X80	X	3月24日	書状 (包紙入り)	○川口多仲 ●岡谷松兵衛	元文16年2月13日、池谷三郎右衛門より上河内五郎右衛門に充てた書の写がある。それから、天文16年12月12日付の指し請取人も々の文字。それと永禄2年義元公御朱印写、以上3通の写がある。もし外に所持していたら、一覽したい。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3836 X143	X	3月	書状	○上河内村:岡野谷松兵衛 ●家山村:大石治太夫、福田兵右衛門	見事な釜を贈られた礼状の下書き。	(旧目録P304)	原本	状	2		
3837 X148	X	4月19日	口上	○小川:石神甚左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	金谷に住む源藏は、仕事がなく、貴方様の山方で葛網を賣りたいと言ってきた。貴方様にお願いを依頼されたので、差し障りなければ、取らせてください。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3838 H27	X	4月1日	書状	○笹間村:次郎左衛門 ●上河内むら:岡野谷松兵衛	子どもの茶が少々あるので、送ります。微笑僧方より進上の品、私方まで参る。	(旧目録P191)	原本	状	1		
3839 X149	X	4月22日	書状	○中村三郎右衛門@、三十吉、清助 ●岡野谷松兵衛	此の度、当地(大里村)の火災につき、見舞いいただいた。私共の住処も類焼したが、人と蔵出しは別状ないので、御安心を。皆様によろしくお伝え願うと共に、今後とも御厚情の上、取引を願う。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3840 X144	X	4月25日	演舌(書状)	○宮原村:柳八 ●上河内むら:岡野谷松兵衛	焼失見舞いの目録いただき感謝。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3841 i44	X	4月26日	書状	○作一 ●上サマ	病人へのお心遣い、それにお頼みの品物お贈りいただき、感謝。病人も快復したので、お知らせする。	(旧目録P304)	原本	状	1		
3842 Z2	X	閏年4月27日	書状	○高柳井出玄通 ●岡野谷松兵衛	笹間渡病人の薬加減調進のこと。煉薬の件、代金1両1分、受領。	(旧目録P323)	原本	状	1		
3843 X145	X	4月28日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡野谷隠居	私病気につき、御心配を掛けた。立願の処、ありがたく思う。お陰で快気に向い、心配に及ばない。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3844 X62	X	閏4月10日	書状 (包紙あり)	○越前国寺地村:佐太郎 ●上河内村:松兵衛	昨年は、大交御世話になった。今年も御世話になりたいが、差合わせの事あり、6、7月に伺いたい。それも不可ならば、来年御世話になりたい。	虫損 (旧目録P305)	原本	状	1		
3845 X150	X	5月7日	書状 (包紙あり)	○西の平蔵 ●岡の谷松兵衛	笹間渡の登女様が亡くなられたとのこと。お悔やみに書面をもって申し入れる。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3846 F634	X	5月9日	おぼへ	○ぬくり:八左(欠) ●上様	酒5升4合、代718文。ご入用により届ける。	上下破損 (旧目録P162)	原本	状	1		
3847 X152	X	5月9日	書状	○西村屋孝吉、岡村屋萬吉 ●岡堂谷松兵衛、同五左衛門	縫藏のこと、先月24日に当地に来て帰宿せず、26日頃、上伝馬町辺で遊んでいるところを見た者あり。私共他、金子貸し方より催促もあり、何方様も行方を報せていただきたい。全く、縫像の腹中計りがねる。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3848 X146	X	5月10日	書状	○清五郎 ●上河内:せき、忠右衛門、清右衛門、平兵、惣右衛門、松兵衛	三国屋仁兵衛様の御世話で3年も経ち、帰国したい。母親のこともよろしく。	(旧目録P305)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3849 X153	X	5月12日	書状	○□イ村 ●上河内村:岡部御主人様	一昨日、俵金作、長嶋組辺まで鮎釣りに出かけたが、この疵よほどのことかと申すので、もし明日都合好ければ、早朝よりのお出でを待っている。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3850 X84	X	5月20日	書状	○□ろ店 ●岡のや様	今日、酒とりに遣いを派遣され、ありがたい。酒の調合は、焼酎入りと言う人もあり、又、混ぜない純粋の酒という人もあり。焼酎と酒をさしあげるので、御了承下さい。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3851 L100	X	5月21日	書状	○仁又村:西田浅右衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	当春方お願いの鉄炮證文の下書き、写し取りの上、返信したいので、御願ひしたい。	(旧目録P131)	原本	状	1		
3852 F639	X	5月25日	書状	○岡野谷松助 ●お師匠様池野永八	眼病煩いの見舞いを欠いた事への詫び。呑茶を頼まれ、八蔵に1貫430匁差上げ、代金1朱、儘に請取る。津島様への書状を預かっていたが、これも渡したので、御承知ください。尚、小袋1ッ、差上げるので御請納下さい。	(旧目録P134)	原本	状	1		
3853 F200	X	5月26日	書状	○ミナリ原:平口五兵衛 ●上河内村:岡野谷五左衛門	橋田のいなり嶋平十代が、大やの杉山を拝見したいとのこと。何卒お手引きの程よろしく願ひしたい。	(旧目録P180)	原本	状	1		
3854 X154	X	6月3日	書状	○山一 ●上御両若様	27日立により此の方の金子繰合せが難しく、困っている。このため、他に聞き合わせをお願いしたい。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3855 X85	X	6月7日	書状 (包紙あり)	○身成村:平口久左衛門 ●上河内村:岡登谷松兵衛	先の話し合いにつき、御方より申上げのあった件を、何れ御料人にも御世話願ひたく、今晚方明早朝までにお出かけいただきたい。	(旧目録P306)	原本	状	1		
3856 D210	X	6月10日	書状	○川根下泉村:勝山仙祐、竹内道直 ●上河内村:岡野谷松兵衛	お話の金一条の件、御心配下され、文面の趣、逐一承知した。	(旧目録P91)	原本	状	1		
3857 X86	X	6月10日	書状	○勝山周助 ●岡野谷松兵衛	今日、私の身内が御世話になり、且又、親父様の病気のお見舞いを申上げるべき所、書面をもって申上げる。	(旧目録P306)	原本	状	1		
3858 X155	X	6月13日	書状 (包紙あり)	○なべしま:作之右衛門@ ●岡野谷松兵衛	笹間渡村のおん様様が病死、俵張蔵についてはお会いしてお話する。この者に、金1両をお貸し願ひたい。無尽掛け合いもあるが、よろしく。	(旧目録P306)	原本	状	1		
3859 X148	X	6月18日	書状	○市ノ岡村:梅沢半六 ●坂井喜文次	親父の死去を悼む。遠方に歸入りして、立場上、帰国困難な近況を述べる。	(旧目録P306)	原本	状	1		
3860 F653	X	6月21日	書状	○作之右衛門 ●岡野谷松兵衛	先に願ひ入れの金子1両の借用を願ひたい。この遣いの者に、瀧龍を持参させ、差上げる。	(旧目録P131)	原本	状	1		
3861 X110	X	6月21日	書状	○平蔵 ●岡の谷御両君	一昨日の長座のお礼。江戸よりの書状、浅右衛門より受領。	(旧目録P309)	原本	状	1		
3862 X157	X	6月24日	書状	○二又:西の平蔵 ●上河内村:岡の谷松兵衛	江戸出府につき、俵へも掛けあったが、金子の都合がつかない。ついでには、金10両をお貸し願ひたい。返金は急度する。	(旧目録P306)	原本	状	1		
3863 X87	X	6月25日	書状 (包紙あり)	○西野平蔵@ ●岡の谷松兵衛	金子、来月4日まで、立替を願ひたい。江戸で直ちに内金をとり、お手渡しできる。先日の馳走の礼。(礼状1)	(旧目録P306)	原本	状	2		
3864 X156	X	6月25日	書状	○西の平蔵 ●岡の谷松平	妻君の病氣再発を見舞う。お茶の季節でお伺いできず、若い者がお邪魔してすぐ帰村。申訳なく、何か御用あれば、申し付けてほしい。1棟いただき、ありがたい。	(旧目録P306)	原本	状	1		
3865 F869	X	7月3日	書状 (包紙あり)	○嶋田山田屋 ●上河内:岡野谷松兵衛	風聞によると、きび沢の作場あたりに火災が多いとのこと。自分の荷物が火災に合わないよう、頼みたい。	虫損 (旧目録P179)	原本	状	1		
3866 F657	X	7月4日	書状 (包紙あり)	○身成村:平口七郎左衛門 ●上河内村:岡野谷御主人(若旦那様)	金子借用の申立依頼状。	(旧目録P131)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3867 X159	X	7月9日	書状	○石神甚左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	昨夜は、大雨滴水で心配、貴家は如何か。私かたは、少々損傷あるも、各別のことなし。御休意下さい。	(旧目録P306)	原 本	状	1		
3868 X-128	X	7月10日	書状	○小川:石神惣七郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	孫子のお祝い、目出度い。お伺いしてお祝い申上げるところ、勝手ながら書状でお祝い申上げる。	(旧目録P306)	原 本	状	1		
3869 F662	X	7月11日	覚	○山惣 ●岡野谷	5月2日、金2両7分1朱、絹羽袴。金2両2分、紋入り、300文仕立代、儘に請取る。	(旧目録P164)	原 本	状	1		
3870 K197	X	7月16日	書状 (包紙あり)	○勝山周助 ●岡野谷松兵衛	父親の初盆見舞いへのお礼。御起居さまへよろしくお伝え願いたい。	(旧目録P217)	原 本	状	1		
3871 F665	X	7月17日	書状 (包紙あり)	○(二又):西野平蔵 ●(上河内村):岡野谷松兵衛	30日、惣右衛門の年賦金割をいただき、ありがたい。上がない村にも疱疹流行したが、無事とのこと。	(旧目録P165)	原 本	状	1		
3872 X150	X	7月17日	書状	○山口屋庄五郎 ●岡野谷松兵衛	いつも変わらず、結構な品物、あり難く頂戴する。当地に出向くことがあれば、遠慮なく申しつけてほしい。	(旧目録P306)	原 本	状	1		
3873 H28	X	7月21日	書状	○麓屋紋十郎 ●岡野谷松兵衛	伊久美村の平蔵が上河内村の龜蔵のことで、栗原様を尋ね、この子細を話された。そこで、今一応貴方様にお願ひし、それでも片づかなければ、立ち入り人に相談したらとういことになった。公儀にご苦労かけるわけにいかず、是非頼む。栗原様は、今大井川あたり普請で多忙、断られた。	(旧目録P191)	原 本	状	1		
3874 F1035	X	7月22日	書状	○二又村:利兵衛 ●岡の谷(後欠)	推茸山のことで、米吉を名代として書き物を持たせ、御地向わせた。が山不通で様子不明。当方多分に諸用に差支え、失念の様子。御家内様によろしく。	(旧目録P165)	原 本	状	1		
3875 X160	X	7月24日	書状	○笹間渡:市川より ●上河内村:岡野谷	家族の安否を尋ねる。当方も無事、御安心を。	(旧目録P306)	原 本	状	1		
3876 X159-1	X	8月1日	書状 (包紙入り)	○身成:平口五郎右衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	先日お話の件につき、金子返納。利金は半年分でよいとのことで、金5両、元利共残らず返納。また、残金2両をさしあげるので、お請取願う。	(旧目録P310)	原 本	状	2		
3877 X161	X	8月1日	口演	○洞雲寺 ●上河内:岡野谷松兵衛	病気に薬種風丹という練薬を用いている。高値だが、100日の病気も30日で治る。親父さまにも、よろしく伝えてほしい。惣右衛門、五左衛門共外いづれにもお伝えを願う。	(旧目録P306)	原 本	状	1		
3878 F670	X	8月2日	覚	○石神甚右衛門 ●上河内村:岡のや松兵衛	市次郎様御役所へお出かけの節、ひね種がある由。ついては、新種1斗3升と取替えてほしい。	(旧目録P180)	原 本	状	1		
3879 X158	X	7月7日	口述	○藤枝洞雲副寺 ●上河内邑:岡野谷松兵衛	盆供を寺納した。因縁・血脈は、春中に認めて置く。どこも、盆前は用事が多く、茶初尾のお札が迷れ、申款ない。	(旧目録P306)	原 本	状	1		
3880 X181	X	8月8日	書状 (包紙あり)	○イクミ「正 ●上河内「上	金子返済について、棉村次第諸色売り払い勘定したいが、出来かねる。	虫損 (旧目録P310)	原 本	状	1		
3881 X89	X	8月14日	書状 (包紙あり)	○二又:西野平蔵 ●上河内邑:岡野谷松兵衛	下泉村の行次郎が離別するとのことで、実に困った。先日、私が行って見たところ、夫婦仲も悪く見えた。当夏、取決めおいたことであるので、一まず登り、相談もしなくては本家に対して顔が立たない。18日時分、私が登る。その折、貴家に立ち寄るので、相談にのってほしい。	(旧目録P307)	原 本	状	1		
3882 X90	X	8月16日	書状 (包紙入り)	○勝山四郎左衛門、庄五郎 ●岡野谷松兵衛	息子が疱疹に罹り、遠方にもかかわらず、訪れていただき、お菓子の見舞いをいただいたことへのお礼。	本文破損・欠字あり (旧目録P307)	原 本	状	1		
3883 D257	X	8月17日	書状	○小川:石神庄 ●上川内:岡野谷御主人	酒入用の申し越し、ありがたい。	(旧目録P91)	原 本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3884 X129	X	8月17日	書状	○二又:利兵衛 ●上河内邑:岡野谷松兵衛	姉様が病気で、一昨日惣右衛門の話では、少々好くなったとのこと。養生を願う。秋子椎茸作りの者2〜3人、金谷への途中、比方に立ち寄らせてほしい。	(旧目録P307)	原本	状	1		
3885 X162	X	8月20日	書状 (包紙入り)	○下泉邑:竹内参重 ●上河内村:岡野谷松助	病氣見舞いへのお礼。	(旧目録P307)	原本	状	1		
3886 X163	X	8月22日	書状	○ミナリ:平口柳蔵 ●上河内:岡野谷様	先達手は、気色悪くみえたが、如何か。江戸からの便りと共に何う。	(旧目録P307)	原本	状	1		
3887 X164	X	9月7日	書状	○下泉村:勝山庄五郎 ●上河内村:岡野谷松助参人々中	大旦那様、御病気の由。養生専一に願う。親父様御家族様によろしくお見舞いを申上げてほしい。	(旧目録P307)	原本	状	1		
3888 X92	X	9月8日	書状	○竹内 ●上河内村:岡野谷松輔	大君様病氣とのこと。お見舞いに参上すべきところ、彼これ無音。お菓子を見舞いに差上げた。近日、対面したい。	(旧目録P307)	原本	状	1		
3889 X93	X	9月15日	書状	○ほりの内:ひらぐち ●岡野谷松五郎	あわがら片付けは、私は雇人以外出来ない。そちらで雇人を用立てて東ねさせてほしい。	(旧目録P307)	原本	状	1		
3890 X94	X	9月19日	書状	○富田利兵衛、庄兵衛、沙七 ●岡野谷松兵衛	親類に病人あると伺い、薬の調達を頼まれた。これを差し送るので、お大事に。	(旧目録P307)	原本	状	1		
3891 F684	X	9月28日	書状	○米屋半左衛門◎ ●岡野谷松兵衛	蒲団三丈もの、紺綿1反、足し綿・中綿・真綿仕立て代、2枚、打ち直し。メ金68匁7分、内金2両、請取。2口メ216匁。差引き96匁8分。この金1両2分6匁8分、隨に請取る。	(旧目録P166)	原本	状	1		
3892 X95	X	10月23日	書状	○五平 ●上河内村:「上旦那様	御袋様の病氣見舞い。医者差し当って心配記載なしというが、今1人の医者を招いたらどうか。貴家の医者の話を他から聞いている。家で騒がぬよう、外方招いたらどうか。	(旧目録P308)	原本	状	1		
3893 F692	X	10月27日	おぼへ	○杉八◎ ●「上	酒5升3合、代金515文。内2朱。請取。つり278文。	(旧目録P167)	原本	状	1		
3894 X173	X	11月1日	書状	○石神 ●岡の御氏様	二又には行ったが、長嶋には行かなかった。今日夕方までに行きたいと思っている。宿は、近所の弥治作、藤作方へお願いしたい。返事を頂きたい。	(旧目録P308)	原本	状	1		
3895 A121	X	11月9日	書状	○大橋系次郎 ●岡ノ谷松兵衛	御子息御止府、御苦勞に存じ、早々の落着を願う。金子20両の内、5両は子息へ渡し、15両は遣いを差向ける。	(旧目録P92)	原本	状	1		
3896 X170	X	11月16日	書状	○身成村:七十 ●岡野谷御親父様	村方より桑吉方への祝儀物目録。手拭・扇子・酒が12名から贈られた。追伸で有金少々差上げるが、御勘弁の上、取り図られたい。	(旧目録P308)	原本	状	1		
3897 X171	X	11月18日	書状	○木町:永井渡良 ●上河内:岡野谷松兵衛	老母久の病氣につき、看病のいかにもなく死去されたこと。御愁傷中の見舞い。	(旧目録P308)	原本	状	1		
3898 B136	X	11月26日	書状	○ひら口七郎左衛門 ●上河内岡のや松助様	伴次郎持ちの笹間山売買に付き、依頼。	(旧目録P29)	原本	状	1		
3899 X125	X	11月28日	口上	○八坂:平口柳蔵 ●上河内村:岡野谷松兵衛	御無心申かけた祝いの機、約側と違い、不調法をかけたことへの詫び、書いて万々お話ししたい。	(旧目録P308)	原本	状	1		
3900 X98	X	12月5日	書状	○記載なし ●記載なし	金子入用、返済のこと。	(旧目録P308)	原本	状	1		
3901 X124	X	12月6日	書状	○二又:西の平蔵 ●上河内:岡野谷松兵衛	永滞留を謝す礼状。	(旧目録P308)	原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
3902 F894	X	12月12日	覚	○京や清吉 ●松兵衛	白長尺、紺縮、足袋等の請求、値段の書上げ。	(旧目録P181)	原本	状	1		
3903 X174	X	12月18日	書状(封紙あり)	○平口伴次郎 ●岡野谷松兵衛	夏以来、ながく江戸滞在され、御苦労をなされ、この度、帰宅された由。お見舞いに向うべき所、書面にて失礼する。御親公様へもよろしく。	(旧目録P308)	原本	状	1		
3904 Z-4	X	12月18日	書状	○(藤枝木町):米屋半平 ●岡のや松兵衛	先に頼んだ合羽、洗い張りをするも痛み多く、どうしたものかとの問合せ。	(旧目録P323)	原本	状	1		
3905 X99	X	12月24日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡野谷旦那様	池田氏、来年下泉をお隙と成り、私共へお出でになるので、御取持ちを願う。他に、両小川山輪一件の儀あり。	(旧目録P309)	原本	状	1		
3906 F401	X	12月25日	覚	○米屋半左衛門 ●河内:岡野谷松兵衛	本縁板綿6尺、秩父銘仙小帯、袖無し小羽織等、金3分187文、儀に請取る。	(旧目録P159)	原本	状	1		
3907 X176	X	12月26日	口上	○本町:治郎右衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	昨日の話のとおり、ほんじつ、竹島伴治郎に遭わずにより、この者にお貸し願いたい。	(旧目録P309)	原本	状	1		
3908 F896	X	12月27日	書状	○西野平四郎 ●岡野谷松兵衛御家内衆中	病氣見舞いに対する礼状。米・麦・稚茸を整えてあり、入用の折は早々に申し込み願いたい。つきま上物も同様。	(旧目録P171)	原本	状	1		
3909 F419	X	12月29日	おぼへ	○京や ●上河内:松兵衛	女3人の品物購入。代金6匁8分の請取書。	(旧目録P312)	原本	状	1		
3910 X153	X	12月	書状	○笹間渡村:市川 ●上河内村:岡野谷	先方に話してあるが、麻指を差上げるので、御覧頂きたい。気に入らぬならお返し願いたい。年貢皆済金4両3分2朱、今日草吉方差上げた。	(旧目録P309)	原本	状	1		
3911 Z5	X	5日	書状	○浜村意平 ●平口為八	医師の田中氏が伊久美まで来られ、検時で会うことになっている。上河内へ往診されることだから、ついでに診察をお願いしたらどうか。	(旧目録P323)	原本	状	1		
3912 L591	X	閏月18日	口演	○平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	病人について、医者が言うに追々前回するとのこと。昨日、金谷茶仲間へ伺い、貴家様への伝言を頼んだ。珍しい品物、あり難く受納する。	(旧目録P289)	原本	状	1		
3913 X177	X	16日	書状	○原山一 ●上河内「上御主人	病状と薬の用法を解説。	(旧目録P309)	原本	状	1		
3914 F1073	X	21日	書状	○いしかみ ●上河内村:岡のや貴下	兼ねて承っていた金子につき、都合悪く役人の口だしあれば、当方が取り計らいたく、印形をお貸し頂きたい。	(旧目録P132)	原本	状	1		
3915 X100	X	23日	書状	○平口五平 ●岡野や御主人	下泉の勝山利助の嫁取につき、やりとり。	下方に虫損 (旧目録P309)	原本	状	1		
3916 B125	X	記載なし	乍恐以書付ヲ御断奉申上候	○駿州志太郡笹間村下組:次郎兵衛、他8名 ●記載なし	縦横から利がれた書状カ。	(旧目録P30)	原本	状	1		
3617 D180	X	記載なし	名改覚	○記載なし ●記載なし	28人分の元名と改名を列挙。例:三之助事惣右衛門、長次郎事利兵衛	(旧目録P94)	原本	状	1		
3618 F432	X	記載なし	覚	○長嶋吉兵衛相 ●記載なし	贈与の金品を列挙。例:20疋市次郎、酒一升藤枝木町小兵衛(後欠)	(旧目録P172)	原本	状	1		
3919 F897	X	記載なし	書状	○〇上より ●「上御店	宗門紙23帖無心。明日、靴が出来る。	(旧目録P182)	原本	状	1		
3920 F900	X	記載なし	(掛売金書上)	○記載なし ●記載なし	惣ノ27両2朱、2ノ504文、金27両2分280文。8日分1分2朱272文。米1袋。又、ノ27両3分2朱556文。	(旧目録P139)	原本	状	1		
3921 F1091	X	記載なし	(屋根修理覚)	○記載なし ●記載なし	屋根屋延人数47人半で、1人の修理代1両1分2朱と永145文。	(旧目録P133)	原本	状	1		

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 存 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
3922 F1093	X	記載なし	おぼへ	○記載なし ●記載なし	もろこ、硯石、きぬ糸等、諸品20数品を列記。合計金4兩2分3朱と永137文。茶代金3兩3分1朱と113文。差引き2兩2朱24文。	(旧目録P177)	原本	状	1		
3923 J96	X	記載なし	癆瘵の薬	○西平 ●岡の谷御主人様	桃町3町目山田儀右衛門から癆瘵の薬を買ったが、薬は病でなく虚弱と思うので、承知願いたい。	(旧目録P204)	原本	状	1		
3924 K229	X	記載なし	書状	○下和泉:竹内権兵衛 ●上河内村:岡野谷松兵衛様	息子死去につき、弔問。お見舞い延々となりましたが、何れお会いしてお悔やみ申上げる。	(旧目録P219)	原本	状	1		
3925 X26	X	記載なし	(出費簿)	○記載なし ●記載なし	青銅20疋、栗山三郎左衛門、市次郎方へ。青銅10疋、若もの、若衆への記録。	虫損、劣化 (旧目録P312)	原本	横帳	1		
3926 X27	X	記載なし	当日小使日記	○岡野谷委兵衛 ●記載なし	家計支出簿。例:3月1日茶碗売、金2朱、茶付け茶碗600文。手塩20、500文等の記録。	(旧目録P300)	原本	横帳	1		
3927 X36	X	記載なし	口上	○山二 ●「上様	昨日、返事差上げた件につき、心配かけた。今日、返事の出直しを差上げるので、何事にも御免いただきたい。	(旧目録P312)	原本	状	1		
3928 X37	X	記載なし	のし御祝儀	○白井村:仙蔵、他3名 ●上河内:岡野谷松兵衛	祝儀として、各自、樽酒1荷(白井村、大間村、日向、小河村の連中)。	(旧目録P299)	原本	状	1		
3929 X39	X	記載なし	(戒名の覚)	○記載なし ●記載なし	正保1年(1644)大庵徹悟居士から天保11年(1840)まで、14霊位の戒名を列記。	(旧目録P312)	原本	状	1		
3930 X50	X	記載なし	書状	○記載なし ●記載なし	昨日、参上の折、身成村よりの縁組の相談あり、話しをしたが相談にもならず、そのようにお思いいただきたい。	虫損甚大 (旧目録P309)	原本	状	1		
3931 X55	X	記載なし	書状	○記載なし ●記載なし	向暑の時節、安全を願う。	(旧目録P324)	原本	状	1		
3932 X81	X	記載なし	書状	○小川:石神拜 ●上河内:岡野谷御大人様	おはまにいろいろお話したいので、都合をつけてほしい。面談願いたい。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3933 X82	X	記載なし	書状	○高日向村:東新太郎 ●上河内組:岡野谷松平	藤枝在の三ヶ名村中野彦右衛門が貴家へ周旋してほしいとのことで、貴方の考えを伺いたい。	(旧目録P305)	原本	状	1		
3934 X101	X	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	風呂敷、手拭、水引、扇子、指くし、ふところたばこ入、花かんざし等の数量を列挙。	(旧目録P178)	原本	状	1		
3935 X102	X	記載なし	口上 (包紙あり)	○〇一 ●「上サマ	商売上の礼状か。内容記載記載なし。当年都合つかず、御世話になり、忝い。	(旧目録P182)	原本	状	1		
3936 X103	X	記載なし	寿の写 (包紙あり)	○和合印(包紙)小川商人 ●上河内岡野谷市御中	恵のみ撰んで寿の花開く七屋岡の谷の福を松兵衛家の徳壇の祝い歌(墨書)。包紙(七屋御祝儀)。	(旧目録P309)	原本	状	1		
3937 X105	X	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	一汁七さい100人。一汁五さい150人。外凡そ50人分の客膳の覚。	(旧目録P312)	原本	状	1		
3938 X106	X	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	1分銀1兩1分、2朱金6兩3分、ノ8兩也。この餅出し金の覚。	(旧目録P312)	原本	状	1		
3939 X107	X	記載なし	書状	○勝山利兵衛 ●上河内村:岡野谷松兵衛	今朝、まちが無事安産した事の報せ。	(旧目録P309)	原本	状	1		
3940 X109	X	記載なし	記載なし (断簡)	○記載なし ●記載なし	手習用の用語・文例の覚。	(旧目録P325)	原本	状	1		
3941 X111	X	記載なし	書状	○西の平蔵 ●岡野谷松兵衛	年末の挨拶状。	(旧目録P310)	原本	状	1		

分類:X 家

No.268

文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3942 X112	X	記載なし	書状	○記載なし ●記載なし	嵯町の山田妙楽の調達お礼。用途は、娘子の産後の用心のためとする ことの報せ。	(旧目録P310)	原 本	状	1		
3943 X115	X	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	股引、足袋、手拭、樽一荷、丹物、をび等の品目と贈り主の氏名を記 す。	(旧目録P312)	原 本	綴 り	1		
3944 X116	X	記載なし	書状	○記載なし ●記載なし	親父が病気で借入金未返済。事情察していただき、3月末までの延 引を願う。	(旧目録P310)	原 本	状	1		
3945 X118	X	記載なし	出入逗留中日記	○記載なし ●記載なし	2月20日晚から29日朝まで、10人。26 六郎左衛門。2月20日晚より23 日昼まで、4人。9 八左衛門。4月4日昼までの記載。	(旧目録P300)	原 本	横 帳	1		
3946 X121	X	記載なし	(覚)	○記載なし ●記載なし	一、米1俵伊左衛門、一、糶米5升平助、一、米2斗伴次、一、2分1朱八 左衛門、一、2分藤兵衛とある。	(旧目録P310)	原 本	状	1		
3947 X126	X	記載なし	(書状)	○二又:西の平藏 ●上河内:岡の谷松兵衛	大黒講の取持に対する礼状。	(旧目録P310)	原 本	状	1		
3948 X155	X	記載なし	先祖代々列名	○記載なし ●記載なし	釈秋円から一夢堂好まで、24故人の戒名。没年記載のあるのは、釈西 円(天和2年)から釈尼妙賢(安永4年)まで。	(旧目録P312)	原 本	状	1		
3949 X179	X	記載なし	口上	○一(平口五郎右衛門) ●上且那	拜借金のことについて、決定に至るまでの経緯。	虫損甚大 (旧目録P310)	原 本	状	1		
3950 X180	X	記載なし	おほへ	○田中新宿食品 ●記載なし	用役調査についての記述。内容は不明。	(旧目録P323)	原 本	状	1		

分類:Z 雑

3951 C540	Z	嘉永6年 (1853)	袋-荒地小(以下3字欠)	○笹間村下組(扣) ●記載なし	袋中に2つの包紙あり。その中の包に、状5点。他の包に、状7点あり。 永銭提出承諾、酒代、手拭、人物名、送金状等。	(旧目録P71)	原 本	状	12		
3952 Z33	Z	慶應1年12月 (1865)	(御年具帳入の袋)	○志太郡笹間村下組:松兵衛 ●記載なし	袋のみ。	(旧目録P324)	原 本	状	1		
3953 J92	Z	4月3日 ・申	(覚)	○駿州藤枝白子町:御業所小西平右衛門 ●岡野谷松兵衛	葉種大袋2包、小袋(中味少々、2包)、広東人參・丁子等、9種分の請 取書@2通。	(旧目録P204)	原 本	そ の 他	30		
3954 Z22	Z	3月	(包紙)	○江大伝馬町:中村三郎左衛門 ●岡野谷松兵衛参人御中	包紙のみ。	(旧目録P324)	原 本	状	1		
3955 Z34	Z	5月吉日	覚	○記載なし ●記載なし	元八、長吉、六平の名のみ。	(旧目録P322)	原 本	状	1		
3956 Z6	Z	5日	(包紙)	○助右衛門 ●上河内:岡野谷松兵衛	包紙のみ。	(旧目録P324)	原 本	状	1		
3957 C547	Z	欠	(断簡)	○欠 ●欠	年貢割付の一部か。永高表示。	(旧目録P72)	原 本	状	1		
3958 D160	Z	欠	書状	○欠 ●欠	兵太夫新田の吉太夫から、廻文あり。これを受けるか、否か。(後欠)。	(旧目録P93)	原 本	状	1		
3959 D163	Z	欠	以書付申上候御事	○欠 ●欠	猪・鹿の狩猟について。(後欠)。	紙変質、疲劣 (旧目録P94)	原 本	状	1		



文書番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3960 F81	Z	欠	拝借仕金子之事	○欠 ●欠		合金1両は、寛政元年嶋田宿御伝馬役の御救貸付金の内。お願いして拝借。(後欠)。	(旧目録P95)	原 本	状	1	
3961 X119	Z	欠	(断簡)	○欠 ●欠		着物の仕立に関する覚か。(後欠)。	(旧目録P310)	原 本	状	1	
3962 Z30	Z	欠	(断簡)	○欠 ●欠		もと縦横の一片か。	(旧目録P326)	原 本	状	3	
3963 J91	Z	記載なし	(曆断簡)	○記載なし ●記載なし		曆の表紙他断簡。	(旧目録P203)	原 本	そ の 他	1	
3964 J123	Z	記載なし	家伝一角丸 (包紙)	○記載なし ●記載なし		家伝一角丸の効能書。疱瘡・麻疹等の効能、外に細い棒2本。	(旧目録P205)	原 本	状	1	
3965 J124	Z	記載なし	人參熊膽丸 (包紙)	○越中富山 ●記載なし		包紙裏に13条の効能書あり。万病に効くとある。中に、丸薬1粒あり。	(旧目録P205)	原 本	状	1	
3966 B143	Z	記載なし	(包紙)	○記載なし ●記載なし		包紙(袋状)のみ。	(旧目録P30)	原 本	そ の 他	1	
3967 C808	Z	記載なし	(年貢納入下書)	○駿州志太郡笹間村下・上組 ●記載なし		年貢納入金等の役所提出書の下書き、練習。	(旧目録P73)	原 本	状	1	
3968 F208	Z	記載なし	金子證文	○松兵衛 ●記載なし		包紙のみ。	(旧目録P324)	原 本	状	1	
3969 F209	Z	記載なし	證文	○上河内村:松兵衛 ●記載なし		包紙のみ。	(旧目録P324)	原 本	状	1	
3970 F211	Z	記載なし	拝借仕金子之事 (包紙)	○記載なし ●記載なし		包紙の表に標題を記す。包紙の中に、白紙あり。	(旧目録P181)	原 本	状	1	
3971 F212	Z	記載なし	杉山證文 (包紙)	○日向:利兵衛 ●記載なし		包紙の表に標題と指出人を記す。中身なし。	(旧目録P118)	原 本	状	1	
3972 F213	Z	記載なし	杉山證文 (包紙)	○栗野山:市平 ●記載なし		包紙の表に標題を記す。中身なし。	(旧目録P118)	原 本	状	1	
3973 F214	Z	記載なし	金子證文 (包紙)	○上川内村:松兵衛 ●記載なし		包紙の表に標題を記す。中身なし。	(旧目録P324)	原 本	状	1	
3974 Z10	Z	記載なし	(書状)	○記載なし ●記載なし		書状断簡一括。包紙含む。	(旧目録P325)	原 本	状	1	
3975 Z14	Z	記載なし	反魂丹	○越中富山 ●記載なし		12項目の効能が列記。この外、万病・犬猫にもよいとある。標題に、「近年にせ多くに付、そえ書仕候」の添書がある。	(旧目録P324)	原 本	状	1	
3976 Z15	Z	記載なし	(断簡)	○記載なし ●記載なし		金1両231文、差物仕立賃。丸一より。	(旧目録P325)	原 本	状	1	
3977 Z21	Z	記載なし	(断簡) (包紙)	○伊勢町:中条瀬兵衛 ●駿州藤枝:惣吉、岡野谷松兵衛		包紙のみ。	(旧目録P324)	原 本	状	1	
3978 Z23	Z	記載なし	(断簡)	○記載なし ●記載なし		「仕切」の断簡か。くら敷・飛脚・金子等を記す。	(旧目録P326)	原 本	状	1	

文書番号 整理番号	分 類	年号 年月日 西暦( )・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
3979 Z24	Z	記載なし	(断簡)	○記載なし ●記載なし	林蔵殿山、米6俵、10月27日迄。味噌3樽、10月26日迄。菓2つ、4つ、同日迄と記す。	(旧目録P326)	原本	状	1		
3980 Z25	Z	記載なし	梅けん散 (包紙あり)	○記載なし ●記載なし	菓の広告か。「たまみがかざればきれいにならず、彼もこれにひとし。みがけばかならずひかりありとこうしんさんとやちもそういいなんだよ。みがく人様」とあり。	(旧目録P324)	原本	状	1		
3981 Z35	Z	記載なし	(断簡)	○記載なし ●記載なし	「御療台」とのみ記す。	(旧目録P325)	原本	状	1		
3982 Z36	Z	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	ねりばち、いと、まわた、200文。こりさとう100文等と記す。	(旧目録P323)	原本	状	1		
3983 Z37	Z	記載なし	(断簡)	○記載なし ●記載なし	金銭の覚書。品名・目的等不明。	(旧目録P323)	原本	状	1		
3984 Z38	Z	記載なし	(断簡)	○記載なし ●記載なし	茶の取引の覚か。	(旧目録P323)	原本	状	1		
3985 Y106	Z	記載なし	(標題欠)	○記載なし ●記載なし	狂歌の歌合か。	汚れ、欠損甚大 (旧目録P3985)	原本	状	1		
3986 Y110	Z	記載なし	源太物語	○記載なし ●記載なし	木曾義央を源田に攻める物語の一部。後欠。	綴りの解れ (旧目録P321)	原本	状	1		
3987 Z543	Z	記載なし	(入置分)	○記載なし ●記載なし	会社、中谷、学資金、嶋田へ入置分、計103筆。	(旧目録P326)	原本	綴り	1		
3988 L307	Z	記載なし	(断簡)	○記載なし ●「上様	一筆啓上云々とあり、手紙の一部か。後書なし。	(旧目録P282)	原本	状	1		